

Honeywell **Bluetooth Imager Series**

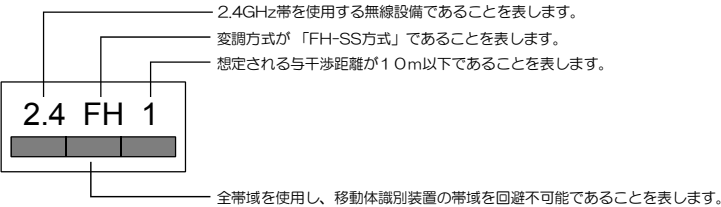


リアイメーザ&エリアイメーザ 取扱説明書

MODEL 3820/3820i Series
MODEL 4820/4820i Series

「電波について」

- 電波に関する注意 ■
- 本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに使用場所を変更するか、電波の発射を停止してください。
- 本製品は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線局の端末設備として、技術適合証明を受けています。本製品の分解/改造は違法となります。
- 交通機関内や医療機関内などでは、本製品のご使用はお控えください。
電子機器や心臓ペースメーカーなどへの影響の可能性もあるため、ご利用に関しては各交通機関及び各医療機関の案内及び指示に従ってください。



改訂記録	
改訂番号	改訂日
Rev.1.0	2009/04/01（初版）
Rev.1.1	2009/10/15 Alware Distribution 版別入
Rev.1.2	2009/12/16 4.13 頁 ファンクション送信のフォーマットバグの修正

1. 本書の内容に関しては、将来予告無しに変更することがあります。
 2. 本取扱説明書の全部又は一部を無断で複製することはできません。
 3. 本書内に記載されている製品名等の固有名詞は各社の商標又は登録商標です。
 4. 本書内において、万一誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたらご連絡ください。
 5. 運用した結果の影響について、責任を一切負いかねます。

製品保証と注意事項

「保証期間」

本製品の保証期間は、弊社出荷日より3ヶ月とさせていただきます。

「保証範囲」

保証期間中に納入者側の責により故障を生じた場合は、納入者側において機器の修理または交換を行います。但し、保証期間内であっても、次に該当する場合は、保証対象から除外させていただきます。

1. 需要者側の不適当な取り扱いならびに使用
2. 故障の原因が納入者以外の事由に場合
3. 外装部品の損傷
4. 需要者側で改造・修理を行った場合
5. 天災地変による場合

尚、ここでいう保証は納入品単体の保障を意味するもので、納入品の故障により誘発される損害はご容赦いただきます。

「FCC クラス B 適合について」

本装置は、FCC 規制のパート 15 に準拠するクラス B デザイン機器に対する制限に適合しております。これらの制限は、商業環境での使用において妥当な保護措置がなされています。しかし、居住地域に設置した場合、ラジオ・テレビなどへの妨害（受信障害）が起こることがあります。

「CE マークについて」

本装置に付いている CE マークは、89/336/EEC Electromagnetic Compatibility Directive と 73/23/EEC Low Voltage Directive に記載された条項に適合することが十分済みであることを示しています。下記の規制に適合しています。

EN55022:1998(ITE 放射)
EN55024:1998(ITE 耐性) CISPR 22B:1997 を含む
EN61000-4-2:1995
EN61000-4-3:1995

「LED の安全性について」

EN60825-1

本装置は、IEC60825-1 LED 安全規格に従ってテストされ、クラス 1 LED 装置の制限内であることが確認されています。

「Bluetooth 無線機器について」

Bluetooth 搭載イメージャは、アメリカ電気・電子通信学会(IEEE)と米国規格協会(ANSI)が作成し、連邦通信委員会(FCC)によって採用が勧告されている RF 規格の安全レベルについて該当する最新規格に適合するように設計されています。

承認国	仕様
日本	TELEC
中国	SRRC
韓国	RR
台湾	DTG

「修理」

修理は全てリモートサポート方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

「その他」

納入品の価格にはサービス費用は一切含んでおりません。

Blank page

安全上のご注意

安全にお使い頂くために必ずお守りください。

警告・注意表示は、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぐために守って頂きたい事項を示しています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読み下さい。

	警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
	注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると傷害を負う可能性が想定される内容および物的損傷の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

	<注意> 一般的な注意、警告、危険の通知を示しています。		<禁止> 一般的な禁止を示しています。
	<発火注意> 発火の可能性が想定されることを示しています。		<水気禁止> 風呂、シャワーなどの水気の多い場所での使用を禁止することを示しています。
	<感電注意> 感電の可能性が想定されることを示しています。		<分解禁止> 製品の分解や改造を禁止することを示しています。
	<破裂注意> 破裂の可能性が想定されることを示しています。		<ケガ注意> 指を挟まれるなど、ケガを負う可能性が想定されることを示しています。



警告

■本装置を絶対に分解しないで下さい。

・故障・感電（火災）の原因になります。



■直射日光が長時間当たる場所、粉塵の多い場所、湿気が異常に多い場所、水を扱う場所、暖房機器など発熱物の近くでは使用しないで下さい。

・故障・感電（火災）の原因になります。



■ケーブルに重いものを載せないで下さい。また、ケーブルをねじったり、強く引っ張ったりしないで下さい。

・ケーブルの被覆破れや断線が発生し、故障・感電（火災）の原因になります。



■引火性のガスや発火性の物質のある場所及び薬品や化学物質などを扱う場所では、絶対に使用しないで下さい。

・火災・爆発・故障の原因になります。



■故障した状態のまま使用しないで下さい。異臭がする、煙が出たなどの異常が生じた時は、すぐに接続している機器の電源をOFFにしコネクタを抜いて下さい。

・感電（火災）の原因になります。





注意

■使用可能な温度・湿度内で使用して下さい。

・故障の原因になります。



■濡れた手でケーブルの接続や取り外しを行わないで下さい。

・故障・感電の原因になります。



■長期的な振動（バイクの荷台や自転車での移動）や強いショック（落下）を与えないで下さい。

・故障の原因になります。



■温度が激しく変化する場所（夏場の車内）や熱器具など熱を発生する物の近くに放置しないで下さい。

・装置のケースが変形したり、故障の原因になります。



■不安定な場所（棚など）でのご使用や保管は避けて下さい。

・不用意な落下による故障やけがの原因になります。



■揮発性の高い有機溶剤（シンナー・ベンジンなど）や薬品、化学雑巾で拭かないでください。また、殺虫剤を吹きかけないで下さい。

・ケースの変形や変色の原因になります。



Blank page

目次

1.	はじめに.....	1.1
1.1	ご使用上の注意.....	1.1
1.2	梱包内容の確認.....	1.1
1.3	LED・ビープ・インディケータ.....	1.2
1.4	ワイヤレスイメージャを充電する.....	1.3
1.5	ワイヤレスイメージャの充電電池パックを交換する.....	1.4
2.	ワイヤレスイメージャと PC と接続する.....	2.1
2.1	RS232C インターフェイスで接続する.....	2.1
2.2	キーボード インターフェイスで接続する.....	2.2
2.3	USB キーボード インターフェイスで接続する.....	2.3
2.4	USB ハーチャル COM インターフェイスで接続する.....	2.4
2.5	ワイヤレスイメージャとホストステーションのリンクを確立する.....	2.6
3.	ワイヤレスイメージャの読み取り操作.....	3.1
3.1	リアイメージャの読み取り操作.....	3.1
3.2	エリアイメージャの読み取り操作.....	3.2
4.	パラメータ設定.....	4.1
4.1	システムリセット.....	4.1
4.2	ワイヤレスイメージャの簡単セットアップ.....	4.2
4.2.1	RS232C インターフェイスの初期化.....	4.3
4.2.2	DOS/V キーボード インターフェイスの初期化.....	4.4
4.2.3	USB キーボード インターフェイスの初期化.....	4.5
4.2.4	USB ハーチャル COM インターフェイスの初期化.....	4.6
4.2.5	プリフィックス/サフィックスの初期化.....	4.7
	プリフィックス 無し/サフィックス 無し.....	4.7
	プリフィックス 無し/サフィックス CR(エンターキー).....	4.7
	プリフィックス 無し/サフィックス エンターキー(テンキー).....	4.8
	プリフィックス 無し/サフィックス TAB キー.....	4.9
	プリフィックス 無し/サフィックス CR/LF.....	4.10
	プリフィックス STX/サフィックス ETX.....	4.11
4.3	ターミナル ID.....	4.12
4.4	キーボード インターフェイス.....	4.13
4.4.1	CAPS LOCK の設定.....	4.13
4.4.2	キーボード 動作モード の設定.....	4.13
4.5	RS232C/USB ハーチャル COM インターフェイス.....	4.14
4.5.1	波特率の設定.....	4.14
4.5.2	データフォーマットの設定.....	4.15
4.5.3	ハンドシェイクの設定.....	4.16
4.5.4	ホスト ESC コマンド の設定.....	4.17

4.6	Bluetooth インターフェイス	4.18
4.6.1	ハートスレープ接続の設定	4.18
4.6.1.1	FIPS 暗号化インデキータの設定	4.19
4.6.1.2	自動再リソクの設定	4.20
4.6.1.3	通信圏外アラームの設定	4.21
4.6.1.4	通信圏外メモリ機能の設定	4.22
4.6.2	ワイヤスイメージャ名の設定	4.23
4.6.3	ワークグループ番号の設定	4.25
4.6.4	SPP 接続の設定	4.26
4.7	グッドリートインデキータ	4.27
4.7.1	グッドリートブザーの設定	4.27
4.7.2	グッドリート LED の設定	4.29
4.8	ワイヤスイメージャオプション	4.30
4.8.1	マニュアルリアルタイムモードの設定	4.30
4.8.2	パワータイムアウトの設定	4.31
4.8.3	連続読取モードの設定 エリアイメージャ専用	4.31
4.8.4	オートセスモードの設定	4.32
4.8.5	同一コード読取デレイの設定	4.33
4.8.6	コード読取デレイの設定	4.34
4.8.7	読取 LED/エラーの設定 エリアイメージャ専用	4.35
4.8.8	センタリソクウィンドウの設定 エリアイメージャ専用	4.36
4.8.9	センタリソクウィンドウの設定 エリアイメージャ専用	4.38
4.8.10	デコードサーチモードの設定 エリアイメージャ専用	4.40
4.8.11	マルチコード読み取りの設定 エリアイメージャ専用	4.40
4.8.12	ソボル優先順位読み取りの設定	4.41
4.8.13	フリットウェイトの設定 エリアイメージャ専用	4.43
4.8.14	コードイメージ方向の設定 エリアイメージャ専用	4.44
4.8.15	反転コード読み取りの設定 エリアイメージャ専用	4.45
4.9	データ送信	4.46
4.9.1	ノーリート送信の設定	4.46
4.9.2	キャラクター間デレイの設定	4.46
4.9.3	指定キャラクター間デレイの設定	4.47
4.9.4	ファンクション間デレイ・メッセージ間デレイの設定	4.48
4.9.5	フリックス/ガフックスの設定	4.49
4.9.6	データ送信シーケンスの設定 エリアイメージャ専用	4.51

4.10	リアソナル(バーコード)の読み取り設定	4.53
4.10.1	コードバー(NW7)の設定	4.53
4.10.2	コード 39 の設定	4.55
4.10.3	インターリーブド 25 の設定	4.57
4.10.4	コード 93 の設定	4.58
4.10.5	コード 25 の設定	4.59
4.10.6	スレート 25(IATA)の設定	4.60
4.10.7	マトリクス 25 の設定	4.61
4.10.8	コード 11 の設定	4.62
4.10.9	コード 128 の設定	4.63
4.10.10	Telepen の設定	4.64
4.10.11	UPC-A の設定	4.65
4.10.12	UPC-E の設定	4.67
4.10.13	EAN/JAN-13 の設定	4.69
4.10.14	EAN/JAN-8 の設定	4.71
4.10.15	MSI の設定	4.72
4.10.16	PosiCode の設定	4.73
4.10.17	Plessey の設定	4.75
4.10.18	GS1 Databar Ominidirectional の設定	4.76
4.10.19	GS1 Databar Limited の設定	4.76
4.10.20	GS1 Databar Expanded の設定	4.77
4.10.21	GS1 イミレーションの設定	4.78
4.11	スタックソナルの読み取り設定 エリアメーザ専用	4.79
4.11.1	Trioptic コード の設定 エリアメーザ専用	4.79
4.11.2	コード ブロック F の設定 エリアメーザ専用	4.80
4.11.3	コード 16K の設定 エリアメーザ専用	4.81
4.11.4	コード 49 の設定 エリアメーザ専用	4.82
4.11.5	PDF417 の設定 エリアメーザ専用	4.83
4.11.6	マイク PDF417 の設定 エリアメーザ専用	4.84
4.11.7	EAN.UCC コバットの設定 エリアメーザ専用	4.85
4.11.8	TLC39 の設定 エリアメーザ専用	4.86

4.12	マトリクスシボルの読み取り設定	エリアイメージ専用	4.87
4.12.1	QR/マイク QR の設定	エリアイメージ専用	4.87
4.12.2	データマトリクス の設定	エリアイメージ専用	4.88
4.12.3	マキコード の設定	エリアイメージ専用	4.89
4.12.4	Aztec の設定	エリアイメージ専用	4.90
4.13	郵便シボルの読み取り設定	エリアイメージ専用	4.91
4.13.1	Postnet の設定	エリアイメージ専用	4.91
4.13.2	Planet の設定	エリアイメージ専用	4.91
4.13.3	イギリス郵便コード の設定	エリアイメージ専用	4.91
4.13.4	オランダ郵便コード の設定	エリアイメージ専用	4.92
4.13.5	オーストラリア郵便コード の設定	エリアイメージ専用	4.92
4.13.6	日本郵便コード の設定	エリアイメージ専用	4.92
4.13.7	中国郵便コード の設定	エリアイメージ専用	4.93
4.13.8	韓国郵便コード の設定	エリアイメージ専用	4.94
4.13	OCR フォントの読み取り設定	エリアイメージ専用	4.95
4.13.1	OCR フォントの設定	エリアイメージ専用	4.96
4.13.2	OCR テンプレート の設定	エリアイメージ専用	4.97
5.	シリアルコマンド		5.1
5.1	メニューコマンド		5.1
5.2	シリアルトリガ コマンド		5.3
5.3	イメージング コマンド	エリアイメージ専用	5.3
5.4	イメージング デフォルトコマンド	エリアイメージ専用	5.19

6.	2D-PQA 機能	エリアイメージ専用	6.1
6.1	PQA 読み取りテクニック	エリアイメージ専用	6.1
6.2	2 次元シンボルの種類	エリアイメージ専用	6.2
6.3	PQA ショート	エリアイメージ専用	6.2
6.3.1	スタックシンボル	エリアイメージ専用	6.5
6.3.2	マトリクスシンボル	エリアイメージ専用	6.8
6.3.3	郵便コードシンボル	エリアイメージ専用	6.11
A.1	コード ID 表		A.1
A.2	キーボードコード対応表		A.2
A.3	ASCII コード表		A.3
A.4	ユーティリティソフト		A.4
A.5	データ編集機能		A.5
A.5.1	データ編集コマンド		A.5
A.5.2	データ編集フォーマットの種類		A.10
A.5.3	データ編集機能の設定例		A.11
A.6	メンテナンス		A.19
A.7	トラブルシューティング		A.20
A.8	サンプルコード		A.21
	修理依頼書		A.23

Blank page

1. はじめに

この度は、Bluetooth 搭載イメージャ(以下、ワイヤスイメージャ)をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この説明書は、Honeywell 社のワイヤスイメージャの基本的な使用方法と設定方法について説明しております。ご使用になられる前に必ずお読みください。

1.1 ご使用上の注意

本装置は精密な電子部品で構成されていますので、絶対に分解しないでください。本装置が万一故障した場合は、お買い上げの販売店までご連絡ください。

1.2 梱包内容の確認

本装置の梱包内容は、下記のようになっています。ご確認の上、万一不足、破損品がありましたら、お買い上げの販売店までご連絡ください。

(梱包内容)

- ◆ ワイヤスイメージャ本体 ----- 1 台
- ◆ 簡易取扱説明書 ----- 1 冊

(*) ペーステーション、インターフェイスケーブルなどは、別売品になります。

梱包箱は、修理などで製品を返送する場合、輸送時の損傷を避けるために必要となります。大切に保管してください。

1.3 LED・ビープインディケータ

ワイヤレスイメージャ及びハーステーションは、ホステラにステータスを知らせるための LED 及びビープインディケータを搭載しており、それぞれ下記のステータスを意味します。

ワイヤレスイメージャの LED・ビープ		
LED	ビープ	意味
通常動作中		
赤色 点滅	無し	電池残量無し
緑色 点滅	1 回ビープ	通信又はリコ成功
赤色 点滅	3 回ビープ	通信失敗
設定モード 中		
緑色 点滅	2 回ビープ	設定成功
赤色 点滅	3 回ビープ	設定失敗

ハーステーションの充電ステータス LED	
LED	意味
緑色 3 回 点滅	ワイヤレスイメージャがハーステーションに接続された
緑色 点灯	80%以上 充電完了済み
緑色 低速点滅 1 秒毎 ON/OFF	30% ~ 80% 充電完了済み
緑色 高速点滅 300 ミリ秒毎 ON/OFF	30%未満 受電完了済み

ハーステーションのシステムステータス LED	
LED	意味
赤色 点灯	電源 ON、待機中
赤色 低速点滅	電源 ON、自己診断エラー
赤色 高速点滅 数回高速点滅	無線通信・ホスト通信中
赤色 1 回点滅 約 30 秒毎に発生	Bluetooth 無線ステータス診断

✓ワイヤレスイメージャの充電は、ハーステーションに専用 AC アダプタ(DC9V)を接続している場合のみ行われます。USB インターフェイスケーブルやキーボード インターフェイスケーブルで PC 本体から DC5V のみを入力している場合は、無線通信は行えますが、充電を行うことはできません。

1.4 ワイヤレスイメージャを充電する

ワイヤレスイメージャは、専用リチウムイオン充電電池パック(容量 1,800mAh)を採用しています。この充電電池パックは、フル充電状態で約 16 時間(50,000 スキャン)¹の動作が可能です。

ワイヤレスイメージャを充電ステーションに置くと、充電が自動的に行われます。充電が行われている間、充電ステーションの充電ステータス LED が緑色に点滅し、完了すると、常時点灯に変わります。

✓ワイヤレスイメージャの充電は、充電ステーションに専用 AC アダプタ(DC9V)を接続している場合のみ行われます。USB インターフェイスケーブルやキーボード インターフェイスケーブルで PC 本体から DC5V のみを入力している場合は、無線通信は行えますが、充電を行うことはできません。

充電電池の寿命

充電電池の特性上、十分な充電を行っても使用できる時間が短くなった時が交換の目安となります。必ず、専用リチウムイオン充電電池パック(RBATT-4820)をお求めください。

安全に、より長く充電電池パックをご使用いただくために

- ご購入後、最初に約 4 時間 充電電池パックを充電してください。
- 充電は、0~35℃の環境で行ってください。
- 長期間使用しない場合は、液漏れの危険があるため、充電電池パックを取り外して保管してください。
- 次頁の  危険・警告・注意をお読みの上、正しくお使いください。

充電電池パック・充電器の注意

ワイヤレスイメージャで指定されている専用の充電電池パック及び充電器を必ずご使用ください。液漏れ・発熱・破裂の恐れがあり、大変危険です。以下の事項を必ずお守りください。

危険

- 専用充電器以外では充電しない。
- ハンダ付けや分解・改造・変形をしない。
- 火中投入、加熱シートの使用をしない。
- 液漏れした液が目に入った時は、失明の恐れがありますので、こすらずにきれいな水で十分洗った後、直ちに医師の治療を受けてください。

警告

- +-(プラスマイナス)を正しく入れる。
- +-(プラスマイナス)を金属物に接触させない。また、金属製のネックレスやピアスと一緒に持ち運んだり保管しない。
- 外装ケースをはがしたり傷つけない。
- 液漏れした液が手や衣服に付いた時は直ちにきれいな水で洗い流すこと。
- 液漏れや変色、変形に気づいたときは使用しない。
- 乳幼児の手の届かない所へ保管する。万が一飲み込んだ場合は、すぐに医者に相談する。

¹ 動作時間・スキャン数は目安です。運用状況、周囲環境により異なりますので、ご注意ください。

⚠ 注意

- 強い衝撃を与えたり、投げつけない。
- 水に濡らさない。
- 充電した電池と放電した電池を混用しない。
- 新旧の電池を混用して使用しない。
- 使用しない時は、機器から取り外す。
- 専用の充電池及び充電器以外は使用しない。

充電池の廃棄について

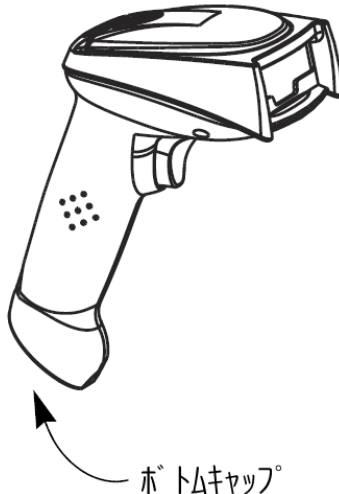
使用済みの充電池は「充電式電池リサイクル協力店くらぶ」に加入の電気店またはスーパーなどに設置されているリサイクルボックスに入れてください。



1.5 ワイヤスイメージャの充電池パックを交換する

下記の手順に従って、充電池パックの交換を行ってください。

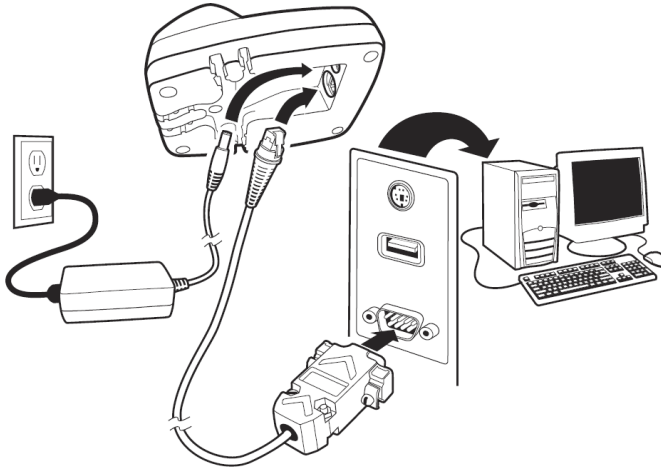
1. ワイヤスイメージャのボトムキャップにあるネジを緩めます。
2. ハンドル部分から充電池パックを取り外します。
3. 新しい充電池パックをハンドル部分にセットします。
4. ボトムキャップを元に戻し、ネジを締めれば完了です。



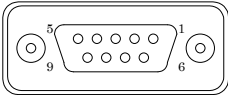
2. ワイヤレスイメージャと PC と接続する

2.1 RS232C インターフェイスで接続する

下図を参照して、イメージャと PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



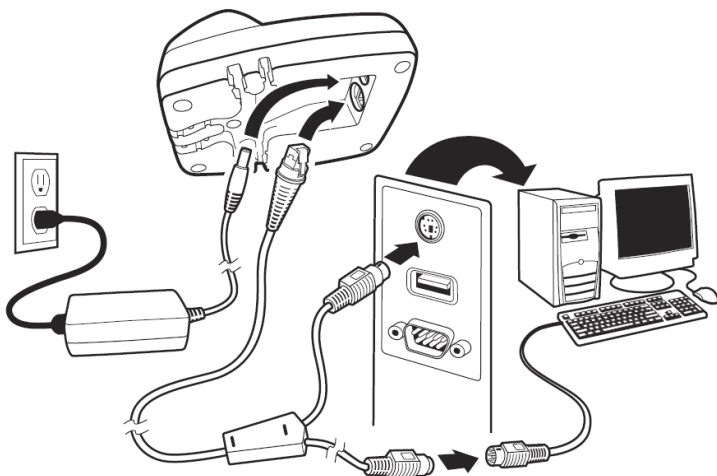
下記に RS232C インターフェイスケーブルのピン配列を示します。

RS232C インターフェイスケーブル ピン配列		
D-Sub9 接続		
ピン番号	信号名	
1	シールド	
2	TxD	
3	RxD	
4	N/C	
5	GND	
6	N/C	
7	CTS	
8	RTS	
9	N/C	

✓イメージャからの出力は、RS232C(TTL)出力となります。

2.2 キーボードインターフェイスで接続する

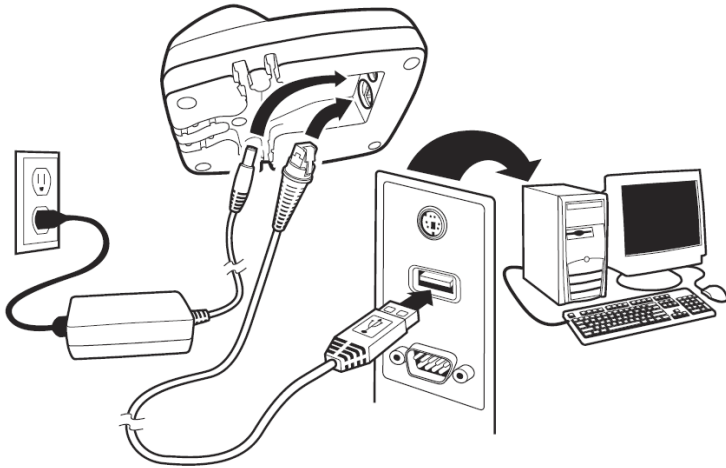
下図を参照して、ハンズステーションと PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



✓ハンズステーションの充電機能を使用しない場合は、専用 AC アダプタ(DC9V)を接続する必要はありません。

2.3 USB キーボード インターフェイスで接続する

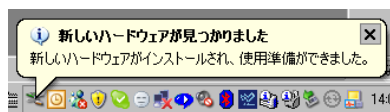
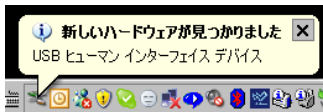
下図を参照して、バーナーステーションと PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



✓バーナーステーションの充電機能を使用しない場合は、専用 AC アダプタ(DC9V)を接続する必要はありません。

WINDOWS XP の例

WINDOWS が自動的にドライバを検索し、インストールを完了します。



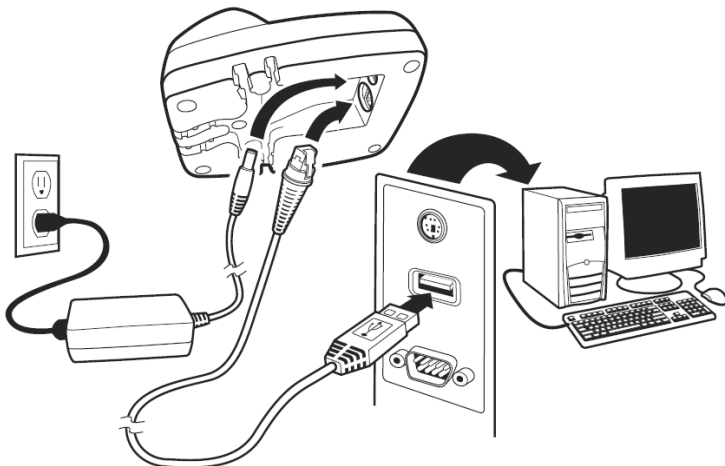
ポップアップメッセージが順に表示されます。十数秒程度で最後のメッセージ「...使用準備ができました。」が表示されます。このメッセージが表示されればドライバのインストールは完了です。メモ帳などを起動して、バーコードデータが正しく入力されるか確認してください。

✓USB-HIDドライバの仕様上、1 台の PC に複数の USB キーボード インターフェイスのデバイスを接続することはできません。(同時に複数ポートからデータが入力された場合に、正しくデータ入力できないため)

✓USB ハブをご使用になる場合は、セルフパワータイプをご使用ください。

2.4 USB バーチャル COM インターフェイスで接続する

下図を参照して、バーステーションと PC を接続してください。インターフェイスの初期化については、本書「4.2 簡単セットアップ」を参照ください。



✓バーステーションの充電機能を使用しない場合は、専用 AC アダプタ(DC9V)を接続する必要はありません。

WINDOWS XP の例

新しいハードウェアを検知すると、「新しいハードウェアの検出ウィザード」が開始するので、下記の例に従って、ドライバのインストールを行ってください。



USB バーチャル COM ドライバ の入手

ドライバは、弊社 WEB サイト http://www.e-welcom.com/doc4/dl_program.htm より入手可能です。

② パラメータ設定バーコードシートの印刷

USB バーチャル COM (USB-COM) ドライバ

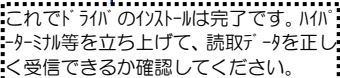
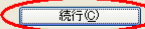
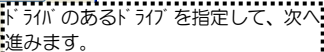
4200/4600/4800/4820 他 対応

USB バーチャル COM (USB-COM) ドライバ

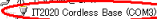
113KB

itw-hcp.com.zip

USB バーチャル COM (USB-COM) ドライバ



割り当てられた仮想 COM ポート番号は、デバイスマネージャで確認できます。下記の例では、COM3 が割り当てられています。



- Copyright © 2009, Alware Distribution Co., Ltd.

2.5 ワイヤレスイメージャとペーシステーションのリンクを確立する

ご購入されたワイヤレスイメージャは、初期状態では、ペーシステーションとのリンクが確立していません。下記の手順に従って、リンクの確立を行ってください。

1. 前ページまでを参照して、PC とペーシステーションを正しく接続します。
2. ワイヤレスイメージャをペーシステーションにセットします。ピーピーというピープ音が鳴った後、リンク試行が始まります。ププププププププ.....ピー(イメージャの緑色 LED も瞬時点灯)というピープ音が鳴れば、リンクは成功です。



3. リンクが始まらない場合は、下記のコマンドバーコードをスキャンして、再度、ワイヤレスイメージャをペーシステーションにセットしてみてください。



✓ ペーシステーションとのリンクが確立していない場合

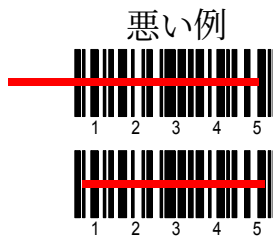
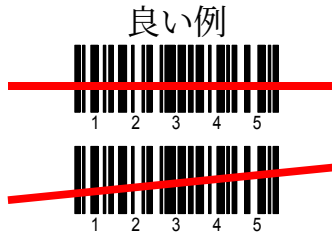
1. トリガボタンを押すと、ププというピープ音が鳴ります。
2. バーコードをスキャンすると、ププププというピープ音が鳴り、同時に赤色 LED が 3 回点滅します。

3. ワイヤレスイメージャの読み取り操作

本章ではワイヤレスイメージャの読み取り操作について説明します。

3.1 リニアイメージャの読み取り操作

リニアイメージャでバーコードを読み取る場合、下図に示す様にリニアイメージャのLEDビームがイメージャハウルの端から端まで完全に横切るようにしてください。

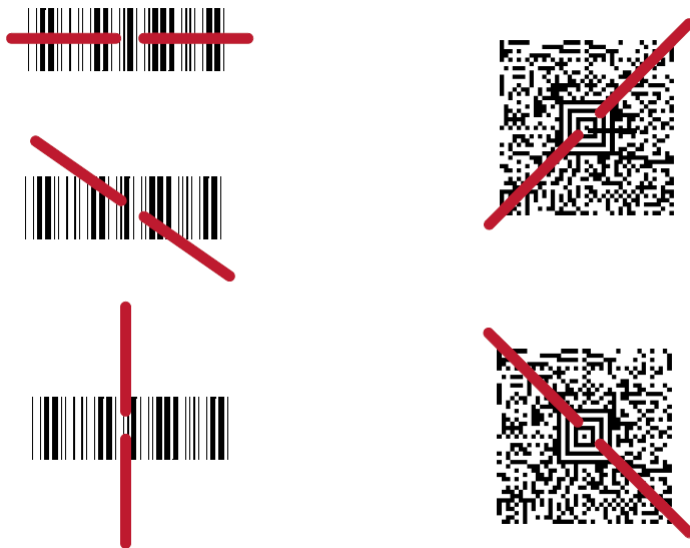


リニアイメージャ

3820 シリーズのように一次元ビームを照射してバーコードを読み取るリーダーです。

3.2 イリアイメージャの読み取り操作

イリアイメージャでバーコード及び二次元コードを読み取る場合、下図に示す様にイリアイメージャのイミタージュビーム(赤色又は緑色の LED ビーム)が目的のコードのセンターになるように照射します。イリアイメージャは、360°読み取りが可能のため、読み取り易い方向にイミタージュビームを照射することができます。



イリアイメージャ

4820 シリーズのように二次元画像を取り込み、バーコードや二次元コードを読み取るリーダーです。360°読み取りやイメージ画像の取り込みが行えます。

4. パラメータ設定

ワイヤレスイメージャのパラメータは本章に記載する専用コマンドバーコードを使って設定します。

パラメータ設定を始める前に、PC とワイヤレスイメージャを正しく接続し、バーコードの読み取りが行える状態にしてください。

コマンドバーコード表の使い方

コマンドバーコード このバーコードをスキャンすると、説明欄にあるパラメータ設定が行えます。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>コマンドバーコード</th><th>説明</th><th>デフォルト</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> ~ K B D S T Y U .</td><td>CAPS LOCK ON 通常 CAPS LOCK 状態で入力を使用します。</td><td>■</td></tr> <tr> <td> ~ K B D S T Y U .</td><td>CAPS LOCK OFF 通常 CAPS LOCK 状態で入力を使用します。</td><td></td></tr> <tr> <td> ~ K B D S T Y U .</td><td>CAPS LOCK LED 点灯 CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK 2-in-1 LED 制御した PC/AT、PS2 のみ有効です。</td><td></td></tr> </tbody> </table>	コマンドバーコード	説明	デフォルト	 ~ K B D S T Y U .	CAPS LOCK ON 通常 CAPS LOCK 状態で入力を使用します。	■	 ~ K B D S T Y U .	CAPS LOCK OFF 通常 CAPS LOCK 状態で入力を使用します。		 ~ K B D S T Y U .	CAPS LOCK LED 点灯 CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK 2-in-1 LED 制御した PC/AT、PS2 のみ有効です。		デフォルト ワイヤレスイメージャのデフォルト設定値を意味します。ユーザーの設定値を書き込む対象としても利用できます。 説明欄 コマンドバーコードの説明・設定手順が書かれています。
コマンドバーコード	説明	デフォルト												
 ~ K B D S T Y U .	CAPS LOCK ON 通常 CAPS LOCK 状態で入力を使用します。	■												
 ~ K B D S T Y U .	CAPS LOCK OFF 通常 CAPS LOCK 状態で入力を使用します。													
 ~ K B D S T Y U .	CAPS LOCK LED 点灯 CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK 2-in-1 LED 制御した PC/AT、PS2 のみ有効です。													

4.1 システムコマンド

コマンドバーコード	説明
全デフォルト  ~ 0 1 D E F A L T .	パラメータ設定値を工場出荷時のデフォルト設定値に戻します。
現在のアプリケーショングループデフォルト  ~ D E F A L T .	現在のアプリケーショングループのパラメータ設定値を工場出荷時のデフォルト設定値に戻します。
全てのアプリケーショングループデフォルト  ~ P A P D F T .	現在のアプリケーショングループのパラメータ設定値を工場出荷時のデフォルト設定値に戻します。
リセット  ~ R E S E T _ .	ワイヤレスイメージャをリセットします。
バージョン情報  ~ R E V I N F .	ソフトウェアバージョンや序列番号などの製品情報を出力します。
ワイヤレスイメージャレポート  ~ R P T S C N .	ホスト番号、ワークグループ、ワイヤレスイメージャ名、アドレスなどの情報を出力します。

4.2 ワイヤレスイメージャの簡単セットアップ

本節ではワイヤレスイメージャを簡単にセットアップできる初期化メニューを掲載します。

最初にワイヤレスイメージャとホスステーションのパラメータ設定値を工場出荷時の初期状態にリセットして、リックを確立させます。リックが確立すれば、各インターフェイスの初期化に進んでください。

1. PC とホスステーションを正しく接続します。
2. 下記の「全デフォルト」コマンドバークードをスキャンします。



3. ワイヤレスイメージャをホスステーションにセットします。ビープというビープ音が鳴った後、リック試行が始まります。ブープブープブープブープブープブープ.....ビープ(イメージャの緑色 LED も瞬時点灯)というビープ音が鳴れば、リックは成功です。



4. リックが始まらない場合は、下記のコマンドバークードをスキャンして、再度、ワイヤレスイメージャをホスステーションにセットしてみてください。



パラメータ設定値を工場出荷時にリセットする必要が無い場合は、「全デフォルト」コマンドバークードをスキャンせず、リックの確立のみを行い、各インターフェイスの初期化に進んでください。

✓ホスステーションとのリックが確立していない場合

1. トリガボタンを押すと、ブープというビープ音が鳴ります。
2. バークードをスキャンすると、ブープブープブープというビープ音が鳴り、同時に赤色 LED が 3 回点滅します。

4.2.1 RS232C インターフェイスの初期化

PC とバーステーションを RS232C インターフェイスケーブル(CBL-IT-R)で接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください

 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始
 ~ K 0 K	RS232C インターフェイス
 ~ K 0 K	
 ~ K 0 K	
 ~ M N U S A V .	ターミナル ID 設定終了
 ~ 2 3 2 B A D 5 .	9600/8/N/1
 ~ 2 3 2 W R D 2 .	

4.2.2 DOS/V キーボード インターフェイスの初期化

PC とバーステーションをDOS/Vキーボード インターフェイスケーブル(CBL-IT-K)で接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください

 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始
 ~ K 1 K	DOS/V キーボード インターフェイス
 ~ K 0 K	
 ~ K 2 K	
 ~ M N U S A V .	ターミナル ID 設定終了

4.2.3 USB キーボード インターフェイスの初期化

PC とペーシスレーショを USB インターフェイスケーブル(CBL-IT-U)で接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください

 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始
 ~ K 1 K	USB キーボード インターフェイス
 ~ K 3 K	
 ~ K 4 K	
 ~ M N U S A V .	ターミナル ID 設定終了

4.2.4 USB バックチャネル COM インターフェイスの初期化

PC とバックステーションを USB インターフェイスケーブル(CBL-IT-U)で接続している場合は、この初期化メニューをご使用ください。

上から順番にスキャンしてください

 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始
 ~ K 1 K	USB バックチャネル COM インターフェイス
 ~ K 3 K	
 ~ K 0 K	
 ~ M N U S A V .	ターミナル ID 設定終了

4.2.5 プリフィックス/サフィックスの初期化

プリフィックスは読み取ったデータの前に付加される固定データ、サフィックスは読み取ったバーコードの後ろに付加される固定データを意味します。それぞれ 11 文字までの任意のキャラクタを設定できます。

プリフィックス (max.11 文字)	読取データ	サフィックス (max.11 文字)
------------------------	-------	-----------------------

デフォルトは、プリフィックス 無し・サフィックス 無しです。変更が必要な場合は、下記から希望する初期化メニューを上から順番に読み取ってください。

また、任意の文字列を設定したい場合は、「4.9.5 プリフィックス/サフィックスの設定」を参照ください。

プリフィックス 無し・サフィックス 無し

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F C A 2 .	全サフィックス クリア

プリフィックス 無し・サフィックス CR(エンターキー)

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ V S U F C R .	全サフィックス CR(エンターキー)

ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽ 無し/ｻﾌｨｯｸｽ ﾍﾝﾀｰｷｰ(ﾃﾝｷｰ)

上から順番にｽｷｬﾝｼｬﾂしてください

 ~ P R E C A 2 .	全ﾌﾟﾘﾌｨｯｸｽ ｸﾘｱ
 ~ S U F B K 2 .	ｻﾌｨｯｸｽ設定開始
 ~ K 9 K	全ｼﾝﾎﾞﾙ
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	ﾍﾝﾀｰｷｰ(ﾃﾝｷｰ)
 ~ K 1 K	
 ~ M N U S A V .	ｻﾌｨｯｸｽ設定終了

プリフィックス 無し/サフィックス TAB キー

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全プリフィックス クリア
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全ソール
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	TAB キー
 ~ K 9 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

ﾌﾞﾘﾌｨｯｸｽ 無し/ｻﾌｨｯｸｽ CR/LF

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E C A 2 .	全ﾌﾞﾘﾌｨｯｸｽ クリア
 ~ S U F B K 2 .	ｻﾌｨｯｸｽ設定開始
 ~ K 9 K	全ｼｵﾝﾎﾞﾙ
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	CR
 ~ K D K	
 ~ K 0 K	LF
 ~ K A K	
 ~ M N U S A V .	ｻﾌｨｯｸｽ設定終了

プリフィックス STX/サフィックス ETX

上から順番にスキャンしてください

 ~ P R E B K 2 .	プリフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シンボル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	STX
 ~ K 2 K	
 ~ M N U S A V .	プリフィックス設定終了
 ~ S U F B K 2 .	サフィックス設定開始
 ~ K 9 K	全シンボル
 ~ K 9 K	
 ~ K 0 K	ETX
 ~ K 3 K	
 ~ M N U S A V .	サフィックス設定終了

4.3 ターミナル ID

ワイヤレスイメージャをお使いになる PC に合うインターフェイスに初期化します。下記の表からお使いになる PC(インターフェイス)に合う 3 桁のターミナル ID を確認してください。
出荷時の設定は、ご購入されたインターフェイスタイプにより異なります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T E R M I D .	ターミナル ID 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から 3 桁のターミナル ID をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

インターフェイス/ターミナル(PC)	ターミナル ID
IBM PC AT 互換 101/104 キーボード	003
IBM DOSV106/109 日本語キーボード	102
USB 106/109 日本語キーボード	134
USB PC キーボード	124
USB MAC キーボード	125
USB HID POS	131
USB バージナル COM インターフェイス	130
RS232 インターフェイス	000
シリアルウェッジ インターフェイス	050
ワイド エミュレーション(コード 39 フォーマット)	061
ワイド エミュレーション	064
本書では、代表的なターミナル ID のみを掲載しています。ご使用になるターミナル(PC)が未掲載の場合は、お手数ですが弊社までご連絡をお願いします。	

4.4 キーボードインターフェイス

4.4.1 CAPS LOCK の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D S T Y 0 .	<u>CAPS LOCK ㊦</u> 通常 CAPS LOCK ㊦で PC を使用します。	■
 ~ K B D S T Y 1 .	<u>CAPS LOCK ㊦</u> 通常 CAPS LOCK ㊦で PC を使用します。	
 ~ K B D S T Y 6 .	<u>CAPS LOCK 自動検出</u> CAPS LOCK 状態を自動検出します。この設定は、CAPS LOCK ステータス LED を搭載した PC-AT, PS/2 のみ有効です。	

4.4.2 キーボード動作モードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K B D S T Y 5 .	<u>外付けキーボードエミュレーション</u> ノート PC で外付けキーボードを接続しない場合に設定します。設定後、必ずノート PC の電源を再立ち上げしてください。	
 ~ K B D N P S 1 .	<u>テンキーモード ㊦</u> 数字データをテンキー入力として送信します。	
 ~ K B D N P S 1 .	<u>テンキーモード ㊦</u> 数字データをフルキーボード入力として送信します。	■
 ~ K B D C A S 1 .	<u>CTRL+ASCII 入力 ㊦</u> CTRL+ASCII 入力を㊦にします。実際送信されるキーセットは、本書「A.2 キーボードコード対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D C A S 0 .	<u>CTRL+ASCII 入力 ㊦</u> CTRL+ASCII 入力を㊦にします。	
 ~ K B D T M D 1 .	<u>ファンクションコード送信 ㊦</u> ファンクションコード送信を㊦にします。実際送信されるキーセットは、本書「A.2 キーボードコード対応表」を参照下さい。	
 ~ K B D T M D 0 .	<u>ファンクションコード送信 ㊦</u> ファンクションコード送信を㊦にします。	

4.5 RS232C/USB バーチャル COM インターフェイス

4.5.1 ポートレートの設定¹

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 B A D 0 .	300bps	
 ~ 2 3 2 B A D 1 .	600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 2 .	1,200bps	
 ~ 2 3 2 B A D 3 .	2,400bps	
 ~ 2 3 2 B A D 4 .	4,800bps	
 ~ 2 3 2 B A D 5 .	9,600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 6 .	19,200bps	
 ~ 2 3 2 B A D 7 .	38,400bps	
 ~ 2 3 2 B A D 8 .	57,600bps	
 ~ 2 3 2 B A D 9 .	115,200bps	■

¹ USB バーチャル COM インターフェイスを使用している場合、ポートレートの設定は必要ありません。

4.5.2 データフォーマットの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 W R D 3 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 0 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 無し	
 ~ 2 3 2 W R D 6 .	データビット 7 ストップビット 1 パリティ 奇数	
 ~ 2 3 2 W R D 4 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 1 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 無し	
 ~ 2 3 2 W R D 7 .	データビット 7 ストップビット 2 パリティ 奇数	
 ~ 2 3 2 W R D 5 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 偶数	
 ~ 2 3 2 W R D 2 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 無し	■
 ~ 2 3 2 W R D 8 .	データビット 8 ストップビット 1 パリティ 奇数	

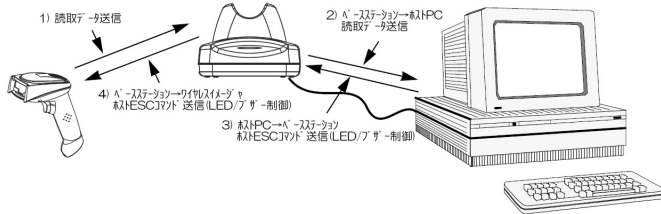
4.5.3 ハンドシェイクの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 2 3 2 C T S 1 .	RTS/CTS ハンドシェイク オ	
 ~ 2 3 2 C T S 0 .	RTS/CTS ハンドシェイク オ	■
 ~ 2 3 2 X O N 1 .	XON/XOFF ハンドシェイク オ	
 ~ 2 3 2 X O N 0 .	XON/XOFF ハンドシェイク オ	■
 ~ 2 3 2 A C K 1 .	ACK/NAK ハンドシェイク オ ²	
 ~ 2 3 2 A C K 0 .	ACK/NAK ハンドシェイク オ	■

² ACK/NAK ハンドシェイクは、現在サポートしておりません。

4.5.4 ホスト ESC コマンド の設定

ホスト ESC コマンド をおこなうことで、PC からイメージの LED やブザーを制御することが可能になります。例えば、PC 側で読取データをデコードすると照合検査し、条件に合わない場合、ホストに対して、エラーを状態を知らせるためになどに使用できます。また、1 つのホストステーションに対して、複数のワイヤレスイメージャをリンクさせている場合でも、各ワイヤレスイメージャにワークグループ番号を割り当てることで、個別にホスト ESC コマンドを送信することができます。



下記にホスト ESC コマンド のパケットフォーマットとコマンド リストを示します。

パケットフォーマット		
ワークグループ 番号(1 バイト)	ESC コマンド (可変長)	ターミネータ(1 バイト)
0(0x30) ~ 6(0x36)	<ESC> a など <ESC> = 0x1B	, (0x2C)
例) ワークグループ 番号 0 のワイヤレスイメージャに対して、<ESC>5<ESC>6 コマンドを送信 送信パケット : 0<ESC>5<ESC>6,		

コマンド リスト	
<ESC>a	パラメータ変更成功時と同じ動作, ビープ (ピップ) + 緑色 LED 1 回点滅
<ESC>b	パラメータ変更失敗時と同じ動作, ビープ (ブープ-ブープ-) + 赤色 LED 3 回点滅
<ESC>1	緑色 LED 135 ミリ秒間点灯(連続点灯時は、70 ミリ秒以上の間隔要)
<ESC>2	緑色 LED 2 秒間点灯(連続点灯時は、500 ミリ秒以上の間隔要)
<ESC>3	緑色 LED 5 秒間点灯(連続点灯時は、500 ミリ秒以上の間隔要)
<ESC>4	低音ビープ を 1 回鳴動
<ESC>5	中音ビープ を 1 回鳴動
<ESC>6	高音ビープ を 1 回鳴動
<ESC>7	読取/通信 OK, ビープ (ピップ) + 緑色 LED 1 回点滅
<ESC>8	読取/通信 NG(<ESC>b 同等), ビープ (ブープ-ブープ-) + 赤色 LED 3 回点滅

コマンド バージョン	説明	デフォルト
 ~ H S T A C K 1 .	ホスト ESC コマンド 1	
 ~ H S T A C K 0 .	ホスト ESC コマンド 0	■

- ✓ホスト ESC コマンド は、RS232C/USB パーチャル COM インターフェイスでのみ使用できます。
- ✓RS232C インターフェイスの場合は、ボーレート を 9,600bps 以下に設定してください。

4.6 Bluetooth インターフェイス

4.6.1 ペーステーション接続の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B T _ R M V .	リンク解除 ワイヤレスイメージャとペーステーションのリンクを解除します。	
 ~ B A S C O N 0 , D N G 1 .	ロックリンクモード (シングルイメージャ) ロックリンクモードに設定します。1つのペーステーションに1台のワイヤレスイメージャを接続できます。但し、オフリンクモードと異なり、新しいワイヤレスイメージャをペーステーションにセットしても、リンクが新たに確立されることはありません。	■
 ~ B A S C O N 1 , D N G 1 .	オフリンクモード (シングルイメージャ) オフリンクモードに設定します。1つのペーステーションに1台のワイヤレスイメージャを接続できます。 <u>ロックリンクモードと異なり、新しいワイヤレスイメージャをペーステーションにセットすると、そのワイヤレスイメージャとリンクが新たに確立されます。</u>	
 ~ B T _ R P L 1 .	強制再リンク (ロックリンクモード) ロックリンクモードで、強制的に新しいワイヤレスイメージャとリンクを確立します。	
 ~ B A S C O N 2 , D N G 3 .	マルチリンクモード マルチリンクモードに設定します。1つのペーステーションで最大7台のワイヤレスイメージャとリンクすることができます。	

4.6.1.1 FIPS 暗号化インデクサの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ F P S L E D 1 .	ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されている場合、トリガを引くと点灯します。また、これには、ワイヤレスイメージャとペーパーステーションに正常に FIPS ソフトウェアがロードされたという意味もあります。	■
 ~ F P S L E D 0 .	ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されていない場合、トリガを引くと点灯します。また、これには、ワイヤレスイメージャには、FIPS ソフトウェアが正常にロードされたが、ペーパーステーションには、ロードされていないという意味もあります。	
正常インデクサ： 橙色 LED FIPS セキュリティが正常に動作し、ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されている場合、トリガを引くと点灯します。また、これには、ワイヤレスイメージャとペーパーステーションに正常に FIPS ソフトウェアがロードされたという意味もあります。		
エラーインデクサ： 赤色 LED FIPS セキュリティが正常に動作しておらず、ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されていない場合、トリガを引くと点灯します。また、これには、ワイヤレスイメージャには、FIPS ソフトウェアが正常にロードされたが、ペーパーステーションには、ロードされていないという意味もあります。		
エラーインデクサ： セキュリティ警告ビープ ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されていない場合、データを読み取った後、グッドリードビープに続いて、ショートビープ 2 回が 1 分間の休止毎に鳴動します。また、これには、ワイヤレスイメージャには、FIPS ソフトウェアが正常にロードされたが、ペーパーステーションには、ロードされていないという意味もあります。		

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ F P S B E P 1 .	ペーパーステーションインデクサ ON	■
 ~ F P S B E P 0 .	ペーパーステーションインデクサ OFF	
正常インデクサ： 高音ショートビープ & 赤色 LED ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されている場合、データを読み取った後、高音ショートビープが鳴動し、赤色 LED が点滅します。また、これには、ワイヤレスイメージャとペーパーステーションに正常に FIPS ソフトウェアがロードされたという意味もあります。		
エラーインデクサ： セキュリティ警告ビープ ワイヤレスイメージャとペーパーステーション間の通信が暗号化されていない場合、データを読み取った後、ショートビープ 2 回が鳴動し、赤色 LED が点滅します。また、これには、ワイヤレスイメージャには、FIPS ソフトウェアが正常にロードされたが、ペーパーステーションには、ロードされていないという意味もあります。		

4.6.1.2 自動再リッの設定

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ B T _ A C M 1 .	自動再リッ 切	■
 ~ B T _ A C M 0 .	自動再リッ 切	
 ~ B T _ M L A .	最大リッ試行回数 左記のコマンドバ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード 表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。	0
 ~ B T _ R L T .	再リッタイムアウト 左記のコマンドバ-コード をスキャンし、続けて「数値バ-コード 表」から設定したい値を 1~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コード をスキャンします。 設定単位は、秒です。	3
数値バ-コード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

- ✓最大リッ試行回数内に再リッが確立できなかった場合、ワイヤスイメージャは再リッ試行を中止します。再度、再リッを試行したい場合は、ワイヤスイメージャのトリガを引くか、ワイヤスイメージャをペ -スニットにセットします。これにより、最大リッ試行回数カウンタが 0 にリセットされます。
- ✓最大リッ試行回数を 0 に設定した場合は、パワータイムアウト(「4.8.2 パワータイムアウトの設定」を参照)で設定された時間が適用されます。
- ✓再リッタイムアウトは、再リッを試行する間隔を意味します。

4.6.1.3 通信圏外アラームの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~BASORD.	<u>ﾊﾞｰｽﾃｰｼｮﾝ通信圏外アラーム時間</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を 0~3,000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、秒です。	0 (無し)
 ~BTORD.	<u>ワイヤレス通信圏外アラーム時間</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を 0~3,000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、秒です。	0 (無し)
 ~BASORW.	<u>ﾊﾞｰｽﾃｰｼｮﾝ通信圏外アラームタイマー</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を 0~7 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
 ~BTORW.	<u>ワイヤレス通信圏外アラームタイマー</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい設定したい値を 0~7 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.6.1.4 通信圏外メモリ機能の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B A T E N A 1 .	通信圏外メモリ機能 <u>ON</u> ワイヤレスイメージャが通信圏外で読み取ったデータをメモリします。メモリされた読取データは、ワイヤレスイメージャが通信圏内に戻った時点で、自動送信されます。	■
 ~ B A T E N A 0 .	通信圏外メモリ機能 <u>OFF</u> ワイヤレスイメージャが通信圏外で読み取ったデータはメモリされません。	
 ~ B A T D L Y 0 .	メモリデータ送信デレイ 0 (無し)	■
 ~ B A T D L Y 2 5 0 .	メモリデータ送信デレイ 250 ミリ秒	
 ~ B A T D L Y 5 0 0 .	メモリデータ送信デレイ 500 ミリ秒	
 ~ B A T D L Y 1 0 0 0 .	メモリデータ送信デレイ 1,000 ミリ秒	

✓メモリデータ送信デレイは、メモリされた読取データを送信する際に、各読取データ間に挿入されるデレイです。

4.6.2 ワイヤレスイメージャ名の設定

コマンドバースト	説明	デフォルト
 ~BT_NAM0001.	ワイヤレスイメージャ名「0001」	
 ~BT_NAM0002.	ワイヤレスイメージャ名「0002」	
 ~BT_NAM0003.	ワイヤレスイメージャ名「0003」	
 ~BT_NAM0004.	ワイヤレスイメージャ名「0004」	
 ~BT_NAM0005.	ワイヤレスイメージャ名「0005」	
 ~BT_NAM0006.	ワイヤレスイメージャ名「0006」	
 ~BT_NAM0007.	ワイヤレスイメージャ名「0007」	
 ~RESET.	リセット ワイヤレスイメージャをリセットし、 ハーステーションと再リンクします。	

- ✓ワイヤレスイメージャ名のデフォルト値は、ワイヤレスイメージャの型式(4820, 4820i など)です。
- ✓ワイヤレスイメージャ名は、シリアルコマンド (5. シリアルコマンド 参照)のバースト内で使用します。
- ✓ワイヤレスイメージャ名を設定した場合は、必ずリセットを行ってください。
- ✓ハーステーションに複数の同一ワイヤレスイメージャがリンクしている場合は、最初にリンク確立したワイヤレスイメージャがシリアルコマンドを受信します。
- ✓任意のワイヤレスイメージャ名を設定する場合は、次頁をご利用下さい。

コマンド「バーコード」	説明	デフォルト	
 ~ B T _ N A M .	ワイヤレスイメージャ名 設定開始 左記のコマンド「バーコード」をスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したい10桁迄のワイヤレスイメージャ名をスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、ワイヤレスイメージャ名を ABCD とする場合、ABCD「確定」の順でスキャンします。		
 ~ R E S E T _ .	リセット ワイヤレスイメージャをリセットし、ペーシングと再リンクします。		
英数字「バーコード」表			
 0	 1	 2	 3
 4	 5	 6	 7
 8	 9	 A	 B
 C	 D	 E	 F
 G	 H	 I	 J
 K	 L	 M	 N
 O	 P	 Q	 R
 S	 T	 U	 V
 W	 X	 Y	 Z
 確定		 破棄	

- ✓ワイヤレスイメージャ名のデフォルト値は、ワイヤレスイメージャの型式(4820i, 4820i など)です。
- ✓ワイヤレスイメージャ名は、シリアルコマンド (5. シリアルコマンド を参照)のバーコード内で使用します。
- ✓ペーシングに複数の同一ワイヤレスイメージャがリンクしている場合は、最初にリンク確立したワイヤレスイメージャがシリアルコマンドを受信します。
- ✓ワイヤレスイメージャ名を設定した場合は、必ず「リセット」コマンド「バーコード」をスキャンして、ワイヤレスイメージャをリセットして下さい。

4.6.3 ワークグループ番号の設定

ワイヤレスイメージャにワークグループ番号を設定することで、ワークグループ毎に異なるハ لامータ設定値を持たせることができます。また、ワークグループ番号指定して、ホストESCコマンド（「4.5.4 ホストESCコマンドの設定」を参照）を送信し、各ワイヤレスイメージャのピ ーブやLEDを制御することが可能になります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ G R P S E L 0 .	ワークグループ番号「0」	■
 ~ G R P S E L 1 .	ワークグループ番号「1」	
 ~ G R P S E L 2 .	ワークグループ番号「2」	
 ~ G R P S E L 3 .	ワークグループ番号「3」	
 ~ G R P S E L 4 .	ワークグループ番号「4」	
 ~ G R P S E L 5 .	ワークグループ番号「5」	
 ~ G R P S E L 6 .	ワークグループ番号「6」	

4.6.4 SPP 接続の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト	
 ~ B T _ D N G 5 .	PC/ノートブック用 SPP 接続		
 ~ B T _ D N G 1 .	PDA 用 SPP 接続		
 ~ B T _ P I N .	<u>PIN コード 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したい16桁迄のPINコードをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、PINコードを123456とする場合、123456「確定」の順でスキャンします。	1234	
 ~ B T _ R M V .	<u>SPP 接続解除</u> SPP 接続を解除します。		
英数字バーコード表			
 0	 1	 2	 3
 4	 5	 6	 7
 8	 9	 A	 B
 C	 D	 E	 F
 G	 H	 I	 J
 K	 L	 M	 N
 O	 P	 Q	 R
 S	 T	 U	 V
 W	 X	 Y	 Z
 確定		 破棄	

- ✓複数のワイヤレスイメージャを1つの仮想COMポートに接続することはできません。
- ✓通信圏外から通信圏内に戻った場合でも、自動的に再接続はできません。

4.7 グットリッドインデイクータ

4.7.1 グットリッドプザ-の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P B E P 1 .	グットリッドプザ- オン	■
 ~ B E P B E P 0 .	グットリッドプザ- オフ	
 ~ B E P L V L 0 .	プザ-音量 無し	
 ~ B E P L V L 1 .	プザ-音量 小	
 ~ B E P L V L 2 .	プザ-音量 中	■
 ~ B E P L V L 3 .	プザ-音量 大	
 ~ B E P F Q 1 1 6 0 0 .	プザ-周波数 1,600Hz	
 ~ B E P F Q 1 4 2 0 0 .	プザ-周波数 4,200Hz	
 ~ B E P F Q 1 3 2 5 0 .	プザ-周波数 3,250Hz	■
 ~ B E P B I P 0 .	プザ-長 ノーマル	■
 ~ B E P B I P 1 .	プザ-長 ショート	

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P R P T .	グッドリードボタン/LED 回数設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい回数を 1~9 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.7.2 グットリド LED の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B E P L E D 1 .	グッドリート LED オン	■
 ~ B E P L E D 0 .	グッドリート LED オフ	
 ~ D L Y G R D .	グッドリート LED デレイ設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を0~30,000の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8 ワイヤレスイメージャオプション

4.8.1 マニュアル/リアルタイムモードの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T R G M O D 0 .	マニュアル/リアルタイムモード トリガホタル又はリアルコマンドで読み取りを開始するモードです。	■
 ~ T R G S T O .	読取タイムアウト 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~300,000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

マニュアルモード トリガホタルを押している間、読み取りを行います。データを読み取るか、トリガホタルを離すと、読み取りを終了します。読取タイムアウトを設定した場合は、その時間が経過すると読み取りを終了します。

リアルタイムモード 読取開始リアルコマンドを受信すると、読み取りを行います。データを読み取るか、読取終了リアルコマンドを受信すると、読み取りを終了します。読取タイムアウトを設定した場合は、その時間が経過すると読み取りを終了します。

読取開始 <SYN> T <CR>
読取終了 <SYN> U <CR> <SYN> = 16hex, <CR> = 0Dhex

4.8.2 パワータイムアウトの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B T _ L P T 0 .	パワータイムアウト 0 秒(無し)	
 ~ B T _ L P T 2 0 0 .	パワータイムアウト 200 秒	
 ~ B T _ L P T 4 0 0 .	パワータイムアウト 400 秒	
 ~ B T _ L P T 9 0 0 .	パワータイムアウト 900 秒	
 ~ B T _ L P T 3 6 0 0 .	パワータイムアウト 3,600 秒	■
 ~ B T _ L P T 7 2 0 0 .	パワータイムアウト 7,200 秒	

- ✓シリアルマニュアルトリガモードにのみ有効です。
- ✓パワータイムアウト時間が経過すると、ワイヤレスイメージャは電源をオフにします。トリガボタンを引くと、パワーアップビープを鳴動し、数秒後にリックを確立し、復帰します。

4.8.3 連続読取モードの設定 リアルタイム専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 0 1 T R G M O D 1 .	連続読取モード	

4.8.4 オートセレクトの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T R G M O D 3 .	<u>オートセレクト</u> ワイヤレスイメージャの読取エリアに手印を差し出すと自動的に読み取りを開始するモードです。このモードは読取エリアの明暗を検知しているため、周囲の照明が暗すぎると、正常に動作しない場合があります。	
 ~ T R G P T O .	<u>オートセレクト読取タイムアウト 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~300,000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	5,000
 ~ T R G P C K 1 .	読み取り後 LED 消 (イメージャ) データ読み取り後、少しの間 LED を消の状態に保ちます。	■
 ~ T R G P C K 0 .	読み取り後 LED 点 (イメージャ) データ読み取り後、直ぐに LED 点します。	
 ~ T R G P M S .	<u>オートセレクト感度 (イメージャ)</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~20 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。(0 = 最高感度)	1
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.5 同一コード 読取デレイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y R R D 5 0 0 .	同一コード 読取デレイ 500 ミ秒 同一コード を読み取る迄の間隔を 500 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D 7 5 0 .	同一コード 読取デレイ 750 ミ秒 同一コード を読み取る迄の間隔を 750 ミ秒に設定します。	■
 ~ D L Y R R D 1 0 0 0 .	同一コード 読取デレイ 1,000 ミ秒 同一コード を読み取る迄の間隔を 1,000 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D 2 0 0 0 .	同一コード 読取デレイ 2,000 ミ秒 同一コード を読み取る迄の間隔を 2,000 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y R R D .	同一コード 読取デレイ 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャンし、続 けて「数値バーコード 表」から設定 したい値を 0~30,000 の範囲でス キャンし、最後に「確定」バーコード をス キャンします。設定単位は、ミ秒です。	750
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.6 コード 読取デ イイの設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y G R D 0 .	コード 読取デレイ 無し 次のコード を読み取る迄の間隔を 0 ミ秒(無し)に設定します。	■
 ~ D L Y G R D 5 0 0 .	コード 読取デレイ 500 ミ秒 次のコード を読み取る迄の間隔を 500 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y G R D 1 0 0 0 .	コード 読取デレイ 1,000 ミ秒 次のコード を読み取る迄の間隔を 1,000 ミ秒に設定します。	
 ~ D L Y G R D .	コード 読取デレイ 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャンし、続 けて「数値バーコード 表」から設定 したい値を 0~30,000 の範囲でス キャンし、最後に「確定」バーコード をス キャンします。設定単位は、ミ秒です。	500
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.7 読取 LED/アイア-の設定 I/Aイメージ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P W R L D C 0 .	読取 LED/アイア-出力 0% 出力 0%に設定した場合、暗い場所での読み取りができなくなる場合があります。	
 ~ P W R L D C 5 0 .	読取 LED/アイア-出力 50% 少ない照明出力レベルでも十分な場合に、設定します。	
 ~ P W R L D C 1 0 0 .	読取 LED/アイア-出力 100% 最大の照明出力で読み取りを行います。	■
 ~ S C N L E D 1 .	読取(照明ライト)LED 1 読取 LED(照明ライト)をONにします。	■
 ~ S C N L E D 0 .	読取(照明ライト)LED 0 読取 LED(照明ライト)をOFFにします。	
 ~ S C N A I M 0 .	アイア- 0 アイア-を使用しないため、読み取り中のピーク電流を抑えることができます。	
 ~ S C N A I M 1 .	アイア- 1 アイア-を使用します。	■
 ~ S C N A I M 2 .	アイア- 交互 アイア-と読取 LED(照明ライト)を交互にONにします。読み取り中のピーク電流を抑えることができますが、読取パフォーマンスが下がることがあります。	
 ~ S C N D L Y 2 0 0 .	アイア-デレイ 200 ミリ秒	
 ~ S C N D L Y 4 0 0 .	アイア-デレイ 400 ミリ秒	
 ~ S C N D L Y 0 .	アイア-デレイ 0 ミリ秒	■

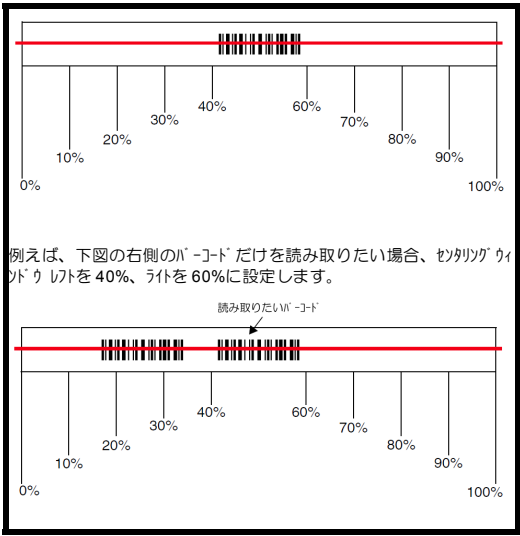
I/A-デレイで設定された時間経過後、I/A-を取り込みます。I/A-デレイ中は、読取 LED/I/A-出力の設定に関係なく、I/A-のみが 100%出力で照射されます。

4.8.8 センタリング ウィンドウの設定 リアルタイム専用

センタリング ウィンドウは、複数コードが隣接するバーコードから目的のコードだけを確実に読み取るために、ワイヤレスイメージャの視野を限定(狭める)するための機能です。

センタリング ウィンドウをオンにすると、レフト・ライトで設定されたエリアがセンタリング ウィンドウとなり、ワイヤレスイメージャはそのウィンドウ内に存在するコードだけを読み取ります。ウィンドウ内にコードが無ければ、何も読み取りません。

下記は、センタリング ウィンドウの概念と例を示しています。



コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ D E C W I N 0 .	センタリング ウィンドウ オフ	■
 ~ D E C W I N 1 .	センタリング ウィンドウ オン	

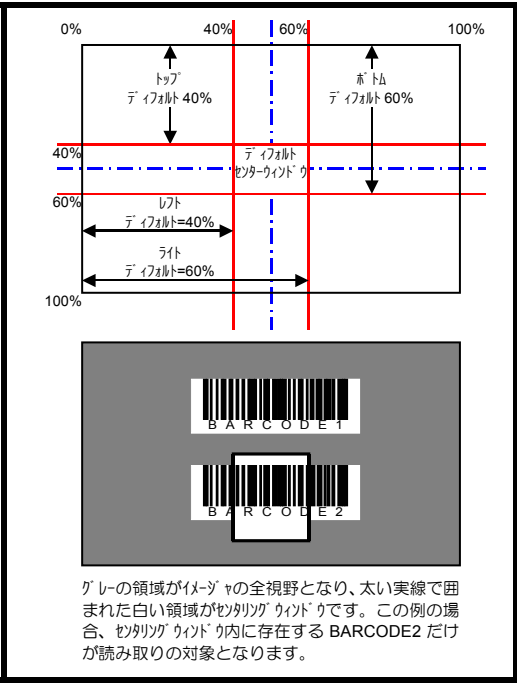
 ~DECLFT.	セタリツグ ウィンドウ レフト 設定開始 左記の「マツド」バ-コードをスキャンし、続けて「数値バ-コード」表から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。設定単位は、%です。	40
 ~DEC RGT.	セタリツグ ウィンドウ ライト 設定開始 左記の「マツド」バ-コードをスキャンし、続けて「数値バ-コード」表から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バ-コードをスキャンします。設定単位は、%です。	60
数値バ-コード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.9 センタリング ウィンドウの設定 エリアイメージ専用

センタリング ウィンドウは、複数コードが隣接するハールから目的のコードだけを確実に読み取るために、ワイヤスイメージの視野を限定(狭める)するための機能です。本書「4.8.7 読取 LED/エラーの設定」で説明したエラーデイルイと併用することで、読取エラーを最小限に抑えることが可能になります。

センタリング ウィンドウを有効にすると、トップ・ボトム・left・rightで設定されたエリアがセンタリング ウィンドウとなり、ワイヤスイメージはそのウィンドウ内に存在するコードだけを読み取ります。ウィンドウ内にコードが無ければ、何も読み取りません。

下記は、センタリング ウィンドウの概念と例を示しています。



コマンド バージョンコード	説明	デフォルト
 ~ D E C W I N 0 .	センタリング ウィンドウ オフ	■
 ~ D E C W I N 1 .	センタリング ウィンドウ オン	

 ~ D E C T O P .	センサング ウィンドウ トップ 設定開始 左記のコマンド バージョンコード をスキャンし、続けて「数値バージョンコード 表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バージョンコード をスキャンします。設定単位は、%です。	40
 ~ D E C B O T .	センサング ウィンドウ ボトム 設定開始 左記のコマンド バージョンコード をスキャンし、続けて「数値バージョンコード 表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バージョンコード をスキャンします。設定単位は、%です。	60
 ~ D E C L F T .	センサング ウィンドウ レフト 設定開始 左記のコマンド バージョンコード をスキャンし、続けて「数値バージョンコード 表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バージョンコード をスキャンします。設定単位は、%です。	40
 ~ D E C R G T .	センサング ウィンドウ ライト 設定開始 左記のコマンド バージョンコード をスキャンし、続けて「数値バージョンコード 表」から設定したい値を 0~100 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バージョンコード をスキャンします。設定単位は、%です。	60
数値バージョンコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.10 デコードサーチモードの設定 リアルタイム専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D E C M O D 0 .	<u>フル・イメージ・検索モード</u> 取り込んだイメージを中央から順に視野全体をサーチして、コードをデコードします。全てのコード(シリアル)及びOCRフォントを全方向で読み取ることが可能ですが、綿密なサーチを行うため、実行速度が遅くなる場合があります。	■
 ~ D E C M O D 1 .	<u>クイック・イメージ・検索モード</u> 取り込んだイメージの中心領域周辺を簡略サーチして、コードをデコードするため、高速読み取りが可能になります。このモードも全てのコード(シリアル)及びOCRフォントを全方向で読み取ることが可能ですが、中心を外れた一部のコードやデータマーカー、QRコードを読みこぼすことがあります。	

4.8.11 マルチコード読み取りの設定 リアルタイム専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ S H O T G N 1 .	<u>マルチコード読み取り 1</u> ワイヤレスイメージャは、トリガを引いている間、常に新たなコード(シリアル)をサーチし、読み取りを試みます。各コード(シリアル)を一度ずつ読み取り(同じコードを重複読み取りしない)、その都度、グッドリードフラグを鳴動(1の場合)させます。	
 ~ S H O T G N 0 .	<u>マルチコード読み取り 0</u> ワイヤレスイメージャは、イメージに最も近いコード(シリアル)だけを読み取ります。	■

4.8.12 シンボル優先順位読み取りの設定

シンボル優先順位の設定を行うことで、読み取りエリア内に複数のシンボル種が存在する場合でも、的確に優先順位の高いシンボル種を読み取らせることが可能になります。

例えば、他の業務でコード 39 を読み取る必要があるため、コード 39 の読み取りを無しに設定することはできないが、ある一部の業務で読み取りエリア内にコード 39 とコード 128 が存在する製品箱のコード 128 のみを確実に読み取らなければいけないとします。この場合、優先順位の高いシンボルをコード 128 とすることで、目的のコード 128 だけを確実に読み取ることができるようになります。

シンボル優先順位は、高い・低い・定義無しの 3 つに分類され、ワイヤレスイメージャは、低いに設定されたシンボル種を読み取りエリア内で検知すると、そのシンボルをシンボル優先順位タイムアウトで設定された時間無視して、高いに設定されているシンボル種を探します。優先順位タイムアウト内に見つかれば、それを読み取り、見つからなければ、読み取りエリア内にある低い又は定義無しのシンボル種を読み取ります。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R F E N A 1 .	シンボル優先順位読み取り 有り	
 ~ P R F E N A 0 .	シンボル優先順位読み取り 無し	■
 ~ P R F C O D .	優先順位の高いシンボル設定開始 下記に設定手順を示します。 1. 左記のコマンドバーコードをスキャン 2. 対象となるシンボルのコード ID (本書「A.1 コード ID 表」参照) を「英数字バーコード表」からスキャン 3. 最後に「確定」をスキャンします。	無し
 ~ P R F B L K .	優先順位の低いシンボル設定開始 下記に設定手順を示します。 1. 左記のコマンドバーコードをスキャン 2. 対象となるシンボルのコード ID (本書「A.1 コード ID 表」参照) を「英数字バーコード表」からスキャン 4. 続けて、対象となるシンボルを追加する場合は、区切りを意味する FF を「英数字バーコード表」からスキャン、追加しない場合は、そのまま次に進みます。 6. 最後に「確定」をスキャンします。	無し

- ✓OCR 読み取りには、適用されません。
- ✓優先順位の低いシンボルを読み取る場合は、イマーLEDビームの中央にくるように照射してください。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R F P T O .	<u>シボル優先順位タイムアウト</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 1~3000 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、ミリ秒です。	500
 ~ P R F D F T .	<u>シボル優先順位デフォルト</u> シボル優先順位の設定を全てデフォルト値に戻します。	
数値・英数字バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 A	 B	
 C	 D	
 E	 F	
 確定	 破棄	

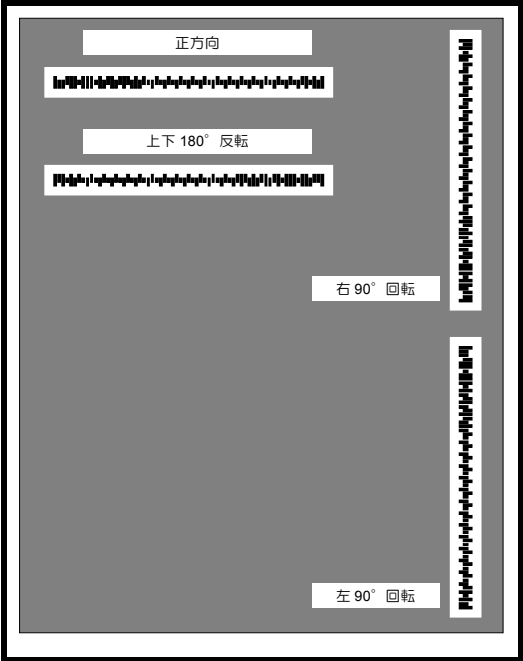
- ✓OCR読み取りには、適用されません。
- ✓優先順位の低いシボールを読み取る場合は、Iマ-LEDビームの中央にくるように照射してください。

4.8.13 プリントウェイトの設定 エリアーザ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R T W G T .	<u>プリントウェイト 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 1~7 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 <u>プリントウェイト</u> プリントウェイトは、マトリクスシンボルの読み取り調整を行います。印刷されたマトリクスシンボルが一様に太く印刷されている場合は、プリントウェイトを 6、一様に細く印刷されている場合は、2 に設定すると良い結果が得られるようになります。	4
 ~ P R T W G T 4 .	<u>プリントウェイト デフォルト</u> プリントウェイトをデフォルトに戻します。	■
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.8.14 コードイメージ方向の設定 EIAイメージ専用

郵便コード(カタパコード)や OCR フォントなど一部のコード(シボル)では、コードの反転や回転によりデータを誤読する可能性が高くなります。コードイメージを正方向で取り込むことができない場合は、コードイメージ方向を予め設定されることをお勧めします。



コードバースコード	説明	デフォルト
 ~ R O T A T N 0 .	正方向(反転・回転無し)	■
 ~ R O T A T N 1 .	上下 180° 反転	
 ~ R O T A T N 2 .	右 90° 回転	
 ~ R O T A T N 3 .	左 90° 回転	

4.8.15 反転コード 読み取りの設定 エリアメーザ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ V I D R E V 1 .	反転コード 読み取り <u>オン</u> 反転したコード (シンボル) の読み取り を行います。	
 ~ V I D R E V 0 .	反転コード 読み取り <u>オフ</u> 反転したコード (シンボル) の読み取り を行いません。	■
 ~ V I D R E V 0 .	反転コード 読み取り <u>オフ (初タイプ)</u> 反転したコード (シンボル) の読み取り を行いません。	

4.9 データ送信

4.9.1 ノーリッド 送信の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ S H W N R D 1 .	ノーリッド 送信 1 ノーリッド「NR」を送信します。	
 ~ S H W N R D 0 .	ノーリッド 送信 0 ノーリッド「NR」を送信しません。	■

4.9.2 キャラクタ間デレイの設定

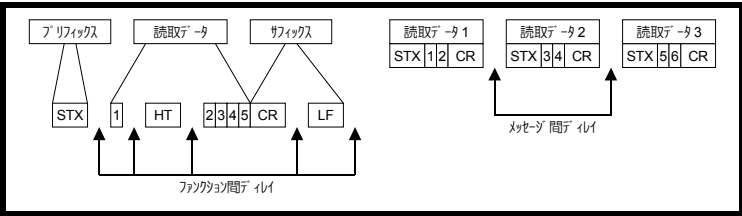
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y C H R .	キャラクタ間デレイ 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5 ミリ秒です。例えば、20 ミリ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.9.3 指定キャラクタデイルイの設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ D L Y C R X .	<u>指定キャラクタデイルイ 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「数値バーコード表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。設定単位は、5 ミ秒です。例えば、20 ミ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
 ~ D L Y _ X X .	<u>指定キャラクタ 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャンし、続けて「英数字バーコード表」から設定したいキャラクタをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。例えば、A(41hex)を設定する場合は、41「確定」の順でスキャンします。この指定キャラクタ送信後に、設定されたデイルイが実行されます。	
数値・英数字バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 A	 B	
 C	 D	
 E	 F	
 確定	 破棄	

4.9.4 ファクション間デイルイ・メッセージ 間デイルイの設定

下図に示すように、ファクションキャラクタ(00~1Fhex)が送信された後に実行されるデイルイがファクション間デイルイ、読取データ間に実行されるデイルイがメッセージ 間デイルイです。



コマンドバrcode	説明	デフォルト
 ~ D L Y F N C .	<u>ファクション間デイルイ 設定開始</u> 左記のコマンドバrcodeをスキャンし、続けて「数値バrcode表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バrcodeをスキャンします。設定単位は、5 ミ秒です。例えば、20 ミ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
 ~ D L Y M S G .	<u>メッセージ 間デイルイ 設定開始</u> 左記のコマンドバrcodeをスキャンし、続けて「数値バrcode表」から設定したい値を 0~99 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バrcodeをスキャンします。設定単位は、5 ミ秒です。例えば、20 ミ秒に設定したい場合は、4 をスキャンします。	0
数値バrcode 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.9.5 プリフィックス/サフィックスの設定

下記に示すように、読取データの前後にそれぞれ 1~11 文字までの任意のプリフィックス及びサフィックスを付加して送信することができます。

プリフィックス	読取データ	サフィックス
無し又は 1~11 文字	可変長	無し又は 0~11 文字

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P R E B K 2 .	<u>プリフィックス 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるシボールのコード ID(本書「A.1 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、続けて設定したい 11 文字までのプリフィックスをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、全シボール(99)を対象にプリフィックスを 123 とする場合、各キャラクタを 16 進数に変換し、99313233「確定」の順でスキャンします。	無し
 ~ P R E C A 2 .	<u>全プリフィックス クリア</u> 設定されている全プリフィックスをクリアします。	
 ~ S U F B K 2 .	<u>サフィックス 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、対象となるシボールのコード ID(本書「A.1 コード ID 表」参照)を「英数字バーコード表」からスキャンし、続けて設定したい 11 文字までのプリフィックスをスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。 例えば、全シボール(99)を対象にサフィックスを TAB(09hex)とする場合、9909「確定」の順でスキャンします。	無し
 ~ S U F C A 2 .	<u>全サフィックス クリア</u> 設定されている全サフィックスをクリアします。	

- コード ID 送信を指定する場合は、特殊コード 5C80 をスキャンします。
- AIM ID 送信を指定する場合は、特殊コード 5C81 をスキャンします。
- マーク(バックスラッシュ)送信を指定する場合は、特殊コード 5C81 をスキャンします。

例)全シボール(99)のプリフィックスをコード ID に設定する場合、下記の順でスキャンします。
 「プリフィックス設定開始」 995C80 「確定」

英数字バーコード表	
 0	 1
 2	 3
 4	 5
 6	 7
 8	 9
 A	 B
 C	 D
 E	 F
 確定	 破棄

4.9.6 データ送信シーケンスの設定 リアルタイム専用

データ送信シーケンスを設定することにより、マルチコード読み取り(本書「4.8.11 マルチコード読み取りの設定」参照)を行った場合でも、データ送信シーケンスで設定された規則に従って、常に同じフォーマット(順序)でデータを送信することが可能になります。

マルチバーコード	説明	デフォルト
 ~ S E Q B L K .	データ送信シーケンス 設定開始 下記に設定手順を示します。 1. 左記のマルチバーコード をスキャン 2. 対象となるシリアルコード ID (本書「A.1 コード ID 表」参照) を「英数字バーコード 表」からスキャン 3. 条件を適用したいシリアルコードの桁数 を 0000~9999 の範囲で「数値 バーコード 表」からスキャン (50 桁=0050, 可変長=9999) 4. 条件を適用したいシリアルコードの先頭 キャラクタを「英数字バーコード 表」から スキャン (A=41hex, 任意=99) 5. シーケンスの区切りを意味する FF を「英数字バーコード 表」からスキャン 6. 次のシーケンスを設定する場合は、 2~6 を繰り返します。 シーケンス設定確定する場合は、 最後に「確定」をスキャンします。	
 ~ S E Q D F T .	データ送信シーケンス デフォルト データ送信シーケンスの設定をデフォルトに戻します。	
 ~ S E Q E N 2 .	データ送信シーケンス エクスループ (必須) データ送信シーケンスを適用して、データを送信します。設定規則に当てはまらないデータは破棄します。	
 ~ S E Q E N 1 .	データ送信シーケンス 刈 データ送信シーケンスを適用しますが、設定規則に当てはまらないデータを読み取った場合は、そのままデータを送信します。	
 ~ S E Q E N 0 .	データ送信シーケンス 刈 読取データをそのまま送信します。	

例えば、下記に示す多段階パルを[コード 39][コード 128][コード 93]の順で必ず送信したい場合、次の手順でデータ送信シーケンスを設定します。

「データ送信シーケンス設定開始」 → 62 9999 41 FF → 6A 9999 42 FF → 69 9999 43 FF → 「確定」

① ② ③

① コード ID = 62(コード 39), 桁数 9999(可変長), 先頭桁番号 41(A), シーケンス区切り FF

② コード ID = 6A(コード 128), 桁数 9999(可変長), 先頭桁番号 42(B), シーケンス区切り FF

③ コード ID = 69(コード 93), 桁数 9999(可変長), 先頭桁番号 43(C), シーケンス区切り FF


C - C O D E 9 3


B - C O D E 1 2 8


* A - C O D E 3 9 *

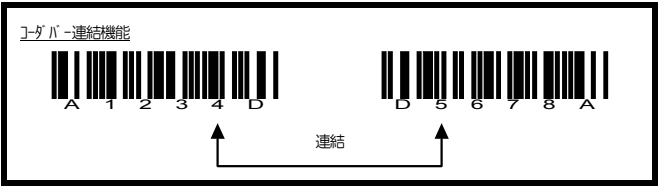
数値・英数字パコード表	
 0	 1
 2	 3
 4	 5
 6	 7
 8	 9
 A	 B
 C	 D
 E	 F
 確定	 破棄

4.10 リニアシンボルの(バーコード)の読み取り設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A L L E N A 1 .	全リニアシンボル読み取り <u>オン</u> 全てのリニアシンボル(バーコード)の読み取りをオンにします。	
 ~ A L L E N A 0 .	全リニアシンボル読み取り <u>オフ</u> 全てのリニアシンボル(バーコード)の読み取りをオフにします。	

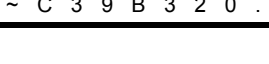
4.10.1 コーダバー(NW7)の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C B R D F T .	コーダバー 全デフォルト コーダバーに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C B R E N A 1 .	コーダバー 読み取り <u>オン</u> コーダバーを読み取ります。	■
 ~ C B R E N A 0 .	コーダバー 読み取り <u>オフ</u> コーダバーを読み取りません。	
 ~ C B R S S X 1 .	スタート/ストップ 送信 <u>オン</u> スタート/ストップ キャラクタを送信します。	
 ~ C B R S S X 0 .	スタート/ストップ 送信 <u>オフ</u> コーダバーのスタート/ストップ キャラクタを送信しません。	■
 ~ C B R C K 2 0 .	チェックディジット <u>オフ</u> チェックディジット(ECC 1D 16)検査をしません。	■
 ~ C B R C K 2 1 .	チェックディジット <u>オン</u> 送信 <u>オフ</u> チェックディジット(ECC 1D 16)検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ C B R C K 2 2 .	チェックディジット <u>オン</u> 送信 <u>オン</u> チェックディジット(ECC 1D 16)検査及び送信を行います。	

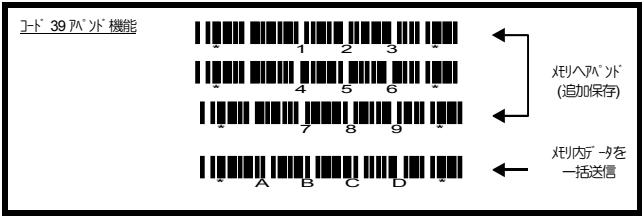


コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C B R C C T 2 .	連結機能 2 (必須) 連結を行います、連結の無い単独の「D」シボ ルは読み取りません。	
 ~ C B R C C T 1 .	連結機能 1 連結を行います。連結の無い単独の「D」シボ ルも読み取れます。	
 ~ C B R C C T 0 .	連結機能 0 連結を行いません。	■
 ~ C B R M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最小桁数を 2~60 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコード をスキャンします。	4
 ~ C B R M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最大桁数を 2~60 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコード をスキャンします。	60
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.2 コード 39 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C 3 9 D F T .	コード 39 全デフォルト コードバーに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 3 9 E N A 1 .	コード 39 読み取り <u>オ</u> コード 39 を読み取ります。	■
 ~ C 3 9 E N A 0 .	コード 39 読み取り <u>オ</u> コード 39 を読み取りません。	
 ~ C 3 9 S S X 1 .	スタート/ストップ 送信 <u>オ</u> スタート/ストップ キャラクタを送信します。	
 ~ C 3 9 S S X 0 .	スタート/ストップ 送信 <u>オ</u> コードバーのスタート/ストップ キャラクタを送信しません。	■
 ~ C 3 9 C K 2 0 .	チェックディジット <u>オ</u> チェックディジット検査をしません。	
 ~ C 3 9 C K 2 1 .	チェックディジット <u>オ</u> /送信 <u>オ</u> チェックディジット検査をしますが、送信は行いません。	
 ~ C 3 9 C K 2 2 .	チェックディジット <u>オ</u> /送信 <u>オ</u> チェックディジット検査及び送信を行います。	
 ~ C 3 9 C K 2 2 .	チェックディジット <u>オ</u> /送信 <u>オ</u> チェックディジット検査及び送信を行います。	
 ~ C 3 9 A S C 1 .	フルアスキー読み取り <u>オ</u> フルアスキー読み取りをします。	□ ³
 ~ C 3 9 A S C 0 .	フルアスキー読み取り <u>オ</u> フルアスキー読み取りをしません。	■
 ~ C 3 9 B 3 2 1 .	コード 32(PARAF)読み取り <u>オ</u> コード 32(PARAF)を読み取ります。	
 ~ C 3 9 B 3 2 0 .	コード 32(PARAF)読み取り <u>オ</u> コード 32(PARAF)を読み取りません。	

³ IT3800 シリーズのデフォルト値です。



コマンドバーコード	説明	デフォルト
	<u>アンド機能</u> スペースで始まるコード 39 データを読み取ると、最初のスペースを削除した後、内部メモリにアンド (追加保存) していきます。スペース以外で始まるコード 39 データを読み取ると、メモリ内のデータを一括送信します。	
	<u>アンド機能</u> アンドを行いません。	■
	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	1
	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコード をスキャン後、「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコード をスキャンします。	48
数値バーコード 表		

4.10.3 インターブート 25 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
	インターブート 25 全デフォルト インターブート 25 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
	インターブート 25 読み取り <u>オ</u> インターブート 25 を読み取ります。	■
	インターブート 25 読み取り <u>オフ</u> インターブート 25 を読み取りません。	
	チェックディジット <u>オフ</u> チェックディジット検査をしません。	■
	チェックディジット <u>オフ</u> /送信 <u>オフ</u> チェックディジット検査をしますが、送信は行いません。	
	チェックディジット <u>オフ</u> /送信 <u>オン</u> チェックディジット検査及び送信を行います。	
	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を2~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を2~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		

4.10.4 コード 93 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C 9 3 D F T .	コード 93 全デフォルト コード 93 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 9 3 E N A 1 .	コード 93 読み取り 有効 コード 93 を読み取ります。	■
 ~ C 9 3 E N A 0 .	コード 93 読み取り 無効 コード 93 を読み取りません。	
 ~ C 9 3 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ C 9 3 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.5 コード 25 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ R 2 5 D F T .	コード 25 全デフォルト コード 25 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R 2 5 E N A 1 .	コード 25 読み取り 有効 コード 25 を読み取ります。	■
 ~ R 2 5 E N A 0 .	コード 25 読み取り 無効 コード 25 を読み取りません。	
 ~ R 2 5 M I N .	最小桁数 設定開始 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ R 2 5 M A X .	最大桁数 設定開始 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.6 スレート 25(IATA)の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A 2 5 D F T .	スレート 25 全デフォルト スレート 25 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ A 2 5 E N A 1 .	スレート 25 読み取り <u>オフ</u> スレート 25 を読み取りません。	
 ~ A 2 5 E N A 0 .	スレート 25 読み取り <u>オン</u> スレート 25 を読み取ります。	■
 ~ A 2 5 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ A 2 5 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~48 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.7 マトリクス 25 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ X 2 5 D F T .	マトリクス 25 全デフォルト マトリクス 25 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ X 2 5 E N A 1 .	マトリクス 25 読み取り オン マトリクス 25 を読み取ります。	
 ~ X 2 5 E N A 0 .	マトリクス 25 読み取り オフ マトリクス 25 を読み取れません。	■
 ~ X 2 5 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」 バーコードをスキャンします。	4
 ~ X 2 5 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」 バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.8 コード 11 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C 1 1 D F T .	コード 11 全デフォルト コード 11 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 1 1 E N A 1 .	コード 11 読み取り 12 コード 11 を読み取ります。	
 ~ C 1 1 E N A 0 .	コード 11 読み取り 17 コード 25 を読み取りません。	■
 ~ C 1 1 C K 2 0 .	1 チェックディジット 1 チェックディジット検査をします。	
 ~ C 1 1 C K 2 1 .	2 チェックディジット 2 チェックディジット検査をします。	■
 ~ C 1 1 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ C 1 1 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.9 コード 128 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 1 2 8 D F T .	コード 128 全デフォルト コード 128 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ 1 2 8 E N A 1 .	コード 128 読み取り <u>お</u> コード 25 を読み取ります。	■
 ~ 1 2 8 E N A 0 .	コード 128 読み取り <u>お</u> コード 128 を読み取りません。	
 ~ I S B E N A 1 .	ISBT 連結機能 <u>お</u> ⁴ ISBT 連結をします。	
 ~ I S B E N A 0 .	ISBT 連結機能 <u>お</u> ISBT 連結をしません。	■
 ~ 1 2 8 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ 1 2 8 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコードをスキャンします。	80
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

⁴ 1994 年 国際輸血学会(ISBT)が血液の重要情報をやりとりするために策定した血液製品の標準バーコードフォーマットです。ISBT フォーマットを使用するには、有料ライセンスが必要になります。

4.10.10 Telepen の設定

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ T E L D F T .	<u>Telepen 全デフォルト</u> Telepen に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ T E L E N A 1 .	<u>Telepen 読み取り オ</u> Telepen を読み取ります。	
 ~ T E L E N A 0 .	<u>Telepen 読み取り オ</u> Telepen を読み取りません。	■
 ~ T E L O L D 0 .	<u>AIM フォーマット</u> AIM フォーマットで出力します。	■
 ~ T E L O L D 1 .	<u>カリザ カルフォーマット</u> カリザ カルフォーマットで出力します。	
 ~ T E L M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンド バーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~60 の範囲でスキャンし、最後に「確定」 バーコード をスキャンします。	1
 ~ T E L M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンド バーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~60 の範囲でスキャンし、最後に「確定」 バーコード をスキャンします。	60
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.11 UPC-A の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ U P A D F T ~	UPC-A 全デフォルト UPC-A に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ U P A E N A 1 ~	UPC-A 読み取り 有効 UPC-A を読み取ります。	■
 ~ U P A E N A 0 ~	UPC-A 読み取り 無効 UPC-A を読み取りません。	
 ~ U P A C K X 1 ~	チェックアウト送信 有効 チェックアウトを送信します。	■
 ~ U P A C K X 0 ~	チェックアウト送信 無効 チェックアウトを送信しません。	
 ~ U P A N S X 1 ~	システムバース送信 有効 システムバースを送信します。	■
 ~ U P A N S X 0 ~	システムバース送信 無効 システムバースを送信しません。	
 ~ U P A A D 2 1 ~	アドオン2読み取り 有効 アドオン2を読み取ります。	
 ~ U P A A D 2 0 ~	アドオン2読み取り 無効 アドオン2を読み取りません。	■
 ~ U P A A D 5 1 ~	アドオン5読み取り 有効 アドオン5を読み取ります。	
 ~ U P A A D 5 0 ~	アドオン5読み取り 無効 アドオン5を読み取りません。	■

 ~ U P A A R Q 1 .	<u>アドオン必須読み取り</u> <u>アドオン</u> アドオン付 UPC-A だけを読み取ります。	
 ~ U P A A R Q 0 .	<u>アドオン必須読み取り</u> <u>アドオン</u> アドオン無しとアドオンの UPC-A を読み取ります。	■
 ~ U P A A D S 1 .	<u>アドオンデータ</u> <u>アドオン</u> アドオンデータの前にデータとして、スペースを挿入します。	
 ~ U P A A D S 0 .	<u>アドオンデータ</u> <u>アドオン</u> スペースを挿入しません。	■
 ~ C P N E N A 1 .	<u>クボコード読み取り</u> <u>クボコード</u> クボコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。	
 ~ C P N E N A 0 .	<u>クボコード読み取り</u> <u>クボコード</u> クボコード付 UPC-A/EAN-13 を読み取ります。	■

4.10.12 UPC-E の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ U P E D F T .	UPC-E 全デフォルト UPC-E に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ U P E E N 0 1 .	UPC-E0 読み取り 有効 「0」で始まる UPC-E を読み取ります。	■
 ~ U P E E N 0 0 .	UPC-E0 読み取り 無効 「0」で始まる UPC-E を読み取れません。	
 ~ U P E E N 1 1 .	UPC-E1 読み取り 有効 「1」で始まる UPC-E を読み取ります。	
 ~ U P E E N 1 0 .	UPC-E1 読み取り 無効 「1」で始まる UPC-E を読み取れません。	■
 ~ U P E E X P 1 .	UPC-A 変換 有効 UPC-A コードに変換します。	
 ~ U P E E X P 0 .	UPC-A 変換 無効 UPC-A コードに変換しません。	■
 ~ U P E C K X 1 .	チェックディジット送信 有効 チェックディジットを送信します。	■
 ~ U P E C K X 0 .	チェックディジット送信 無効 チェックディジットを送信しません。	
 ~ U P E N S X 1 .	システムバー送信 有効 システムバーを送信します。	■
 ~ U P E N S X 0 .	システムバー送信 無効 システムバーを送信しません。	

 ~ U P E A D 2 1 .	<u>アド 2 読み取り 1</u> アド 2 を読み取ります。	
 ~ U P E A D 2 0 .	<u>アド 2 読み取り 2</u> アド 2 を読み取れません。	■
 ~ U P E A D 5 1 .	<u>アド 5 読み取り 1</u> アド 5 を読み取ります。	
 ~ U P E A D 5 0 .	<u>アド 5 読み取り 2</u> アド 5 を読み取れません。	■
 ~ U P E A R Q 1 .	<u>アド 必須読み取り 1</u> アド 付 UPC-E だけを読み取ります。	
 ~ U P E A R Q 0 .	<u>アド 必須読み取り 2</u> アド 無しとアド 付の UPC-E を読み取ります。	■
 ~ U P E A D S 1 .	<u>アド オペレータ 1</u> アド データの前にオペレータとして、スペースを挿入します。	
 ~ U P E A D S 0 .	<u>アド オペレータ 2</u> スペースを挿入しません。	■

4.10.13 EAN/JAN-13 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ E 1 3 D F T .	<u>EAN/JAN-13 全デフォルト</u> EAN/JAN-13 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ E 1 3 E N A 1 .	<u>EAN/JAN-13 読み取り 有効</u> EAN/JAN-13 を読み取ります。	■
 ~ E 1 3 E N A 0 .	<u>EAN/JAN-13 読み取り 無効</u> EAN/JAN-13 を読み取りません。	
 ~ E 1 3 C K X 1 .	<u>チェックアウト送信 有効</u> チェックアウトを送信します。	■
 ~ E 1 3 C K X 0 .	<u>チェックアウト送信 無効</u> チェックアウトを送信しません。	
 ~ E 1 3 A D 2 1 .	<u>アドオン2読み取り 有効</u> アドオン2を読み取ります。	
 ~ E 1 3 A D 2 0 .	<u>アドオン2読み取り 無効</u> アドオン2を読み取りません。	■
 ~ E 1 3 A D 5 1 .	<u>アドオン5読み取り 有効</u> アドオン5を読み取ります。	
 ~ E 1 3 A D 5 0 .	<u>アドオン5読み取り 無効</u> アドオン5を読み取りません。	■

 ~ E 1 3 A R Q 1 .	<u>アドオン必須読み取り</u> アドオン付 EAN/JAN-13 だけを読み 取ります。	
 ~ E 1 3 A R Q 0 .	<u>アドオン必須読み取り</u> アドオン無しとアドオン付の EAN/JAN-13 を読み取ります。	■
 ~ E 1 3 A D S 1 .	<u>アドオンデータ</u> アドオンデータの前にデータとして、 スペースを挿入します。	
 ~ E 1 3 A D S 0 .	<u>アドオンデータ</u> スペースを挿入しません。	■
 ~ E 1 3 I S B 1 .	<u>ISBN 変換</u> ISBN 変換をします。	
 ~ E 1 3 I S B 0 .	<u>ISBN 変換</u> ISBN 変換をしません。	■

4.10.14 EAN/JAN-8 の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ E A 8 D F T .	<u>EAN/JAN-8 全デフォルト</u> EAN/JAN-8 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ E A 8 E N A 1 .	<u>EAN/JAN-8 読み取り 有効</u> EAN/JAN-8 を読み取ります。	■
 ~ E A 8 E N A 0 .	<u>EAN/JAN-8 読み取り 有効</u> EAN/JAN-8 を読み取りません。	
 ~ E A 8 C K X 1 .	<u>チェックイット送信 有効</u> チェックイットを送信します。	■
 ~ E A 8 C K X 0 .	<u>チェックイット送信 有効</u> チェックイットを送信しません。	
 ~ E A 8 A D 2 1 .	<u>アドオン2読み取り 有効</u> アドオン2を読み取ります。	
 ~ E A 8 A D 2 0 .	<u>アドオン2読み取り 有効</u> アドオン2を読み取りません。	■
 ~ E A 8 A D 5 1 .	<u>アドオン5読み取り 有効</u> アドオン5を読み取ります。	
 ~ E A 8 A D 5 0 .	<u>アドオン5読み取り 有効</u> アドオン5を読み取りません。	■
 ~ E A 8 A R Q 1 .	<u>アドオン必須読み取り 有効</u> アドオン付 EAN/JAN-8 だけを読み取ります。	
 ~ E A 8 A R Q 0 .	<u>アドオン必須読み取り 有効</u> アドオン無しとアドオン付の EAN/JAN-8 を読み取ります。	■
 ~ E A 8 A D S 1 .	<u>アドオンセパレータ 有効</u> アドオンデータの前にセパレータとして、スペースを挿入します。	
 ~ E A 8 A D S 0 .	<u>アドオンセパレータ 有効</u> スペースを挿入しません。	■

4.10.15 MSI の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ M S I D F T .	MSI 全デフォルト MSI に関する設定を全てデフォルト に戻します。	
 ~ M S I E N A 1 .	MSI 読み取り 丸 MSI を読み取ります。	
 ~ M S I E N A 0 .	MSI 読み取り 丸 MSI を読み取りません。	■
 ~ M S I C H K 0 .	チェックイット 丸/送信 丸 チェックイット(タイプ 10)検査をし ますが、送信は行いません。	■
 ~ M S I C H K 1 .	チェックイット 丸/送信 丸 チェックイット(タイプ 10)検査及び送 信を行います。	
 ~ M S I M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 4~48 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ M S I M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 4~48 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.16 PosiCode の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P O S D F T .	PosiCode 全デフォルト PosiCode に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ P O S E N A 1 .	PosiCode 読み取り <u>を</u> PosiCode を読み取ります。	■
 ~ P O S E N A 0 .	PosiCode 読み取り <u>を</u> PosiCode を読み取りません。	
 ~ P O S L I M 0 .	PosiCode A&B 読み取り <u>を</u> PosiCode A と B (リミット A と B は読み取り無し)を読み取ります。 (PosiCode 読み取りを <u>を</u> に設定しておく必要があります。)	
 ~ P O S L I M 1 .	PosiCode A&B&リミット A 読み取り <u>を</u> PosiCode A と B とリミット A (リミット B は読み取り無し)を読み取ります。 (PosiCode 読み取りを <u>を</u> に設定しておく必要があります。)	
 ~ P O S L I M 2 .	PosiCode A&B&リミット B 読み取り <u>を</u> PosiCode A と B とリミット B (リミット A は読み取り無し)を読み取ります。 (PosiCode 読み取りを <u>を</u> に設定しておく必要があります。)	■

 ~ P O S M I N .	<u>最小桁数 設定開始(2~80)</u> 左記のコマンドバコードをスキャン後、 「数値バコード表」から最小桁数を 2~80 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バコードをスキャンします。	4
 ~ P O S M A X .	<u>最大桁数 設定開始(2~80)</u> 左記のコマンドバコードをスキャン後、 「数値バコード表」から最大桁数を 2~80 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バコードをスキャンします。	48
数値バコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.17 Plessey の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P L S D F T .	<u>Plessey 全デフォルト</u> Plessey に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ P L S E N A 1 .	<u>Plessey 読み取り 有効</u> Plessey を読み取ります。	
 ~ P L S E N A 0 .	<u>Plessey 読み取り 無効</u> Plessey を読み取りません。	■
 ~ P L S M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を4~48の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ P L S M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を4~48の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.10.18 GS1 Databar Ominidirectional の設定

コマンド バールコード	説明	デフォルト
 ~ R S S D F T .	<u>GS1 Databar Ominidirectional</u> <u>全デフォルト</u> GS1 Databar Ominidirectional に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S S E N A 1 .	<u>GS1 Databar Ominidirectional</u> <u>読み取り 有効</u> GS1 Databar Ominidirectional を読み取ります。	■
 ~ R S S E N A 0 .	<u>GS1 Databar Ominidirectional</u> <u>読み取り 無効</u> GS1 Databar Ominidirectional を読み取りません。	

4.10.19 GS1 Databar Limited の設定

コマンド バールコード	説明	デフォルト
 ~ R S L D F T .	<u>GS1 Databar Limited</u> <u>全デフォルト</u> RSS リミットに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ R S L E N A 1 .	<u>GS1 Databar Limited</u> <u>読み取り 有効</u> RSS リミットを読み取ります。	■
 ~ R S L E N A 0 .	<u>GS1 Databar Limited</u> <u>読み取り 無効</u> RSS リミットを読み取りません。	

4.10.20 GS1 Databar Expanded の設定

コマンドバーコード	説明	デフォルト
~ R S E D F T .	<u>GS1 Databar Expanded</u> 全デフォルト RSS イクスパートに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
~ R S E E N A 1 .	<u>GS1 Databar Expanded</u> 読み取り 有効 RSS イクスパートを読み取ります。	
~ R S E E N A 0 .	<u>GS1 Databar Expanded</u> 読み取り 無効 RSS イクスパートを読み取りません。	■
~ R S E E M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	4
~ R S E E M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~80の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	74
数値バーコード表		
0	1	
2	3	
4	5	
6	7	
8	9	
確定	破棄	

4.10.21 GS1 ミュレーションの設定

コマンド バージョン	説明	デフォルト
 ~ E A N E M U 0 .	<u>GS1 ミュレーション 無し</u> GS1 ミュレーションを行いません。	■
 ~ E A N E M U 1 .	<u>GS1-128 ミュレーション有り</u> GS-128/GS1 Databar 等価のインコード がされた読取データの先頭に AIM ID の jC1 を付加します。	
 ~ E A N E M U 2 .	<u>GS1 Databar ミュレーション 有り</u> GS-128/GS1 Databar 等価のインコード がされた読取データの先頭に AIM ID の je0 を付加します。	

4.11 スタックンボ[®]ルの読み取り設定 EIAイメージ専用

4.11.1 Trioptic コード[®] の設定 EIAイメージ専用

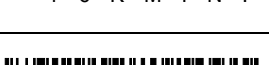
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T R I E N A 1 .	Trioptic コード [®] 読み取り <u>を</u> Trioptic コード [®] を読み取ります。	
 ~ T R I E N A 0 .	Trioptic コード [®] 読み取り <u>を</u> Trioptic コード [®] を読み取りません。	■

- Trioptic コード[®] は、磁気記録媒体のラベル表示に使用されています。
 - コード[®] 32(PARAF)を読み取る場合は、必ず Trioptic コード[®] の読み取りを先にしてください。(本書「4.10.2 コード[®] 39 の設定」参照)

4.11.2 コーダブロックFの設定 エリアメジャ専用

コマンド バーコード	説明	デフォルト
 ~ C B F D F T .	コードブロックF 全デフォルト コードブロックF に関する設定を全て デフォルトに戻します。	
 ~ C B F E N A 1 .	コードブロックF 読み取り オ コードブロックF を読み取ります。	
 ~ C B F E N A 0 .	コードブロックF 読み取り オ コードブロックF を読み取りません。	■
 ~ C B F M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンド バーコード をスキャン後、 「数値バ ーコード 表」から最小桁数を 1~2,048 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バ ーコード をスキャンします。	1
 ~ C B F M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンド バ ーコード をスキャン後、 「数値バ ーコード 表」から最大桁数を 1~2,048 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バ ーコード をスキャンします。	2,048
数値バ ーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.3 コード 16K の設定 EIAイメージ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ 1 6 K D F T .	コード 16K 全デフォルト コード 16K に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ 1 6 K E N A 1 .	コード 16K 読み取り 有効 コード 16K を読み取ります。	
 ~ 1 6 K E N A 0 .	コード 16K 読み取り 無効 コード 16K を読み取りません。	■
 ~ 1 6 K M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~160 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ 1 6 K M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~160 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	160
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.4 コード 49 の設定 リアルタイム専用

コマンド バー-コード	説明	デフォルト
 ~ C 4 9 D F T .	コード 49 全デフォルト コード 49 に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ C 4 9 E N A 1 .	コード 49 読み取り 有効 コード 49 を読み取ります。	■
 ~ C 4 9 E N A 0 .	コード 49 読み取り 無効 コード 49 を読み取りません。	
 ~ C 4 9 M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~81 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコード をスキャンします。	1
 ~ C 4 9 M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~81 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコード をスキャンします。	81
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.5 PDF417 の設定

エリアイマージャ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P D F D T .	PDF417 全デフォルト PDF417に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ P D F E N A 1 .	PDF417 読み取り <u>を</u> PDF417 を読み取ります。	■
 ~ P D F E N A 0 .	PDF417 読み取り <u>を</u> PDF417 を読み取りません。	
 ~ P D F M I N .	最小桁数 設定開始 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~2,750 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ P D F M A X .	最大桁数 設定開始 左記の「コマンドバーコード」をスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~2,750 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	2,750
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.6 マイクロ PDF417 の設定 エリアイ-ジャ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ M P D D F T .	マイクロ PDF417 全デフォルト マイクロ PDF417 に関する設定を全 てデフォルトに戻します。	
 ~ M P D E N A 1 .	マイクロ PDF417 読み取り 1 マイクロ PDF417 を読み取ります。	
 ~ M P D E N A 0 .	マイクロ PDF417 読み取り 0 マイクロ PDF417 を読み取りません。	■
 ~ M P D M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~366 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ M P D M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~366 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	366
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.7 EAN.UCC コバﾞｼﾞｯﾄの設定 エリアメｰｼﾞャ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ C O M E N A 1 .	EAN.UCC コバジツト読み取り <u>オン</u> EAN.UCC コバジツトを読み取ります。	
 ~ C O M E N A 0 .	EAN.UCC コバジツト読み取り <u>オフ</u> EAN.UCC コバジツトを読み取りません。	■
 ~ C O M U P C 1 .	UPC/EAN バージョン読み取り <u>オン</u> UPC/EAN バージョンを読み取ります。 (この設定は、GS1-128 及び GS1 Databar からなるコバジツトコードには影響しません。)	
 ~ C O M U P C 0 .	UPC/EAN バージョン読み取り <u>オフ</u> UPC/EAN バージョンを読み取りません。 (この設定は、GS1-128 及び GS1 Databar からなるコバジツトコードには影響しません。)	■
 ~ C O M M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最小桁数を 1~2,435 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコード をスキャンします。	1
 ~ C O M M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコード をスキャン後、 「数値バーコード 表」から最大桁数を 1~2,435 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコード をスキャンします。	2,435
数値バーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.11.8 TLC39 の設定 IRイメージャ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ T 3 9 E N A 1 .	<u>TLC39 読み取り オ</u> TLC39(TCIF Linked Code39) を読み取ります。	
 ~ T 3 9 E N A 0 .	<u>TLC39 読み取り オ</u> TLC39(TCIF Linked Code39) を読み取りません。	■

TLC39 は、コード 39 とマイクロ PDF417 から成るスタックンボルです。

4.12 マトリクスの読み取り設定 I/Aイメージ専用

4.12.1 QR/マイク QR の設定 I/Aイメージ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ Q R C D F T .	QR/マイク QR 全デフォルト QR/マイク QR に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ Q R C E N A 1 .	QR/マイク QR 読み取り ON QR/マイク QR を読み取ります。	■
 ~ Q R C E N A 0 .	QR/マイク QR 読み取り OFF QR/マイク QR を読み取りません。	
 ~ Q R C M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最小桁数を1~3,500 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ Q R C M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、「数値バーコード表」から最大桁数を1~3,500 の範囲でスキャンし、最後に「確定」バーコードをスキャンします。	3,500
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.12.2 データマトリクス設定 IRイメージ専用

コマンド バ ーコード	説明	デフォルト
 ~ I D M D F T .	データマトリクス全デフォルト データマトリクスに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ I D M E N A 1 .	データマトリクス読み取り オン データマトリクスを読み取ります。	■
 ~ I D M E N A 0 .	データマトリクス読み取り オフ データマトリクスを読み取りません。	
 ~ I D M M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバ ーコード をスキャン後、 「数値バ ーコード 表」から最小桁数を 1~1,500 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バ ーコード をスキャンします。	1
 ~ I D M M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバ ーコード をスキャン後、 「数値バ ーコード 表」から最大桁数を 1~1,500 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バ ーコード をスキャンします。	1,500
数値バ ーコード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.12.3 マジコードの設定 IRイメージ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ M A X D F T .	マジコード 全デフォルト マジコードに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ M A X E N A 1 .	マジコード 読み取り 有効 マジコードを読み取ります。	■
 ~ M A X E N A 0 .	マジコード 読み取り 無効 マジコードを読み取りません。	
 ~ M A X M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~150 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ M A X M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~150 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	150
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.12.4 Aztec の設定 イメージ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A Z T D F T .	<u>Aztec 全デフォルト</u> Aztec に関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ A Z T E N A 1 .	<u>Aztec 読み取り 1</u> Aztec を読み取ります。	■
 ~ A Z T E N A 0 .	<u>Aztec 読み取り 0</u> Aztec を読み取りません。	
 ~ A Z T R U N 1 .	<u>Aztec Runes 読み取り 1</u> Aztec Runes を読み取ります。	
 ~ A Z T R U N 2 .	<u>Aztec Runes 読み取り 0</u> Aztec Runes を読み取りません。	■
 ~ A Z T M I N .	<u>最小桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 1~3,750 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	1
 ~ A Z T M A X .	<u>最大桁数 設定開始</u> 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 1~3,750 の範囲でスキャンし、最後に 「確定」バーコードをスキャンします。	3,750
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.13 郵便ソボールの読み取り設定 エリアメーザ専用

4.13.1 Postnet の設定 エリアメーザ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ N E T E N A 1 .	Postnet 読み取り <u>お</u> Postnet を読み取ります。	
 ~ N E T E N A 0 .	Postnet 読み取り <u>お</u> Postnet を読み取りません。	■

4.13.2 Planet の設定 エリアメーザ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ P L N E N A 1 .	Planet 読み取り <u>お</u> Planet を読み取ります。	
 ~ P L N E N A 0 .	Planet 読み取り <u>お</u> Planet を読み取りません。	■

4.13.3 住リ郵便コードの設定 エリアメーザ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ B P O E N A 1 .	住リ郵便コード 読み取り <u>お</u> 住リ郵便コード を読み取ります。	
 ~ B P O E N A 0 .	住リ郵便コード 読み取り <u>お</u> 住リ郵便コード を読み取りませ ん。	■

- 読み取りを行いたい郵便ソボールを1種類だけかにすることで、読取パフォーマンスを向上させることができます。

4.13.4 **カンダ 郵便コード の設定** I/Aイメージ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K I X E N A 1 .	<u>カンダ 郵便コード</u> 読み取り <u>お</u> カンダ 郵便コード (KIX)を読み取りま す。	
 ~ K I X E N A 0 .	<u>カンダ 郵便コード</u> 読み取り <u>お</u> カンダ 郵便コード (KIX)を読み取りま せん。	■

4.13.5 **オーストラリア郵便コード の設定** I/Aイメージ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ A U S E N A 1 .	<u>オーストラリア郵便コード</u> 読み取り <u>お</u> オーストラリア郵便コード を読み取りま す。	
 ~ A U S E N A 0 .	<u>オーストラリア郵便コード</u> 読み取り <u>お</u> オーストラリア郵便コード を読み取りませ ん。	■

4.13.6 **日本郵便コード の設定** I/Aイメージ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ J A P E N A 1 .	<u>日本郵便コード</u> 読み取り <u>お</u> 日本郵便コード (カタマバーコード) を読 み取ります。	
 ~ J A P E N A 0 .	<u>日本郵便コード</u> 読み取り <u>お</u> 日本郵便コード (カタマバーコード) を読 み取りません。	■

- 読み取りを行いたい郵便ソールを1種類だけおにすることで、読取ハフォーマスを向上させることができます。

4.13.7 中国郵便コードの設定 TIAイメージャ専用

コマンドバ-コード	説明	デフォルト
 ~ C P C D F T .	中国郵便コード 全デフォルト 中国郵便コードに関する設定を全 てデフォルトに戻します。	
 ~ C P C E N A 1 .	中国郵便コード 読み取り 有効 中国郵便コード を読み取ります。	
 ~ C P C E N A 0 .	中国郵便コード 読み取り 無効 中国郵便コード を読み取りません。	■
 ~ C P C M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバ-コード をスキャン後、 「数値バ-コード 表」から最小桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バ-コード をスキャンします。	4
 ~ C P C M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバ-コード をスキャン後、 「数値バ-コード 表」から最大桁数を 1~80 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バ-コード をスキャンします。	80
数値バ-コード 表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.13.8 韓国郵便コードの設定 リアルタイム専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ K P C D F T .	韓国郵便コード 全デフォルト 韓国郵便コードに関する設定を全 てデフォルトに戻します。	
 ~ K P C E N A 1 .	韓国郵便コード 読み取り 有効 韓国郵便コードを読み取ります。	
 ~ K P C E N A 0 .	韓国郵便コード 読み取り 無効 韓国郵便コードを読み取りません。	■
 ~ K P C M I N .	最小桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最小桁数を 2~80 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコードをスキャンします。	4
 ~ K P C M A X .	最大桁数 設定開始 左記のコマンドバーコードをスキャン後、 「数値バーコード表」から最大桁数を 2~80 の範囲でスキャンし、最後に「確 定」バーコードをスキャンします。	48
数値バーコード表		
 0	 1	
 2	 3	
 4	 5	
 6	 7	
 8	 9	
 確定	 破棄	

4.13 OCR フォントの読み取り設定 イメージ専用

ワイヤスイメージャは、6~60 ポイントの OCR フォント読み取りに対応しています。

- OCR-A

0123456789 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
() < > / \ + - * \$

- OCR-B

0123456789 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
() < > ^ + - * \$

- U.S. Currency Serial Number (Money)

I 07700277 F
*

- MICR E 13 B

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 ! : ; ' " # \$ %

- SEMI Font

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ - . 0123456789

OCR フォントの読み取りは、パーセントほど確実なものではありません。従って、ワイヤスイメージャに対して、読み取り対象となる OCR フォントの構成要素を OCR テンプレートとして登録し、読み取り時に照合を行うことで、OCR フォント読み取りの確実性を高めます。また、OCR チェックマークを印字することで、さらに読み取りの確実性を高めることが可能になります。

4.13.1 OCR フォントの設定 IRIAイメージ専用

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ O C R D F T .	OCR フォント全デフォルト OCR フォントに関する設定を全てデフォルトに戻します。	
 ~ O C R E N A 0 .	全 OCR フォント読み取り 有効 全 OCR フォントを読み取りません。	■
 ~ O C R E N A 1 .	OCR-A フォント読み取り 有効 OCR-A フォントを読み取ります。 デフォルトでは、8 桁を任意のキャラクタを読み取ります。それ以外を読み取る場合は、OCR テンプレートの作成が必要です。	
 ~ O C R E N A 2 .	OCR-B フォント読み取り 有効 OCR-B フォントを読み取ります。 デフォルトでは、8 桁を任意のキャラクタを読み取ります。それ以外を読み取る場合は、OCR テンプレートの作成が必要です。	
 ~ O C R E N A 3 .	U.S.通貨フォント読み取り 有効 U.S.通貨フォントを読み取ります。 デフォルトでは、8 桁を任意のキャラクタを読み取ります。それ以外を読み取る場合は、OCR テンプレートの作成が必要です。	
 ~ O C R E N A 4 .	MICR E 13 B フォント読み取り 有効 MICR E 13 B フォント(銀行小切手 MICR キャラクタ)を読み取ります。 デフォルトでは、8 桁を任意のキャラクタを読み取ります。それ以外を読み取る場合は、OCR テンプレートの作成が必要です。	
 ~ O C R E N A 5 .	SEMI フォント読み取り 有効 SEMI フォントを読み取ります。 デフォルトでは、8 桁を任意のキャラクタを読み取ります。それ以外を読み取る場合は、OCR テンプレートの作成が必要です。	

- 一度に読み取りできる OCR フォントは 1 種類のみです。
- OCR フォントを横方向や上下逆方向読み取ると、誤読することがあります。読み取り方向が正方向にできない場合は、本書「4.8.14 コードイメージ方向の設定」を参照して下さい。

4.13.2 OCR テンプレートの設定 TIAイメージ専用

ワイヤイメージは、登録されている OCR テンプレートを元に OCR フォントの読み取りを行います。デフォルトでは、任意の 8 桁の OCR フォントを読み取る OCR テンプレートが登録されていますが、それ以外の桁数・構成要素を持つ OCR フォントの読み取りを行う場合は、新たに OCR テンプレートを作成する必要があります。

OCR テンプレートは、下記に列挙する特別な意味を持つテンプレートキャラクタを組み合わせで作成します。

OCR テンプレートキャラクタ	意味
a	任意の英数字キャラクタを意味します。
c	チェックキャラクタを意味します。
d	任意の数字キャラクタを意味します。
e	使用可能な任意の OCR キャラクタを意味します。
g	ユーザ-定義変数 g を意味します。
h	ユーザ-定義変数 h を意味します。
l	任意の大文字キャラクタを意味します。
t	新規テンプレートの開始を意味するバレータです。
r	複数を意味するバレータです。
* その他のキャラクタ(スペースを含む)は、そのキャラクタ自体を意味します。	

OCR テンプレートの作成

例 1

8 桁の任意の数字で構成された OCR-A フォントを読み取る場合、

OCR テンプレート : dddddd

となります。従って下記の順でコマンドバースコードをスキャンします。

「OCR テンプレート設定開始」 dddddd 「確定」

37680981

例 2

3 桁の任意の数字、続いて文字列「ABC」、最後が 3 桁の任意の数字で構成された OCR-A フォントを読み取る場合、

OCR テンプレート : dddABCddd

となります。従って下記の順でコマンドバースコードをスキャンします。

「OCR テンプレート設定開始」 ddd414243ddd 「確定」

551ABC983

- OCR テンプレートの作成に必要なコマンドバースコードは、4.84 頁に掲載しています。
- 16 桁を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。
- 3 行を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。

例 3

3 桁の任意の数字、続いてスペース、文字列「ABC」、スペース、最後が 3 桁の任意の数字で構成された OCR-A フォントを読み取る場合、

OCR テンプレート : ddd ABC ddd

となります。従って下記の順でコマンドバースコードをスキャンします。

「OCR テンプレート設定開始」 ddd2041424320ddd 「確定」

551 ABC 983

OCR テンプレートを複数作成する

新規テンプレートの開始を意味するテンプレートキャラクタ「tj」をバースコードにして、複数の OCR テンプレートを記述することで、OR 条件を持つ OCR テンプレートに登録することができます。

例 4

8 桁の任意の数字で構成された OCR-A フォント又は 4 桁の任意の数字、続いて 2 桁の大文字キャラクタ、最後が 2 桁の任意の数字で構成された OCR-A フォントを読み取る場合、

OCR テンプレート : dddddddtdddlldd

となります。従って下記の順でコマンドバースコードをスキャンします。

「OCR テンプレート設定開始」 dddddddtdddlldd 「確定」

99028650

or

9902XZ50

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none">➤ OCR テンプレートの作成に必要なコマンドバースコードは、4.84 頁に掲載しています。➤ 16 桁を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。➤ 3 行を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。 |
|---|

1-ザ-定義変数を使用する

1-ザ-定義変数は、特定のキャラクタ位置でキャラクタの OR 照合を行いたい場合に使用します。g と h の 2 つの 1-ザ-定義変数が用意されています。

例 5

6 桁の任意の数字、最後の 3 桁が ABC の何れかのキャラクタで構成された OCR-A フォントを読み取る場合、

1-ザ-定義変数 : ABC
OCR テンプレート : ddddddggg

となります。従って下記の順でコマンドバーストをスキャンします。

「1-ザ-定義変数 g 設定開始」 414243 「確定」
「OCR テンプレート設定開始」 dddddddggg 「確定」

654321ABC
 or
654321BAC
 or
654321CCC

複数行の OCR フォントを読み取る

複数行を意味するテンプレートキャラクタ「r」をセパレータにして、複数の OCR テンプレートを記述することで、複数行で印字された OCR フォントの読み取りに対応することができます。

例 6

1 行目が 8 桁の任意の数字で構成された OCR-A フォント、2 行目が 8 桁の任意の大文字キャラクタで構成された OCR-A フォント、3 行目が 4 桁の任意の大文字キャラクタ、続いて 4 桁の任意の数字で構成された OCR-A フォントを読み取る場合、

OCR テンプレート : dddddddrlllllllrllldddd

となります。従って下記の順でコマンドバーストをスキャンします。

「OCR テンプレート設定開始」 dddddddrrlllllllrllldddd 「確定」

12345678
ABCDEFGH
ABCD1234

- OCR テンプレートの作成に必要なコマンドバーストは、4.102~4.103 頁に掲載しています。
- 16 桁を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。
- 3 行を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。

チェックマーク付 OCR フォントを読み取る

チェックマークを意味するテンプレートマーク「c」を OCR テンプレートに記述することで、チェックマーク付の OCR フォントの読み取りに対応することができます。チェックマークの算出方法は、マーク 10 とマーク 36 の 2 タイプを標準でサポートしており、それぞれ下記のマトリクスコードを読み取ることで選択することができます。



マーク 10



マーク 36

例 7

7 桁の任意の数字とチェックマーク(マーク 36)で構成された OCR-A フォントを読み取る場合、

OCR テンプレート : ddddddcc

となります。従って下記の順でマトリクスコードをスキャンします。

「OCR テンプレート設定開始」 ddddddcc 「確定」

55836540

- OCR テンプレートの作成に必要なマトリクスコードは、4.102~4.103 頁に掲載しています。
- 16 桁を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。
- 3 行を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。

ISBN(書籍 OCR)を読み取る

一般的に書籍には、下記のような OCR-B フォントで印字された ISBN コードが印字されています。ここでは、ISBN コードを読み取るための設定手順を説明します。

ISBN4 - 8061 - 1945 - 8
C2034 ¥2000E

設定手順

1. OCR-B フォントの読み取りを有効にします。
2. ユーザー定義変数 g に 0~9 とダッシュ「-」を設定します。

ユーザー定義変数 g : 0123456789-

3. 通常、ISBN コードは、2 行で構成されており、1 行目が「ISBN」から始まるコードで、2 行目が C で始まる 4 桁の数字とスペースを空けて、P 又は ¥ で始まり、E で終わる 3~4 桁の価格コードになります。P と ¥ を照合するためのユーザー定義変数 h に P と ¥ を設定します。

ユーザー定義変数 h : P¥

4. 下記のマトリックスコードをスキャンすると、ISBN コードに対応した OCR テンプレートが作成されます。

OCR テンプレート : ISBNgggggggggggctCdddd hdddEtCdddd hdddE



5. 最後に ISBN コードのチェック数字の設定を行います。ISBN コードは、必ず 11 チェック数字を採用しているため、下記の順番でマトリックスコードをスキャンして、必ず 11 を有効にします。

「OCR チェック数字設定開始」 3031323334353637383958 「確定」

例示した ISBN コードをスキャンすると、イメージを照射したどちらか 1 行の読み取りが行えます。

参考 これらのイメージは、リファレンス (本書「5. リファレンス」参照) を使うことで一括して行うことができます。また、全てのマトリックスコードを 1 つの Aztec コードにエンコードして一括設定を行うことも可能です。

リファレンス

OCRENA2,TMP"ISBNgggggggggggctCdddd hdddEt
Cdddd hdddE",GPG"0123456789-,GPH"p¥,CHK"01234567890X"



- OCR テンプレートの作成に必要なマトリックスコードは、4.102~4.103 頁に掲載しています。
- 16 桁を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。
- 3 行を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。

コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ O C R T M P .	<u>OCR テンプレート設定開始</u> OCR テンプレートの設定を開始します。	
 ~ O C R G P G .	<u>ユーザー定義変数 g 設定開始</u> ユーザー定義変数 g の設定を開始します。	
 ~ O C R G P H .	<u>ユーザー定義変数 h 設定開始</u> ユーザー定義変数 h の設定を開始します。	
 ~ O C R C H K .	<u>OCR チェックキャラクタ設定開始</u> OCR チェックキャラクタの設定を開始します。	
	<u>10 桁の</u> チェックキャラクタを10 にします。	
	<u>36 桁の</u> チェックキャラクタを36 にします。	
	<u>10 桁のウェイト 3-1-3-1</u> チェックキャラクタを10 桁のウェイト 3-1-3-1 にします。	
	<u>10 桁のウェイト 2-1-2-1</u> チェックキャラクタを10 桁のウェイト 2-1-2-1 にします。	

- 16 桁を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。
- 3 行を超える OCR フォントの読み取りはお勧めできません。

OCR テンプレート外コード 表	
 ~ K 6 . K 1 . a	 ~ K 6 . K 3 . c
 ~ K 6 . K 4 . d	 ~ K 6 . K 5 . e
 ~ K 6 . K 7 . g	 ~ K 6 . K 8 . h
 ~ K 6 . K C . i	 ~ K 7 . K 2 . r
 ~ K 7 . K 4 . t	
数値・英数字バーコード 表	
 0	 1
 2	 3
 4	 5
 6	 7
 8	 9
 A	 B
 C	 D
 E	 F
 確定	 破棄

Blank page

5. シリアルコマンド

シリアルコマンドを使うことで、パラメータの設定や取得、シリアルリセット制御、イメージ取り込みなどを行うことが可能になります。

5.1 メニューコマンド

メニューコマンドは、パラメータ設定や取得を行うためのコマンド群です。下記にメニューコマンドフォーマットを示します。

プリフィックス [ワイヤレスワイヤレスイメージャ名: 00 00 00] データ [00 00] データ [00 00] [00]

* [00] は、省略可能なオプションフィールドです。

プリフィックス フィールド

<SYN>M<CR> 固定です。(<SYN>=16hex, M=4Dhex, <CR>=0Dhex)

[ワイヤレスワイヤレスイメージャ名] フィールド

アクセスジョブにリンクしている特定のワイヤレスイメージャにメニューコマンドを送信したい場合に、:4820:, :4820i: などワイヤレスイメージャ名を00: で囲んで指定します。ワイヤレスイメージャ名が分からない場合は、ワイルドカード * を指定することもできます。

[00] フィールド

メニューコマンドのカテゴリを識別する3キャラクタです。例えば、RS232C 関連のメニューコマンドの00は、232です。

[00 00] フィールド

タググループ内のパラメータ項目を識別する3キャラクタです。例えば、RS232C のポートは、BAD です。

[00] フィールド

パラメータの設定を行う場合は、新しい設定値を指定します。設定できる値はメニューコマンドにより異なります。

パラメータの設定値や設定範囲を取得しようとする場合は、下記に示す何れかのキャラクタを指定します。

^ (5Ehex) デフォルト設定を取得

? (3Fhex) 現在の設定を取得

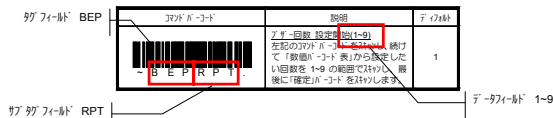
* (2Ahex) 設定範囲を取得

(* 連続値は - で区切れ、不連続値は | で区切られます)

[メモリフィールド]

設定値の保存先又は取得先を指定します。揮発性 RAM メモリ領域を保存先/取得先にする場合は、「I」(21hex)を指定し、不揮発性メモリを保存先/取得先にする場合は、「J」(2Ehex)を指定します。不揮発性メモリを保存先にした場合、電源を落としても設定値は消えません。

タグフィールド、サブタグフィールド、データフィールドの値は、本書「4. パラメータ設定」に掲載されているコマンドバーコードのヒューマンリーダブルキャラクタを参照してください。



複数メニューコマンドの連結

1つのメニューコマンドフォーマット内で複数のメニューコマンドを指定する場合は、下記に示す何れかのヘキサで区切ります。

ヘキサレタ	説明
,(2Chex)	同じタググループのメニューコマンドを続けて指定する場合は、カンマで区切り、サブタグフィールドとデータフィールドを指定します。
;(3Bhex)	異なるタググループのメニューコマンドを続けて指定する場合は、セミコロンで区切り、タグフィールド～データフィールドを指定します。

レスポンスキャラクタ

メニューコマンドを受信すると、下記に示す何れかのレスポンスキャラクタを返します。

レスポンス	説明
ACK(06hex)	正しくコマンドを実行したことを意味します。
ENQ(05hex)	タグフィールド又はサブタグフィールドの指定値が無効です。
NAK(15hex)	データフィールドの指定値が範囲外です。

パラメータ設定値の取得例

例 1) コーダパ (NW7)読み取りの初期値を取得

メニューコマンド : cbrena^
レスポンス : CBRENA1<ACK>
 * <ACK> = 06hex
初期値が 1 であることが分かります。

例 2) コーダパ (NW7)に関する全設定値を取得

メニューコマンド : cbr?
レスポンス : CBRENA1<ACK>,
 SSX0<ACK>,
 CK20<ACK>,
 CCT1<ACK>,
 MIN2<ACK>,
 MAX60<ACK>,
 DFT<ACK>.
 * <ACK> = 06hex

5.2 シリアルコマンド

下記のシリアルコマンドを発行することで、ワイヤレスイメージャの読み取り開始・終了をコントロールすることができます。「4.8.1 マニュアルシリアルモードの設定」を参照下さい。

<SYN> T <CR>	読み取りを開始します。
<SYN> U <CR>	読み取りを終了します。
* <SYN> = 16hex, <CR> = 0Dhex	

5.3 イメージングコマンド リアルタイム専用

ワイヤレスイメージャは、下記に示すイメージングコマンドに適切なデフォルトを指定して発行することで、イメージの取り込みを行います。一度、イメージ取り込みが終了すると、ワイヤレスイメージャは全ての設定をデフォルト値に戻します。デフォルト値を変更したい場合は、「5.4 イメージングデフォルトコマンド」を参照して、シリアルコマンドを発行してください。

IMG SNP イメージスナップ

イメージの取り込みは、ワイヤレスイメージャのトリガを引いた時及びイメージスナップコマンド (IMG SNP) が発行された時に行われます。イメージスナップは、イメージキャプチャ及び写真撮影のコマンドフェーズになります。

イメージスナップコマンドには、メモリされたイメージを修正・加工するための多くのデフォルトが用意されています。

デフォルトは、常に数字で始まり、アルファベット(大文字・小文字の区別無し)で終わるフォーマットです。イメージスナップコマンド (IMG SNP) に続けて、必要なデフォルトを指定します。例えば、ゲインを中・レベル音を 1 回鳴動(スナップ完了後)させる場合、IMG SNP コマンドは、下記のようになります。

IMG SNP 2G1B

IMG SNP デフォルト

P: イメージングスタイル

イメージスナップスタイルを指定します。

0P デフォルトスタイル

デフォルト用の一般的なフォーマットと類似していますが、撮影フレームに合うまで数フレームを取り込みます。最後に取り込んだフレームを後で利用することができます。

1P フォトスタイル(デフォルト)

デジタルカメラのように利用できるスタイルで、視覚的に最適化されたイメージを取り込みます。

2P マニュアルスタイル

これは高度なスタイルとなるため、通常は使用しないでください。ワイヤレスイメージャを自由に設定できますが、自動撮影機能はありません。

B: ビーブ

スナップ完了後、ビーブを鳴動するかを指定します。

0B ビーブを鳴動しません。(デフォルト)

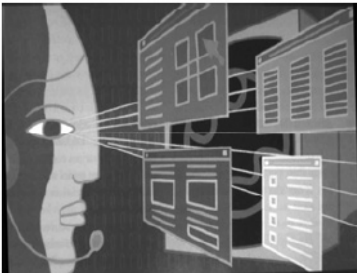
1B イメージ取り込み後、ビーブを鳴動します。

E: 露出時間

露出時間を 127 μ 秒単位で指定します。(このデフォルトは、マニュアルスタイルのみ有効です。)

nE n を 1~7,874 の範囲で指定します。(デフォルト 7,874)

例 1) 蛍光灯下：露出時間 7874E



例 2) 蛍光灯下：露出時間 100E



G: ゲイン

ゲインを増幅し、ビット値を倍増させるかを指定します。

1G ゲイン 無し (デフォルト)

2G ゲイン 中

4G ゲイン 大

8G ゲイン 最大

例 1) ゲイン : 1G



例 2) ゲイン : 4G



例 3) ゲイン : 8G



D: 許容レベル

閾値(W: ターゲット閾値)の許容範囲を指定します。(このデフォルトは、フォトスタイルのみ有効です。)

nD n を 0~255 の範囲で指定します。(デフォルト 255)

L: LED 設定

読取 LED を照射するか、しないかを指定します。オートライト[®]に設置して、ID カード[®]のような紙文書のイメージを取り込む場合は、周囲照明(0L)を指定し、手持ちでイメージを取り込む場合は、読取 LED を照射(1L)します。
(この設定ファイルは、デフォルト[®]スタイルには使えません。)

0L 読取 LED を照射しません。(デフォルト)

1L 読取 LED を照射します。

T: トリガ 待ち

トリガ[®]が押されるのを待って、イメージの取り込みを行うのかを指定します。

0T イメージをすぐに(トリガ 待ち無し)取り込みます。(デフォルト)

1T トリガ[®]が押されるのを待って、イメージを取り込みます。

U: アップデートトライ回数

許容データを達成するために取り込みを行う最大フレーム数を指定します。
(この設定ファイルは、フォトスタイルのみ有効です。)

nU n を 0~10 の範囲で指定します。(デフォルト 6)

W: ターゲット初値

取り込んだイメージのグレースケール中央値のターゲット値を指定します。コントラストの高い文書を接写する場合は、75 のような低い値を指定します。値を大きくすると、露出時間が長くなり、明るいイメージになりますが、高すぎると、露出オーバーになります。(この設定ファイルは、フォトスタイルのみ有効です。)

nW n を 0~255 の範囲で指定します。(デフォルト 125)

例 1) 初値 : 75W



例 2) 初値 : 125W



例 3) 初値 : 200W



% : ターゲットセッティング イント

取り込んだイメージのライト値とダーク値のターゲットセッティングをパーセンテージで指定します。75%を指定した場合、75%のレベルがターゲットセッティング値以下で、25%がターゲットセッティング値より上であるという意味になります。通常、このデフォルトは、デフォルト値でお使い下さい。

n% n を 1~99 の範囲で指定します。(デフォルト 50)

例 1) セットポイント : 97% 例 2) セットポイント : 50% 例 3) セットポイント : 40%

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Curabitur massa. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Donec interdum volutpat arcu. Proin sed turpis. Donec

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Curabitur massa. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Donec interdum volutpat arcu. Proin sed turpis. Donec

Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Curabitur massa. Lorem ipsum dolor sit amet, consectetur adipiscing elit. Donec interdum volutpat arcu. Proin sed turpis. Donec

IMGSHP イメージシッ

イメージの取り込みは、ワイヤレスイメージャのトリガを引いた時及びイメージスナップコマンド (IMGSNP)が発行された時に行われ、最後に取り込んだイメージが常にワイヤレスイメージャにメモリされています。

イメージシッコマンドには、送信イメージを修正・加工するための多くのデフォルトが用意されています。イメージシッコマンドで行われるイメージの修正・加工はあくまでも送信イメージに対して行われるもので、ワイヤレスイメージャがメモリしているイメージには影響を与えません。

デフォルトは、常に数字で始まり、アルファベット(大文字・小文字の区別無し)で終わるフォーマットです。イメージシッコマンド (IMGSHP)に続けて、必要なデフォルトを指定します。例えば、ガウス補正・文書イメージフィルタを行ったイメージを送信させる場合、IMGSHP コマンドは、下記ようになります。

IMGSHP8F75K26U

IMGSHP デフォルト

A: インフィニティ

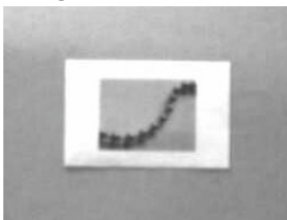
長距離(3m 以上)から撮影されたイメージの画像を高めるフィルタです。

0A インフィニティを使用しません。(デフォルト)

1A インフィニティを使用します。

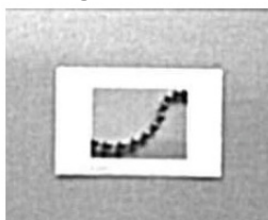
例 1) インフィニティ : 0A

@ 距離 約 3.66m



例 2) インフィニティ : 1A

@ 距離 約 3.66m



C: 光沢補正

照明の変化によるイメージへの光沢を平滑補正します。

0C 光沢補正を使用しません。(デフォルト)

1C 光沢補正を使用します。

例 1) 光沢補正 : 0C



例 2) 光沢補正 : 1C



D: グレースケール

送信イメージをグレースケールにするか、白黒にするかを指定します。(この設定は、KIM と BMP フォーマットのみ有効です。)

8D グレースケール(8ビット/ピクセル)で送信します。(デフォルト)

1D 白黒(1ビット/ピクセル)で送信します。

E: イッジフィルタ

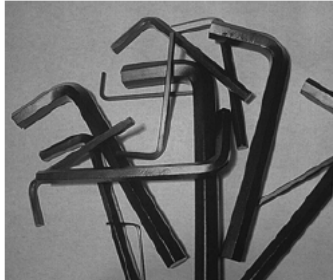
送信イメージのエッジをシャープにするかを指定します。23 が一番エッジがシャープになりますが、ノイズも多くなります。通常のイメージには、13 程度の値を使用します。

nE n を 0~23 の範囲で指定します。(デフォルト 0)

例 1) エッジフィルタ : 0E



例 2) エッジフィルタ : 24E



F: ファイルフォーマット

送信イメージのファイルフォーマットを指定します。

- 0F** KIM
- 1F** TIFF バイナリ
- 2F** TIFF バイナリ グループ 4, 圧縮
- 3F** TIFF グレースケール
- 4F** 非圧縮バイナリ TIFF(左上~右下, 1 ビット/ピクセル, 最終行 0 詰め)
- 5F** 非圧縮グレースケール(左上~右下, ビットマップフォーマット)
- 6F** JPEG イメージ (デフォルト)
- 8F** BMP イメージ (右下~左上, 圧縮無し)

H: ヒストグラムストレッチ

送信イメージのコントラストを高めます。(このデフォルトは、幾つかのフォーマットでは無効です。)

- 0H** ヒストグラムストレッチを使用しません。(デフォルト)
- 1H** ヒストグラムストレッチを使用します。

例 1) ヒストグラムストレッチ : 0H



例 2) ヒストグラムストレッチ : 1H



I: イメージ反転

送信イメージを X 軸又は Y 軸に対して反転させます。

1ix X 軸に対して、反転させます。(上下反転)

1iy Y 軸に対して、反転させます。(左右反転)

例 1) オリジナル画像



例 2) イメージ反転: 1ix



例 3) イメージ反転: 1iy

IF: ノイズ除去

送信イメージのノイズを除去します。

0if ノイズを除去します。(デフォルト)

1if ノイズを除去しません。

例 1) ノイズ除去: 0if



例 2) ノイズ除去: 1if



IR: イメージ回転

送信イメージを回転させます。

0ir 回転させません。

1ir 右 90° 回転させます。

2ir 右 180° 回転させます。

3ir 左 90° 回転させます。

例 1) イメージ回転 : 0ir



例 2) イメージ回転 : 1ir



例 3) イメージ回転 : 2ir



例 4) イメージ回転 : 3ir



J: JPEG イメージ品質

送信したい JPEG イメージ品質を指定します。高い値を指定すると、イメージは高画質になりますが、ファイルサイズが大きくなります。逆に低い値を指定すると、画質は悪くなりますが、ファイルサイズが小さくなり、送信時間も短くなります。

nJ n を 0~100 の範囲で指定します。(デフォルト 50)

K: ガン補正

送信イメージのガン補正値を指定します。高い値を指定すると、イメージはより明るくなり、低い値を指定すると、イメージはより暗くなります。
テストイメージを補正する場合の推奨補正値は、50 です。

nK n を 0~100 の範囲で指定します。(デフォルト 0)

例 1) ガン補正 : 0K



例 2) ガン補正 : 50K



例 3) ガン補正 : 255K

**L, R, T, B: イメージトリミング**

送信イメージをトリミング(切り取り)する座標をピクセルで指定します。

- nL** n を 0~639(IT4200/4230 0~751)の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの左座標になります。(デフォルト 0)
- nR** n を 0~639(IT4200/4230 0~751)の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの右座標になります。(デフォルト 639/751)
- nT** n を 0~479 の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの上座標になります。(デフォルト 0)
- nB** n を 0~479 の範囲で指定します。ここで指定した値が、送信イメージの下座標になります。(デフォルト 479)

M: イメージトリミングマージン

イメージトリミング(L, R, T, B)の代わりに、送信イメージの外側からトリミングするマージンをピクセルで指定し、囲まれた中央部の画像を送信イメージとします。

- nM** n を 0~238 の範囲で指定します。左から n ピクセル、右から n+1 ピクセル、上から n ピクセル、下から n+1 ピクセルで囲まれた部分をトリミングします。

P: フォント

イメージ送信に使用するフォントを指定します。

- 0P** フォント 無し(生データ)
- 2P** フォント 無し(USB のデフォルト)
- 3P** H-MODEM 圧縮(RS232C のデフォルト)
- 4P** H-MODEM

S: ビットレ送

イメージのビットレ送規則を指定します。例えば、3 を指定した場合、イメージの水平・垂直 3 ビットレ毎に送信するため、間のビットレが間引かれ、画像が小さくなります。

- 1S** 全ビットレを送信します。
- 2S** 水平・垂直 2 ビットレ毎に送信します。(デフォルト)
- 3S** 水平・垂直 3 ビットレ毎に送信します。

例 1) ビットレ送: 1S



例 2) ビットレ送: 2S



例 3) ビットレ送: 3S



U: テキストイメージフィルタ

送信テキストイメージのイメージ間を滑らかにし、イメージをシャープにします。テキストイメージフィルタは、ID カードや処方箋などのイメージ取り込みに有効で、ワイヤレスイメージャをオートスタンドに設置して、先のカメラ補正と一緒に使用します。下記に IMGSHF コマンドの例を示します。

IMGSNP1P0L168W90%32D

テキストイメージフィルタは、通常のイメージフィルタ(E)より良質の JPEG 圧縮イメージを提供します。また、このフィルタは、白黒イメージ(1 ビットレ/ピクセル)にも最適です。このフィルタの推奨値は、23 です。

nU n を 0~255 の範囲で指定します。指定された n をゲインスケールとして、テキストイメージフィルタを実行します。通常、イメージのコントラストが低い場合は、小さい値を指定します。このフィルタの 1 が、イメージの 22 と同等の効果があります。(デフォルト 0)

例 1) テキストイメージフィルタ: 0U



例 2) テキストイメージフィルタ: 26U



V: イメージぼかし効果

送信イメージにぼかし効果を行うかを指定します。

0V ぼかし効果を行いません。(デフォルト)

1V ぼかし効果を行います。

例 1) イメージぼかし効果: 0V



例 2) イメージぼかし効果: 1V

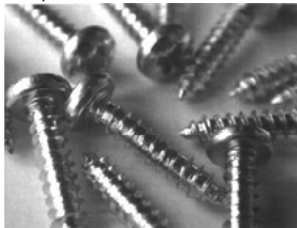
W: ヒストグラム送信

送信イメージのヒストグラムを送信するかを指定します。ヒストグラムはイメージの色調・キチアフを知るのに役立ちます。0-キチアフは、影掛かったイメージ、14-キチアフは、明るい光輝なワイヤスイメージ、7-キチアフは、その中間的な色調のイメージになります。

0W ヒストグラム送信を行いません。(デフォルト)

1W ヒストグラム送信を行います。

例 1) ヒストグラム送信: 0W



例 2) ヒストグラム送信: 1W



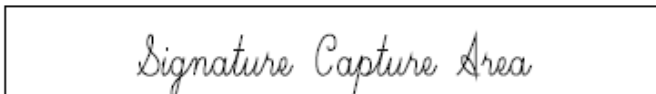
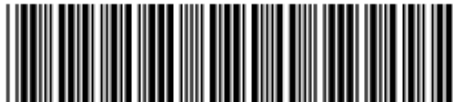
コマンドバーコード	説明	デフォルト
 ~ I M G V G A 1 .	イメージサイズ 640x480 ピクセル(VGA)	■
 ~ I M G V G A 0 .	イメージサイズ 752x480 ピクセル	

IMGBOX インテリジ ントサインキャプチャ

インテリジ ントサインキャプチャは、送信イメージの一部だけをホストへ送信する機能です。これにより、ファイルサイズを縮小し、転送速度を高めます。また、簡易な署名取り込み機能としても利用できます。

下記にインテリジ ントサインキャプチャを利用した、サイン取り込みを行う例を示します。最初に、ホストからバーコードを読み取り、読取データがホストへ送信されます。バーコードデータを受信したホストは、ワイヤレスイメージャに対して、サインがされているエリアのみを抽出してイメージを送信させるインテリジ ントサインキャプチャ(IMGBOX)コマンドを発行します。この時、ワイヤレスイメージャは、バーコードに対してのスキュー角により生じるイメージの縦横比やゆがみも自動的に補正します。

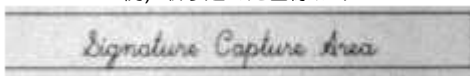
ワイヤレスイメージャのイマーをサインエリア(バーコードに合わせない)に合わせて、トリガを引きます。続いて、IMGBOX コマンドを発行します。



ここで重要なのは、IMG コマンドで指定するサイズがバーコードの細線幅サイズを基準にした値である点です。バーコードの最小線幅を基準にすることで、ワイヤレスイメージャの距離に関係することなく、目的のサインイメージがあるエリアを常に正しく取り込むことが可能になります。この例では、下記の IMGBOX コマンドを発行します。

IMGBOX40S0X70Y190W100H1R0F

例) 取り込んだ画像イメージ

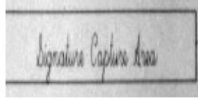


IMGBOX コマンドは、PDF417, コード 39, コード 128, Aztec, コーダバール(NW7), インタリブド 25 との組み合わせでのみ使用できます。

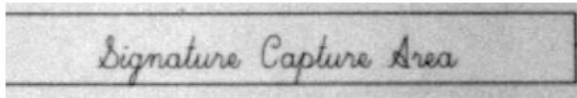
IMGBOX モデ ィア**A: 出力メ-ジ 幅**

送信メ-ジ の水平方向のサイ (幅)を指定します。このメ-ジ を指定する場合は、サイメ-ジ 解像度 R で 0(ゼロ)を指定して下さい。

例 1) 出力メ-ジ 幅 : 200A

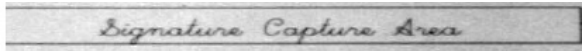


例 1) 出力メ-ジ 幅 : 600A

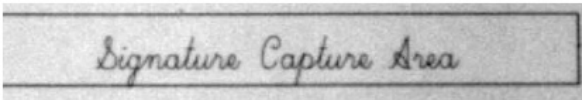
**B: 出力メ-ジ 高**

送信メ-ジ の垂直方向のサイ (高さ)を指定します。このメ-ジ を指定する場合は、サイメ-ジ 解像度 R で 0(ゼロ)を指定して下さい。

例 1) 出力メ-ジ 幅 : 200A



例 1) 出力メ-ジ 幅 : 600A

**D: グ レ-スケ-ル**

送信メ-ジ をグ レ-スケ-ルにするか、白黒にするかを指定します。

8D グ レ-スケ-ル(8 ビ ッ ト/ピ クセル)で送信します。(デ ィフォ-ルト)

1D 白黒(1 ビ ッ ト/ピ クセル)で送信します。

F: ファ-ルフォーマ-ット

送信メ-ジ のファ-ルフォーマ-ットを指定します。

0F KIM

1F TIFF バ イナリ

2F TIFF バ イナリ グ ル-プ 4, 圧縮

3F TIFF グ レ-スケ-ル

4F 非圧縮バ イナリ TIFF(左上~右下, 1 ビ ッ ト/ピ クセル, 最終行 0 詰め)

5F 非圧縮グ レ-スケ-ル(左上~右下, ビ ッ トマップ フォ-マ-ット)

6F JPEG メ-ジ (デ ィフォ-ルト)

8F BMP メ-ジ (右下~左上, 圧縮無し)

H: サインイメージエリアの高さ

サインイメージエリアの高さを指定します。測定単位は、インチを 0.01 で割った値になります。例えば、高さ 3/8 インチのエリアを取り込みたい場合、 $0.375/0.01 = 37.5$ となるので、37h を指定します。

nh n にサインイメージエリアの高さを指定します。

IMGBOX245w**37h**55y.

K: ガンマ補正

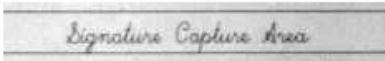
送信イメージのガンマ補正値を指定します。高い値を指定すると、イメージはより明るくなり、低い値を指定すると、イメージはより暗くなります。テキストイメージを補正する場合の推奨補正値は、50 です。

nK n を 0~100 の範囲で指定します。(デフォルト 0)

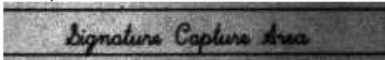
例 1) ガンマ補正 : 0K



例 2) ガンマ補正 : 50K



例 3) ガンマ補正 : 255K



P: フォント

イメージ送信に使用するフォントを指定します。

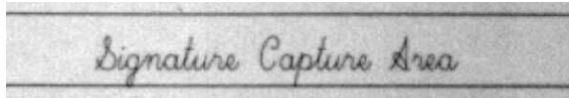
- 0P** フォント 無し(生データ)
- 2P** フォント 無し(USB のデフォルト)
- 3P** H-MODEM 圧縮(RS232C のデフォルト)
- 4P** H-MODEM

R: サインイメージ 解像度

取得したいサインイメージの解像度をピクセル数で指定します。大きい値を指定すると、解像度の高いイメージを取得できますが、ファイルサイズが大きくなり、転送時間が遅くなります。

nR n にサインイメージの解像度を指定します。

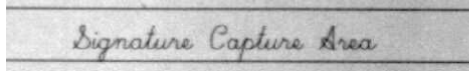
例 1) サインイメージ 解像度: 0R



例 2) サインイメージ 解像度: 1000R



例 3) サインイメージ 解像度: 2000R

**S: バーコード 縦横比**

バーコードの高さと細線幅の比率を指定します。先の例では、細線幅が 0.010 インチ(0.254mm)、高さが 0.400 インチ(10.16mm)なので、 $S=0.400/0.010=40$ となります。

nS n にバーコード 縦横比を指定します。

W: サインイメージ エリアの幅

サインイメージエリアの幅を指定します。測定単位は、インチを 0.01 で割った値になります。例えば、幅 2.4 インチのエリアを取り込みたい場合、 $2.4/0.01 = 240$ となるので、240w を指定します。

nH n にサインイメージ エリアの幅を指定します。

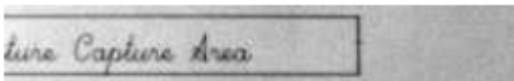
IMGBOX245w37h55y.

X: バコード 水平オフセット

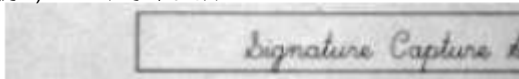
サインイメージエリアの中心から見たバコード位置を水平オフセット値として指定します。先の例では、0 となります。

nX n にバコード 水平オフセット値を指定します。

例 1) バコード 水平オフセット : 75X



例 2) バコード 水平オフセット : -75X



Y: バコード 垂直オフセット

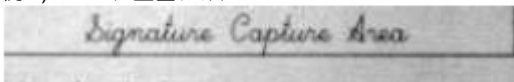
サインイメージエリアの中心から見たバコード位置を垂直オフセット値として指定します。先の例では、細ピッチが 0.010 インチ(0.254mm)で、サインイメージエリアの中心から垂直に 0.7 インチ(17.78mm)の位置にバコードがあるので、 $Y=0.7/0.01=70$ となります。

nY n にバコード 垂直オフセット値を指定します。

例 1) バコード 垂直オフセット : -7Y



例 2) バコード 垂直オフセット : 65Y



5.4 イメージングデフォルトコマンド エリアイメージ専用

イメージングデフォルトコマンド			
カテゴリ	設定内容	シリアルコマンド # = ()内の数値が入ります。	デフォルト
IMGSNP	全イメージングコマンドデフォルト	IMGDFT	
	イメージングスタイル：デコード	SNPSTY0	
	イメージングスタイル：フォト	SNPSTY1	■
	イメージングスタイル：マニュアル	SNPSTY2	
	ビーブ：オフ	SNPBEP1	
	ビーブ：オン	SNPBEP0	■
	露出時間 (0 ~ 7,874, 単位 127 μ 秒)	SNPEXP####	7,874
	ゲイン：無し	SNPGAN1	■
	ゲイン：中	SNPGAN2	
	ゲイン：大	SNPGAN4	
	ゲイン：最大	SNPGAN8	
	許容デルタ (0 ~ 255)	SNPDEL###	25
	LEDスタート：オフ	SNPLED0	■
	LEDスタート：オン	SNPLED1	
	トリガ待ち：無し	SNPTRG0	■
	トリガ待ち：有り	SNPTRG1	
	アップデータトライ回数 (0 ~ 10)	SNPTRY##	6
	ターゲット初値 (0 ~ 255)	SNPWHI###	125
	ターゲットセットポイント (1 ~ 99)	SNPPCT##	50
IMGSHP	インフニティフィルタ：オフ	IMGINF0	■
	インフニティフィルタ：オン	IMGINF1	
	光沢補正：オフ	IMGCOR0	■
	光沢補正：オン	IMGCOR1	
	グレースケール：オン (8ビットレベル)	IMGBPP8	■
	グレースケール：オフ (1ビットレベル, 白黒)	IMGBPP1	
	エッジフィルタ (0 ~ 23)	IMGEDG##	0
	ファイルフォーマット：JPEG	IMGFMT6	■
	ファイルフォーマット：KIM	IMGFMT0	
	ファイルフォーマット：TIFF バイナリ	IMGFMT1	
	ファイルフォーマット：TIFF バイナリ Grp4 圧縮	IMGFMT2	
	ファイルフォーマット：TIFF グレースケール	IMGFMT3	
	ファイルフォーマット：非圧縮バイナリ	IMGFMT4	
	ファイルフォーマット：非圧縮グレースケール	IMGFMT5	
	ファイルフォーマット：BMP	IMGFMT8	
	ヒストグラムストレッチ：オフ	IMGHIS0	■
	ヒストグラムストレッチ：オン	IMGHIS1	
	イメージ反転：X 軸	IMGNVX1	
	イメージ反転：Y 軸	IMGNVY1	
	イメージ回転：右 90°	IMGROT1	
	イメージ回転：右 180°	IMGROT2	
	イメージ回転：左 90°	IMGROT3	
	JPEG イメージ品質 (0 ~ 100)	IMGJQF###	50
	ガンマ補正 (0 ~ 255)	IMGGAM####	0

IMGSHP	イメージトリミング 左座標 : (0 ~ 639) * IT4200/4230 (0 ~ 751)	IMGWNL###	0
	イメージトリミング 右座標 : (0 ~ 639) * IT4200/4230 (0 ~ 751)	IMGWNR###	639/751
	イメージトリミング 上座標 (0 ~ 479)	IMGWNT###	0
	イメージトリミング 下座標 (0 ~ 479)	IMGWNB###	479
	イメージトリミング マージン (0 ~ 238)	IMGMAR###	0
	ﾌﾞﾛｯｸ : 無し (生ﾃﾞｰﾀ)	IMGXFR0	
	ﾌﾞﾛｯｸ : 無し	IMGXFR2	☐ USB
	ﾌﾞﾛｯｸ : H-MODEM	IMGXFR3	
	ﾌﾞﾛｯｸ : H-MODEM 圧縮	IMGXFR4	☐ RS232C
	ﾋﾞｯｸﾙ送信: 全ﾋﾞｯｸﾙ	IMGSUB1	☒
	ﾋﾞｯｸﾙ送信: 2ﾋﾞｯｸﾙ毎	IMGSUB2	
	ﾋﾞｯｸﾙ送信: 3ﾋﾞｯｸﾙ毎	IMGSUB3	
	ﾚｷｽﾄｲﾒｰｼﾞ ﾌｲﾙﾀ (0 ~ 100)	IMGUSH###	0
	ﾋｽﾄｸﾞﾗﾑ送信 : ｵﾌ	IMGHST0	☒
	ﾋｽﾄｸﾞﾗﾑ送信 : ｵﾝ	IMGHST1	

6. 2D-PQA 機能 リアルタイム専用

2D-PQA 機能(以下、PQA)とは、2D Print Quality Assessment の略で二次元シボ印刷印刷品質評価機能を意味します。この機能により、リアルタイムを簡易な2次元シボ印刷印刷品質チェックとして利用することが可能になります。但し、この機能は、印刷品質を保証する検証機能ではありません。印刷品質の目安としてご利用ください。

6.1 PQA 読み取りテクニック リアルタイム専用

リアルタイムでの読み取り時の距離、回転、ぶれなどが測定結果に大きな影響を与えます。最適な測定結果を得るため、以下の点に注意してください。

- 読取を行う2次元シボ印刷を平らな面に置いてください。
- オートスタンドなどを利用して、リアルタイムを適切な距離に固定してください。各モデルの最適な距離は、下記の表を参照してください。

モデル	距離
IT4600/4800SR	7.0 インチ/17.8cm
IT4600/4800SF	4.5 インチ/11.4cm
IT4600/4800HD	3.5 インチ/8.9cm
IT4200/4230SR	7.0 インチ/17.8cm
IT4200/4230SF	4.5 インチ/11.4cm
IT4200/4230HD	3.5 インチ/8.9cm

- イマーを下図の示すように、2次元シボ印刷の中央に照射します。この時、フィルター・回転などがあってはいけません。但し、二次元シボ印刷面が光沢材質の場合は、少し角度をつけて、直接反射を避けるようにします。



- 複数回 PQA を行い、結果を比較して、2次元シボ印刷の全体的な評価をするようにして下さい。

上記の事項を守ることにより、2次元シボ印刷イメージ生成や印刷工程の調整に役立つ適切な PQA 結果を得ることができます。

6.2 2次元シボールの種類 リアルタイム専用

2次元シボールの種類は、下記に列挙する3種類に分類することができます。

- スタックシボール : PDF417, マイク PDF417
- マトリクスシボール : データマトリクス, QR, Aztec, マキコード
- 郵便コード : 各国郵便コード

これらの2次元シボールは、それぞれ構造が異なるため、PQA の出力結果もそれぞれ異なります。

6.3 PQA シボール リアルタイム専用

PQA には、フルシボールとスクリーニングシボールの2種類のモードが用意されており、それぞれ出力されるシボールの内容が異なります。

フルシボールモード

2次元シボールの識別情報として、測定結果、グレード評価結果など全ての情報をシボールします。フルシボールモードを切にする場合は、下記の「PQA フルシボールモード」コマンドバーコードをスキャンし、切にする場合は、「PQA 終了」コマンドバーコードをスキャンします。



サンプル

```
1998 Chev Blazer
123437486089J672
Reg PAN 123 ABC Dec 1999
>> PQA from Hand Held Products <<
PDF417: 16 rows x 3 cols, 40 data & 8 chks (ECL = 2)
X roughly = 0.012"
[A] < Row Height = 2.8 X
[B] < Useful Row Height = 1.7 X (59% Row)
[C] < Data Safety Margin = 37% (1 Erasures & 2 Errors)
[F] < Start/Stop Decode Fails
```

PQA フルシボールモードは、ビープ音 複数回の後、読取データに続けて送信されます。

スクリーニング レポートモード

スクリーニング レポートモードでは、指定されたグレードを下回る評価結果が1つでもある2次元シリアルに対してのみ、限定されたシリアル識別情報をレポートします。指定グレードを上回る評価結果の場合、読取データだけを送信します。スクリーニング レポートモードを切にする場合は、下記の「PQA スクリーニング レポートモード グレード A~D」コマンドバーコードをスキャンし、切にする場合は、「PQA 終了」コマンドバーコードをスキャンします。

PQA スクリーニング レポートモード グレード A



PQA スクリーニング レポートモード グレード B



PQA スクリーニング レポートモード グレード C



PQA スクリーニング レポートモード グレード D



PQA 終了

**サンプル**

1998 Chev Blazer
123437486089J672
Reg PAN 123 ABC Dec 1999
>> PQA from Hand Held Products <<
PDF417: Symbol Fails "A" Grade
Useful Row Height is Too Short (1.5 X)
Low Data Safety Margin (12%)
Start/Stop Characters are Bad

PQA スクリーニング レポートモードでは、ビープ音 3 回した後、読取データに続けて送信されます。但し、指定グレードを上回る評価結果の場合は、ビープ音 1 回後、読取データだけが送信されます。

シボ[®]ル識別情報

2 次元シボ[®]ル生成や印刷工程の調整及び安定した読み取りを行うために役立つシボ[®]ル評価レポートです。

フルレポートでは、2 次元シボ[®]ルを正しく読み取ると、複数回のビープ音の後、下記のようなメッセージが出力されます。(2 次元シボ[®]ルの種類により多少違いがあります。)

```
This is a representative PDF417 symbol
>>> PQA from Hand Held Products <<<
PDF417: 11 rows x 3 cols, 25 data & 8 chks (ECL =2)
X roughly = 0.014"
[A] < Row Height = 3.1 X
[A] < Useful Row Height = 2.5 X (82% Row)
[A] < Data Safety Margin = 100% (0 Erasures & 0 Errors)
[B] < Edge Accuracy = 59%
[C] < Print Growth = -43% of X
```

1 行目に読取データ、2 行目は固定メッセージ「>>> PQA from Hand Held Products <<<」、次にシボ[®]ルの種類・特性・およその公称細線幅 X、最後にグレード評価した各項目の詳細情報となります。

スクリーニングレポートでグレード A の場合、評価結果が A を下回ると、3 回のビープ音の後、下記のようなメッセージが出力されます。

```
This is a representative PDF417 symbol
>>> PQA from Hand Held Products <<<
Minimum Acceptable Grade = A
PDF417: X roughly = 0.014"
Poor Edge Accuracy (59%)
Excessive Print Shrinkage (-43% of X)
```

6.3.1 スタックシンボル エリアイメージ専用

ここでは下記に列挙するスタックシンボルの PQA レポートについて説明します。

- PDF417
- マイクロ PDF417

PDF417

下記にフルレポートモードでの出力例を示します。最初の { } で囲まれた行番号は、説明のためのもので、実際には出力されません。

```
{1} This is a representative PDF417 symbol
{2} >>> PQA from Hand Held Products <<<
{3} PDF417: 11 rows x 3 cols, 25 data & 8 chks (ECL =2)
{4} X roughly = 0.014"
{5} [A] < Row Height = 3.1 X
{6} [A] < Useful Row Height = 2.5 X (82% Row)
{7} [A] < Data Safety Margin = 100% (0 Erasures & 0 Errors)
{8} [B] < Edge Accuracy = 59%
{9} [C] < Print Growth = -43% of X
```

- {1} 読取データです。この例では、「This is a representative PDF417 symbol」になります。
- {2} 固定メッセージです。
- {3} シンボルの種類(PDF417 又は派生型の COMPOSITE-C)とその他の特性で、データフィールドの段とカラム数、データとチェックキャラクタ数、エラー訂正レベルが出力されます。
- {4} およその公称細線幅 X です。
(*) スクリーニングレポートモードでは、{3}のシンボルの種類と{4}の公称細線幅 X が 1 行で出力されます。
- {5} 段の高さの平均とグレードを出力します。グレード評価は、下記の基準で行われます。

[A] 段の高さの平均が 2.5X 以上
[F] 以外

(*) スクリーニングレポートモードでは、「Row are Too Short (2.2X)」のようなメッセージが出力されます。

- {6} 有効な段の高さを出力します。グレード評価は、下記の基準で行われます。

[A] 有効な段の高さが 2.0X 以上
[B] 有効な段の高さが 1.6X 以上
[C] 有効な段の高さが 1.3X 以上
[D] 有効な段の高さが 1.0X 以上
[F] 以外

(*) スクリーニングレポートモードでは、「Useful Row Height is Too Short (15X)」のようなメッセージが出力されます。

- {7} データ安全度をパーセンテージで出力します。推奨されるエラー訂正コードワード数の内、使用されなかったコードワードの比率です。ECL が最低推奨される ECL より高い場合、データ安全度は 100%を超える値になる場合があります。逆に ECL が低い場合は、パフォーマンスな印刷状態でも 50%又はそれを下回る値になります。グレード評価は、下記の基準で行われます。

- [A] データ安全度が 62%以上
- [B] データ安全度が 50%以上
- [C] データ安全度が 37%以上
- [D] データ安全度が 25%以上
- [F] 以外

(*) スクリーニングレポートモードでは、「Low Data Safety Margin (44%)」のようなメッセージが出力されます。

- {8} スタート/ストップパターンのエッジ精度度をパーセンテージで出力します。グレード評価は、下記の基準で行われます。

- [A] エッジ精度度が 62%以上
- [B] エッジ精度度が 50%以上
- [C] エッジ精度度が 37%以上
- [D] エッジ精度度が 25%以上
- [F] 以外

(*) スクリーニングレポートモードでは、「Poor Edge Accuracy (59%)」のようなメッセージが出力されます。

- {9} スタート/ストップパターンのディレイメント(パ-)の印刷細り・太り度をパーセンテージで出力します。グレード評価は、下記の基準で行われます。

- [A] 印刷細り・太り度が +/-20%以内
- [B] 印刷細り・太り度が +/-30%以内
- [C] 印刷細り・太り度が +/-40%以内
- [D] 印刷細り・太り度が +/-50%以内
- [F] 以外

(*) スクリーニングレポートモードでは、「Excessive Print Growth (33%)」(印刷太りの場合)、又は「Excessive Print Shrinkage (-43%)」(印刷細りの場合)のようなメッセージが出力されます。

非常に稀なケースとして、スタートパターンもストップパターンも測定できないにも関わらず、何故かデータ読み取りに成功する場合があります。このような場合、{8} と {9} は、下記のようなメッセージになります。

- | | |
|----------------|---------------------------------------|
| フルレポート | 「[F] < Start/Stop Decode Fails」 |
| スクリーニングレポートモード | 「[F] < Start/Stop Characters are Bad」 |

マイクロ PDF417

下記にフルポートモードでの出力例を示します。最初の { } で囲まれた行番号は、説明のためのもので、実際には出力されません。

```
{1} This is a typical Micro PDF417 symbol
{2} >>> PQA from Hand Held Products <<<
{3} MICROPDF: 15 rows x 3 cols, 24 data & 21 chks
{4} X roughly = 0.015"
{5} [A] < Row Height = 1.8 X
{6} [A] < Data Safety Margin = 100% (0 Erasures & 0 Errors)
{7} [B] < Edge Accuracy = 70%
{8} [A] < Print Growth = +4% of X
```

- {1} 読取データです。この例では、「This is a typical Micro PDF417 symbol」になります。
- {2} 固定メッセージです。
- {3} シンボルの種類 (マイクロ PDF417 又は派生型の COMPOSITE-A, COMPOSITE-B, TLC39) とその他の特性で、データフィールドの段と行数、データとチェック文字数が出力されます。
- {4} およその公称細線幅 X です。
(*) スクリーニングポートモードでは、{3} のシンボルの種類と {4} の公称細線幅 X が 1 行で出力されます。
- {5} 段の高さの平均とグレート度を出力します。グレート度評価は、下記の基準で行われます。

[A] 段の高さの平均が 1.5X 以上

[F] 以外

(*) スクリーニングポートモードでは、「Row are Too Short (2.2X)」のようなメッセージが出力されます。

- {6} データ安全度をパーセンテージで出力します。マイクロ PDF のエラー訂正レベル(ECL) は固定のため、常に 0~100% の範囲で出力されます。
- {7} マルチキャストした段のレスポンスのエッジ精度度をパーセンテージで出力します。
- {8} 段のレスポンスのデータエレメント(バー)の印刷細り・太り度をパーセンテージで出力します。

6.3.2 マトリクスシンボルの エリアイメージ専用

ここでは下記に列挙するマトリクスシンボルの PQA レポートについて説明します。

- Aztec
- データマトリクス
- QR
- マシコード

Aztec

下記にフルレポートでの出力例を示します。最初の { } で囲まれた行番号は、説明のためのもので、実際には出力されません。

```
{1} This is a representative Aztec Code symbol
{2} >>> PQA from Hand Held Products <<<
{3} AZTEC CODE: 3 layers (Compact) => 23x23modules
{4} Data Field: 29 data & 22 chks in GF(256), 0 Erasures &
    0 Errors
{5} X roughly = 0.021"
{6} [A] < Core Symbol: 0 errors
{7} [A] < Data Safety Margin = 146%
{8} [A] < Horizontal Print Growth = +1% of X
{9} [A] < Vertical Print Growth = +1% of X
```

- {1} 読取データです。この例では、「This is a representative Aztec Code symbol」になります。
- {2} 固定メッセージです。
- {3} シンボルの種類(Aztec)とサイズ及びフォーマットが出力されます。
- {4} データ数、チェックワード数及び使用されているエラー訂正が出力されます。
- {5} およその公称細線幅 X です。
- {6} セクタのマトリクスにあるモジュールエラー数が出力されます。グレード評価は、下記の基準で行われます。

- [A] モジュールエラー数 0
- [B] モジュールエラー数 1
- [C] モジュールエラー数 2
- [D] モジュールエラー数 3
- [F] モジュールエラー数 4 以上

(*) スクリーニングレポートでは、「Too many Code Symbol Errors (3)」のようなメッセージが出力されます。

- {7} データ安全度をパーセンテージで出力します。Aztec では、超過したコードワード容量は、余分にチェックワードを追加して埋めるため、比較的容易に推奨される最小エラー訂正コードワード数を超えてしまうため、データ安全度はよく 100%を超える値になります。但し、ユーザー操作により、より高い、もしくは低いレベルにすることも可能です。
- {8}{9} それぞれ水平及び垂直方向への印刷細り・太り度をパーセンテージで出力します。片方向又は両方向に印刷細り・太り度が見られる場合は、2 次元バーコードイメージ生成や印刷工程で調整を行い、補正します。

データマトリクス

下記にフルポートモードでの出力例を示します。最初の { } で囲まれた行番号は、説明のためのもので、実際には出力されません。

```
{1} This is a representative Data Matrix symbol
{2} >>> PQA from Hand Held Products <<<
{3} DATA MATRIX ECC200: 24 x 24 modules in size
{4} Data Field: 36 data & 24 chks in 1 block(s) of GF(256)
{5} X roughly = 0.025"
{6} [A] < Fixed Patterns: 0 module errors
{7} [A] < Data Safety Margin = 100%
{8} [A] < Horizontal Print Growth = +10% of X
{9} [A] < Vertical Print Growth = +12% of X
```

- {1} 読取データです。この例では、「This is a representative Data Matrix symbol」になります。
- {2} 固定メッセージです。
- {3} シンボルの種類(データマトリクス)とサイズが出力されます。
- {4} データ数、チェックワード数及び使用されているエラー訂正が出力されます。
- {5} およその公称細線幅 X です。
- {6} シンボルの周囲の L ファインク とグロウトラック、それらの隣接するクワイエットゾーン及び ECC200 シンボルの内部の整列パターンから成る固定パターン中のモジュールエラー数が出力されます。

(*) スクリーニングポートモードでは、「Too many Fixed Pattern Errors (3)」のようなメッセージが出力されます。

- {7} データ安全度をパーセンテージで出力します。ECC200 シンボルの場合にだけ、出力される項目で、0~100%の範囲の値です。ECC200 シンボルは、固定のエラー訂正レベルを持っていますが、古いタイプのデータマトリクスでは、同等のエラー訂正機能が無いため、「Unused Error Correction」と出力されます。
- {8}{9} それぞれ水平及び垂直方向への印刷細り・太り度をパーセンテージで出力します。

QR

下記にフルボートモードでの出力例を示します。最初の { } で囲まれた行番号は、説明のためのもので、実際には出力されません。

```
{1} This is a representative QR code symbol
{2} >>> PQA from Hand Held Products <<<
{3} QR CODE: Model 2 Version 3 (29 x 29 modules)
{4} Mask Pattern Reference #3, Error Correction Level "M"
{5} Data Field: 44 data & 26 checks in 1 block(s) of GF(256)
{6} X roughly = 0.025"
{7} [A] < Data Safety Margin = 100%
{8} [A] < Horizontal Print Growth = +20% of X
{9} [A] < Vertical Print Growth = +17% of X
```

- {1} 読取データです。この例では、「This is a representative QR code symbol」になります。
- {2} 固定メッセージです。
- {3} シボルの種類(QR)とモジュール、サイズが出力されます。
- {4} マスクパターンとエラー訂正レベルが出力されます。
- {5} データ数、チェックワード数が出力されます。
- {6} およその公称細線幅 X です。
- {7} データ安全度をパーセンテージで出力します。QR では、エラー訂正レベル M が推奨されているため、エラー訂正レベル H 又は Q の QR では、100%を超える値になる場合があります。また、エラー訂正レベル L の QR では、50%以下の値になります。
- {8}{9} それぞれ水平及び垂直方向への印刷細り・太り度をパーセンテージで出力します。

マキシコード

下記にフルボートモードでの出力例を示します。最初の { } で囲まれた行番号は、説明のためのもので、実際には出力されません。

```
{1} This is a representative Maxicode symbol
{2} >>> PQA from Hand Held Products <<<
{3} MAXICODE: Mode 4
{4} X roughly = 0.043"
{5} [A] < Data Safety Margin = 100%
{6} [A] < Horizontal Print Growth = +2% of X
{7} [A] < Vertical Print Growth = -1% of X
```

- {1} 読取データです。この例では、「This is a representative Maxicode symbol」になります。
- {2} 固定メッセージです。
- {3} シボルの種類(マキシコード)とモードが出力されます。
- {4} およその公称細線幅 X です。
- {5} データ安全度をパーセンテージで出力します。マキシコードでは、各モードでエラー訂正レベルが固定されており、常に 0~100%の範囲の値となります。
- {8}{9} それぞれ水平及び垂直方向への印刷細り・太り度をパーセンテージで出力します。

6.3.3 郵便コード シンボル エリアメージ専用

ここでは各国の郵便コード シンボルの PQA レポートについて説明します。

Postnet, Planet

下記にフルレポートモードでの出力例を示します。最初の { } で囲まれた行番号は、説明のためのもので、実際には出力されません。

```
{1} 51591
{2} >>> PQA from Hand Held Products <<<
{3} POSTNET: 32 Bars, nominally from 01.30 to 01.56 in.
    in Width
{4} Bar Sequence: 10101000011010101010000011101001
{5} [F] (Hi) < Tall Bar Heights: 0.155 in.
{6} [F] (Hi) < Short Bar Heights: 0.081 in.
{7} [A] (OK) < Bar Widths = 0.022 in.
{8} [A] (OK) < Inter-Bar Gaps = 0.023 in.
```

- {1} 読取データです。この例では、「51591」になります。
- {2} 固定メッセージです。
- {3} シンボルの種類(Postnet 又は Planet)とサイズ 及び測定されたシンボルの許容幅
が出力されます。
- {4} バーパターンが出力されます。1 がトールバー、0 がショートバーに相当します。
- {5} トールバーの高さの平均値が出力されます。許容範囲は、0.115~0.125 インチ
です。グレード 評価は、下記の基準で行われます。

- [A] 許容範囲の 67%以内
- [B] 許容範囲内
- [C] 許容範囲の 25%以上
- [D] 許容範囲の 50%以上
- [F] 以外

(*) スクリーニングレポートモードでは、「Tall Bars are too Long (0.xxx in.)」のよう
なメッセージが出力されます。

- {6} ショートバーの高さの平均値が出力されます。許容範囲は、0.040~0.060 イン
チです。

(*) スクリーニングレポートモードでは、「Short Bars are too Long (0.xxx in.)」の
ようなメッセージが出力されます。

- {7} バー幅の平均値が出力されます。許容範囲は、0.015~0.025 インチです。

(*) スクリーニングレポートモードでは、「Bars are too Narrow (0.xxx in.)」のよう
なメッセージが出力されます。

- {8} スペース幅の平均値が出力されます。許容範囲は、0.012~0.040 インチです。

(*) スクリーニングレポートモードでは、「Spaces are too Wide (0.xxx in.)」のよう
なメッセージが出力されます。

日本(カタパ -コード), イギリス, KIX, カタ, オーストラリア

下記にフルレポートでの出力例を示します。最初の { } で囲まれた行番号は、説明のためのもので、実際には出力されません。

```
{1}    B15AJ6T
{2}    >>> PQA from Hand Held Products <<<
{3}    4-STATE(British): 34 Bars, nominally from 38.5 to 42.3 mm
        in Width
{4}    Bar Sequence: ADHTATDAHDDAADADAADTHTADHHDATHTADH
{5}    [A] (Ok) < "Tall" Bar Extensions: 2.79mm. from center
{6}    [F] (Hi) < "Short" Bar Extensions: 1.00mm. from center
{7}    [B] (Ok) < Bar Widths = 0.60 mm.
{8}    [A] (Ok) < Inter-Bar Gaps = 0.59 mm.
```

- {1} 読取データです。この例では、「B15AJ6T」になります。
 {2} 固定メッセージです。
 {3} シンボルの種類(郵便コード 日本(カタパ -コード), イギリス, KIX, カタ, オーストラリア)とサイズ及び測定されたシンボルの許容幅が出力されます。
 {4} バーパターンが出力されます。A がロングバー(上)、D がロングバー(下)、T がショートバー(タイシングバー)、H がトルバに相当します。
 {5} 中央線を基準に測定したロングバー(上)及びロングバー(下)の高さの平均値が出力されます。下記の表を参照して下さい。

(*) スクリーニングレポートでは、「Tall Bar Extensions are too Long (0.xxx in.)」のようなメッセージが出力されます。

- {6} 中央線を基準に測定したショートバー(タイシングバー)の高さの平均値が出力されます。下記の許容範囲表を参照して下さい。

(*) スクリーニングレポートでは、「Short Bar Extensions are too Long (0.xxx in.)」のようなメッセージが出力されます。

- {7} バー幅の平均値が出力されます。下記の表を参照して下さい。
 {8} スペース幅の平均値が出力されます。下記の表を参照して下さい。

4 ステート型郵便コード シンボル許容範囲表				
	トルバ	ショートバ	バー幅	スペース幅
イギリス	2.16 ~ 2.92	0.51 ~ 0.76	0.38 ~ 0.63	0.50 ~ 0.87
KIX	2.16 ~ 2.92	0.51 ~ 0.76	0.38 ~ 0.63	0.42 ~ 0.89
カタ	2.1 ~ 2.50	0.25 ~ 0.40	0.40 ~ 0.60	0.40 ~ 0.76
日本	1.70 ~ 1.80	0.52 ~ 0.68	0.50 ~ 0.70	0.45 ~ 0.60
オーストラリア	2.10 ~ 2.90	0.50 ~ 0.80	0.40 ~ 0.60	0.40 ~ 0.76
単位 mm				

A.1 コード ID 表

コード ID 表			
シンボル	AIM-ID	AIM モディファイア(m)	コード ID
全シンボル			(0x99)
オーストラリア郵便コード	]X0		A(0x41)
Aztec コード	]zm	0-9, A-C	z(0x7A)
台湾郵便コード	]X0		B(0x42)
カナダ郵便コード	]X0		C(0x43)
中国郵便コード	]X0		Q(0x51)
コードバー(NW7)	]Fm	0-1	a(0x61)
コードブックF	]Om	0-1,4-6	q(0x71)
コード 11	]H3		h(0x68)
コード 128	]Cm	0-2,4	j(0x6A)
コード 16K	]Km	0-2,4	o(0x6F)
コード 32 ファーマ	]X0		<(0x3C)
コード 39	]Am	0-1,3-5,7	b(0x62)
コード 49	]Tm	0-2,4	l(0x6C)
コード 93 & 93i	]Gm	0-9, A-Z, a-m	i(0x69)
データマトリクス	]dm	0-6	w(0x77)
JAN/EAN-13	]E0		d(0x64)
JAN/EAN-8	]E4		D(0x44)
EAN・UCC コンボジット	]em	0-3	y(0x79)
EAN-13 w/拡張クーポンコード	]E3		d(0x64)
インターラプト 25	]Im	0-1,3	e(0x65)
日本郵便コード(加付バーコード)	]X0		J(0x4A)
KIX 郵便コード	]X0		K(0x4B)
韓国郵便コード	]X0		? (0x3F)
マトリクス 25	]X0		m(0x6D)
マシコード	]Um	0-3	x(0x78)
MICR E-13B	]ZE		“(0x22)
マイクロPDF417	]Lm	3-5	R(0x52)
MSI	]Mm	0	g(0x67)
OCR-A	]o1		O(0x4F)
OCR-B	]o2		O(0x4F)
OCR US Money フォント	]o3		O(0x4F)
SEMI フォント	]o3		O(0x4F)
PDF417	]Lm	0-2	r(0x72)
Planet コード	]P0		L(0x4C)
Plessey コード	]P0		n(0x6E)
PosiCode	]pm	0-2	W(0x57)
Postnet	]X0		P(0x50)
QR コード	]Qm	0-6	s(0x73)
GS1 Databar Omini,Limited,Expanded	]em	0	y(0x79)
スレート 25 IATA	]Rm	0-1,3	f(0x66)
TLC39	]L2		T(0x54)
Telepen	]Bm	0-2,4	t(0x74)
Trioptic コード	]X0		=(0x3D)
GS1-128	]C1		l(0x49)
UPC-A	]E0		c(0x63)
UPC-A w/拡張クーポンコード	]E3		c(0x63)
UPC-E	]E0		E(0x45)
Veri コード	]X0		v(0x76)

A.2 キーボード対応表

ファンクション対応表 (AT, PS/2, DOS/V)								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0		F11	SP	0	@	P	`	p
1	CR*	HOME	!	1	A	Q	a	q
2	CAPS LOCK	Print	"	2	B	R	b	r
3	ALT make	BS	#	3	C	S	c	s
4	ALT break	Back TAB	\$	4	D	T	d	t
5	CTRL make	F12	%	5	E	U	e	u
6	CTRL break	F1	&	6	F	V	f	v
7	CR	F2	'	7	G	W	g	w
8		F3	(	8	H	X	h	x
9	TAB	F4	)	9	I	Y	i	y
A		F5	*	:	J	Z	j	z
B	TAB	F6	+	;	K	[	k	{
C	DEL	F7	,	<	L	¥	l	
D	CR	F8	-	=	M	]	m	}
E	INS	F9	.	>	N	^	n	~
F	ESC	F10	/	?	O	_	o	

CTRL+ASCII 対応表 (AT, PS/2, DOS/V)								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	CTRL+2	CTRL+P	SP	0	@	P	`	p
1	CTRL+A	CTRL+Q	!	1	A	Q	a	q
2	CTRL+B	CTRL+R	"	2	B	R	b	r
3	CTRL+C	CTRL+S	#	3	C	S	c	s
4	CTRL+D	CTRL+T	\$	4	D	T	d	t
5	CTRL+E	CTRL+U	%	5	E	U	e	u
6	CTRL+F	CTRL+V	&	6	F	V	f	v
7	CTRL+G	CTRL+W	'	7	G	W	g	w
8	CTRL+H	CTRL+X	(	8	H	X	h	x
9	CTRL+I	CTRL+Y	)	9	I	Y	i	y
A	CTRL+J	CTRL+Z	*	:	J	Z	j	z
B	CTRL+K	CTRL+[	+	;	K	[	k	{
C	CTRL+L	CTRL+¥	,	<	L	¥	l	
D	CTRL+M	CTRL+]	-	=	M	]	m	}
E	CTRL+N	CTRL+6	.	>	N	^	n	~
F	CTRL+O	CTRL+-	/	?	O	_	o	

- 太点線で囲まれた部分はファンクションキー及び CTRL+ASCII キーを意味します。これらは一部の機種で正しく動作しない場合があります。
- CR*は、キーボードの ENTER キーを意味します。

A.3 ASCII コード 表

ASCII コード 表								
	0	1	2	3	4	5	6	7
0	NUL	DLE	SP	0	@	P	`	p
1	SOH	DC1	!	1	A	Q	a	q
2	STX	DC2	"	2	B	R	b	r
3	ETX	DC3	#	3	C	S	c	s
4	EOT	DC4	\$	4	D	T	d	t
5	ENQ	NAK	%	5	E	U	e	u
6	ACK	SYN	&	6	F	V	f	v
7	BEL	ETB	'	7	G	W	g	w
8	BS	CAN	(	8	H	X	h	x
9	HT	EM	)	9	I	Y	i	y
A	LF	SUB	*	:	J	Z	j	z
B	VT	ESC	+	;	K	[	k	{
C	FF	FS	,	<	L	¥	l	
D	CR	GS	-	=	M	]	m	}
E	SO	RS	.	>	N	^	n	~
F	SI	US	/	?	O	_	o	DLE

A.4 ユーティリティソフト

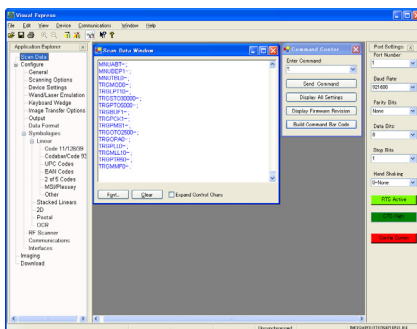
ご購入されたワイヤスイメージャに添付されている CD には、Visual Xpress と Quick View の 2 種類のユーティリティソフトが収録されています。用途に応じて、ご利用ください。



Visual Xpress

下記に Visual Xpress の主な機能を列挙します。

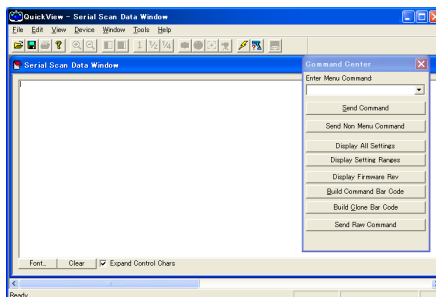
- シリアルインターフェイスを通して、ワイヤスイメージャのパラメータ設定が行えます。また、パラメータ設定値をファイルに保存できます。
- 全パラメータ設定値を 1 つのマトリックスコードとして印刷できます。ワイヤスイメージャは、このマトリックスコードを読み取るだけで、全パラメータ設定を瞬時に行うことができます。



Quick View

下記に Quick View の主な機能を列挙します。

- シリアルインターフェイスを通して、ワイヤスイメージャの読取データを表示できます。
- シリアルインターフェイスを通して、ワイヤスイメージャの読取イメージを表示・保存できます。



A.5 データ編集機能

ワイヤレスイメージャは読取データを自由に加工して、送信することができる強力なデータ編集機能を搭載しています。ここでは、データ編集機能で使用可能なコマンドを簡単な例を交えながら説明します。尚、データ編集機能の設定には、先に紹介したユーティリティ Visual Xpress を利用します。付属の CD からお使いのコンピュータへ Visual Xpress をセットアップしてから、次に進んで下さい。

A.5.1 データ編集コマンド

下に、データ編集機能で利用可能なコマンドとその機能を示します。

データ送信コマンド

F1 現在のカール位置以降の全データに指定キャラクタを付加して送信します。カールはデータの終端に移動します。

{F1}@

カール位置以降の全データに @ (40hex) を付加して送信します。

{F1}[ETX]

カール位置以降の全データに ETX (03hex) を付加して送信します。

F2 現在のカール位置から指定桁数 (00~99) のデータに指定キャラクタを付加して送信します。カールは指定桁数分移動します。

{F2}05@

カール位置から 5 桁のデータに @ (40hex) を付加して送信します。

{F2}99[ETX]

カール位置から 99 桁のデータに ETX (03hex) を付加して送信します。

F3 現在のカール位置から検索対象キャラクタを検索し、見つければその直前までのデータ (検索対象キャラクタは含まない) に指定キャラクタを付加して送信します。カールは検索対象キャラクタの直前に移動します。

{F3}A@

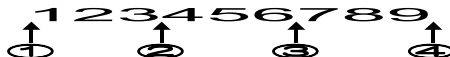
カール位置から検索対象キャラクタ A (41hex) を検索し、見つければその直前までのデータに @ (40hex) を付加して送信します。

{F3}[HT][ETX]

カール位置から検索対象キャラクタ TAB (09hex) を検索し、見つければその直前までのデータに ETX (03hex) を付加して送信します。

カールって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポインタです。カールは、最初読取データ 1 桁目 (先頭) を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カールは次のように移動します。



- F4** 指定キャラクタ 1 文字を指定回数(00~99)送信します。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{F4}@05

指定キャラクタ@を 5 回送信します。

{F4}[HT]99

指定キャラクタ TAB(09hex)を 99 回送信します。

- E9** 現在のカーソル位置以降の全データから指定桁数(00~99)を終端から削除して送信します。カーソルは送信した最終キャラクタの直後に移動します。

{E9}05

カーソル位置以降の全データから 5 桁を終端から削除して送信します。

{E9}99

カーソル位置以降の全データから 99 桁を終端から削除して送信します。

カーソル移動コマンド

- F5** カーソルを右方向(終端方向)へ指定桁数(00~99)移動します。

{F5}05

カーソルを右方向(終端方向)へ 5 桁移動します。

{F5}99

カーソルを右方向(終端方向)へ 99 桁移動します。

- F6** カーソルを左方向(先頭方向)へ指定桁数(00~99)移動します。

{F6}05

カーソルを左方向(先頭方向)へ 5 桁移動します。

{F6}99

カーソルを左方向(先頭方向)へ 99 桁移動します。

- F7** カーソルを先頭へ移動します。

{F7}

カーソルを先頭へ移動します。

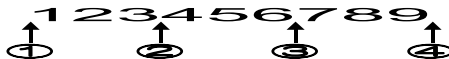
- EA** カーソルを終端へ移動します。

{EA}

カーソルを終端へ移動します。

カーソルって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポインタです。カーソルは、最初読取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



検索コマンド

F8 指定キャラクタを現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{F8}A

A(41hex)を現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

{F8}[ENQ]

ENQ(05hex)を現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

F9 指定キャラクタを現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{F9}A

A(41hex)を現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。

{F9}[ENQ]

ENQ(05hex)を現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。

E6 指定キャラクタと合致しないキャラクタを現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{E6}[ACK]

ACK(06hex)と合致しないキャラクタを現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索します。

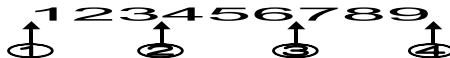
E7 指定キャラクタと合致しないキャラクタを現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。見つければ、カーソルは検索対象キャラクタの直前に移動します。見つからなかった場合は、データ編集フォーマットを適用しません。

{E7}[ENQ]

ENQ(05hex)と合致しないキャラクタを現在のカーソル位置から左方向(先頭方向)に検索します。

カーソルって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポインタです。カーソルは、最初読取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



その他コマンド

FB 現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、指定キャラクタを抑止(削除)します。引数には、15 文字までの異なるキャラクタを指定可能です。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{FB}{ACK}

現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、ACK(06hex)を抑止(削除)します。

{FB}0123456789ABCDE

現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、0~9(30~39hex), A~E(41~45hex)を抑止(削除)します。

FC 先の FB コマンドで抑止(削除)したキャラクタを復活させます。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えませんが、抑止(削除)したキャラクタを全て復活させたい場合は、F7 コマンドでカーソル位置を先頭に戻してから FC コマンドを実行する必要があります。

{F7}{FC}

カーソル位置を先頭に戻した後、FB コマンドで抑止(削除)したキャラクタを復活させます。

E4 現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、指定キャラクタを別のキャラクタに置換します。引数には、15 対(対象キャラクタと置換キャラクタ)までの異なるキャラクタを指定可能です。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えません。

{E4}1A2B

現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、1(31hex)を A(41hex)、2(32hex)を B(42hex)に置換します。

{E4}1[HT]2[CR]

現在のカーソル位置から右方向(終端方向)に検索し、1(31hex)を TAB(09hex)、2(32hex)を CR(0Dhex)に置換します。

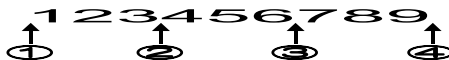
E5 先の E4 コマンドで置換したキャラクタを復活させます。このコマンドは、カーソル位置には影響を与えませんが、抑止(削除)したキャラクタを全て復活させたい場合は、F7 コマンドでカーソル位置を先頭に戻してから E5 コマンドを実行する必要があります。

{F7}{E5}

カーソル位置を先頭に戻した後、E4 コマンドで置換したキャラクタを復活させます。

カーソルって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポインタです。カーソルは、最初読取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



FE 指定キャラクタと現在のカーソル位置のキャラクタを照合し、合致すれば、カーソルを右方向(終端方向)に 1 桁移動させます。合致しなかった場合は、編集フォーマットを適用しません。

{FE}A

A(41hex)と現在のカーソル位置のキャラクタを照合します。

{FE}[ACK]

ACK(06hex)と現在のカーソル位置のキャラクタを照合します。

EC 現在のカーソル位置のキャラクタをチェックし、数字 0~9(30~39hex)の場合は、編集フォーマットを適用し、そうで無い場合は、適用しません。

{EC}

現在のカーソル位置のキャラクタをチェックします。例えば、現在のカーソル位置のキャラクタが A(41hex)の場合、処理をスキップし、編集フォーマットを適用しません。

ED 現在のカーソル位置のキャラクタをチェックし、数字 0~9(30~39hex)で無い場合は、編集フォーマットを適用し、そうで無い場合は、適用しません。

{ED}

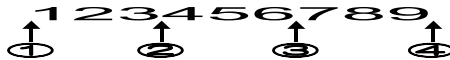
現在のカーソル位置のキャラクタをチェックします。例えば、現在のカーソル位置のキャラクタが 1(31hex)の場合、処理をスキップし、編集フォーマットを適用しません。

EB このコマンドは、サポートしていません。使用不可です。

EF このコマンドは、サポートしていません。使用不可です。

カーソルって？

読取データの何桁目を指しているかを示すポインタです。カーソルは、最初読取データ 1 桁目(先頭)を指し、以降実行されたコマンドにより、位置を移動させます。例えば、123456789 という 9 桁の読取データに対して、{F2}03@→{F6}03→{F1}[SOH] の順でコマンドを実行した場合、カーソルは次のように移動します。



A.5.2 データ編集フォーマットの種類

データ編集フォーマットには、下記に示す 4 種類があり、用途に応じて使い分けることができます。

プライマリデータ編集フォーマット (Primary)

通常適用されるデータ編集フォーマットです。

オルターネイトデータ編集フォーマット 1～3 (Alternate 1～3)

一時的にデータ編集フォーマットを切り替えて使用したい場合に利用します。下記に掲載しているマシドバーコードを読み取ることで、一時的に指定のオルターネイトデータ編集フォーマットを適用することができます。このデータ編集フォーマットは、マシドバーコードを読み取った直後の読取データに一度だけ適用され、その後、プライマリデータ編集フォーマットに復帰します。

オルターネイトフォーマット 1  ~ V S A F _ 1 .	オルターネイトデータ編集フォーマット 1 一時的にオルターネイトデータ編集フォーマット 1 に切り替えます。一度、コードを読み取ると、プライマリデータ編集フォーマットに復帰します。
オルターネイトフォーマット 2  ~ V S A F _ 2 .	オルターネイトデータ編集フォーマット 2 一時的にオルターネイトデータ編集フォーマット 2 に切り替えます。一度、コードを読み取ると、プライマリデータ編集フォーマットに復帰します。
オルターネイトフォーマット 3  ~ V S A F _ 3 .	オルターネイトデータ編集フォーマット 3 一時的にオルターネイトデータ編集フォーマット 3 に切り替えます。一度、コードを読み取ると、プライマリデータ編集フォーマットに復帰します。

A.5.3 データ編集機能の設定例

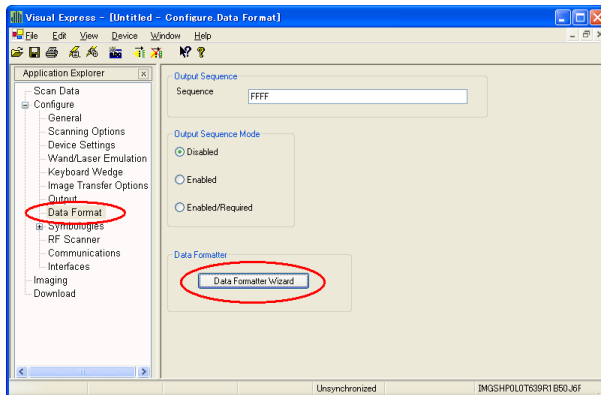
ここでは、下記の条件を元に実際に Visual Xpress を利用してデータ編集機能を設定してみましょう。

「データ編集機能 設定条件(例)」

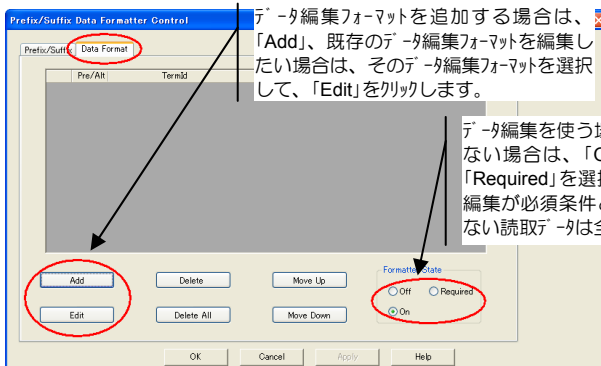
- 全ての読取シリアルに適用
- 全ての桁数の読取データに適用
- 読取データの2桁目から5桁をTAB(09hex)をつけて送信
- 読取データの先頭から全データをTAB(09hex)をつけて送信

上記の条件を元に Visual Xpress を使って、専用のコマンドリストを作成してみましょう。

1. Visual Xpress を立ち上げて、「Data Format」...「Data Formatter Wizard」をクリックします。

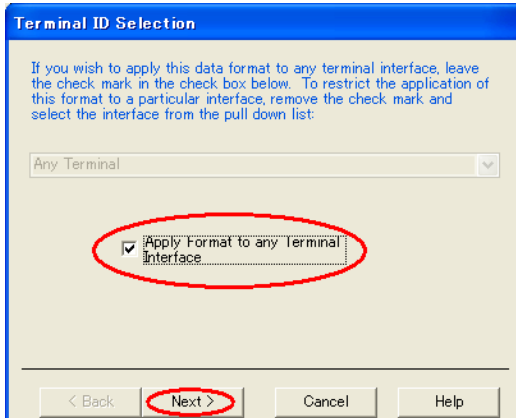


2. 「Data Format」タブをクリックして切り替えます。

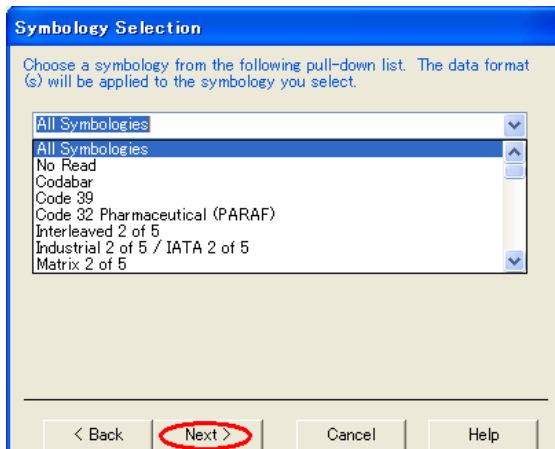


ここでは、「Add」をクリックして、次へ進みます。

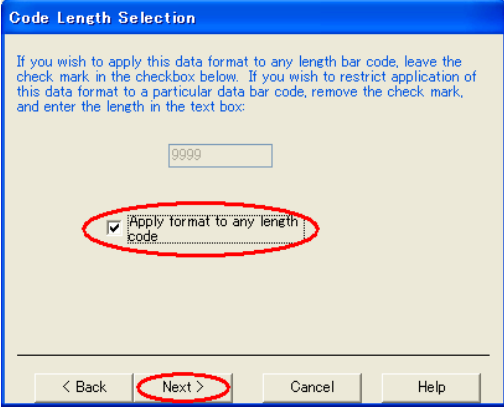
- どのターミナル ID(インターフェイス)に対して適用するかを選択します。通常は、全てのターミナル ID に適用するので、「Apply Format to any Terminal Interface」にチェックを入れて、次に進みます。



- どの読取シリアルに対してデータ編集フォーマットを適用するかを選択します。特定の読取シリアルにだけ適用したい場合は、そのシリアルを選択してください。ここでは、全ての読取シリアルを対象とするので、「All Symbolologies」を選択して、次に進みます。



5. 何桁の読取データに対してデータ編集フォーマットを適用するかを選択します。特定の桁数の読取ツールにだけ適用したい場合は、「Apply format to any length code」のチェックを外して、上のテキストボックスにその桁数を入力します。ここでは、全ての桁数を対象とするので、「Apply format to any length code」にチェックを入れて、次に進みます。



The dialog box is titled "Code Length Selection". It contains a text box with "9999" and a checkbox labeled "Apply format to any length code" which is checked. The "Next >" button is highlighted with a red circle.

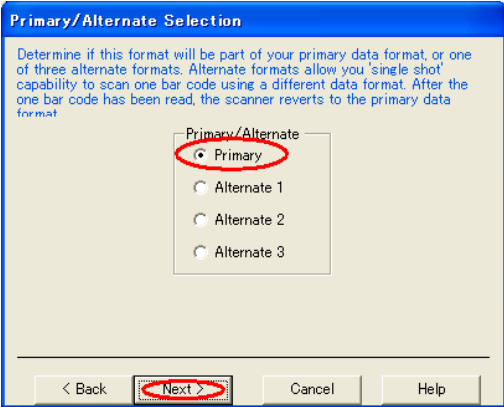
If you wish to apply this data format to any length bar code, leave the check mark in the checkbox below. If you wish to restrict application of this data format to a particular data bar code, remove the check mark, and enter the length in the text box:

9999

☒ Apply format to any length code

< Back Next > Cancel Help

6. データ編集フォーマットの種類を選択します。詳しくは、本書「A.5.2 データ編集フォーマットの種類」を参照ください。ここでは、「Primary」(プライマリデータ編集フォーマット)を選択して、次に進みます。



The dialog box is titled "Primary/Alternate Selection". It contains a group box with four radio buttons: "Primary" (selected), "Alternate 1", "Alternate 2", and "Alternate 3". The "Primary" radio button is highlighted with a red circle. The "Next >" button is also highlighted with a red circle.

Determine if this format will be part of your primary data format, or one of three alternate formats. Alternate formats allow you 'single shot' capability to scan one bar code using a different data format. After the one bar code has been read, the scanner reverts to the primary data format.

Primary/Alternate

☒ Primary

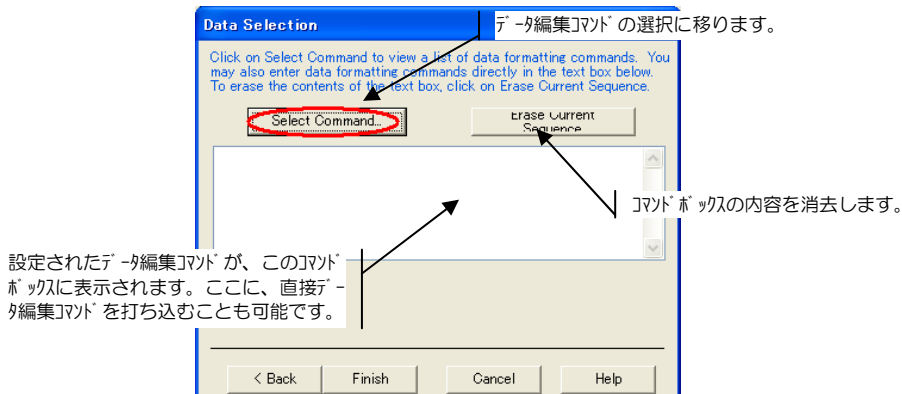
☐ Alternate 1

☐ Alternate 2

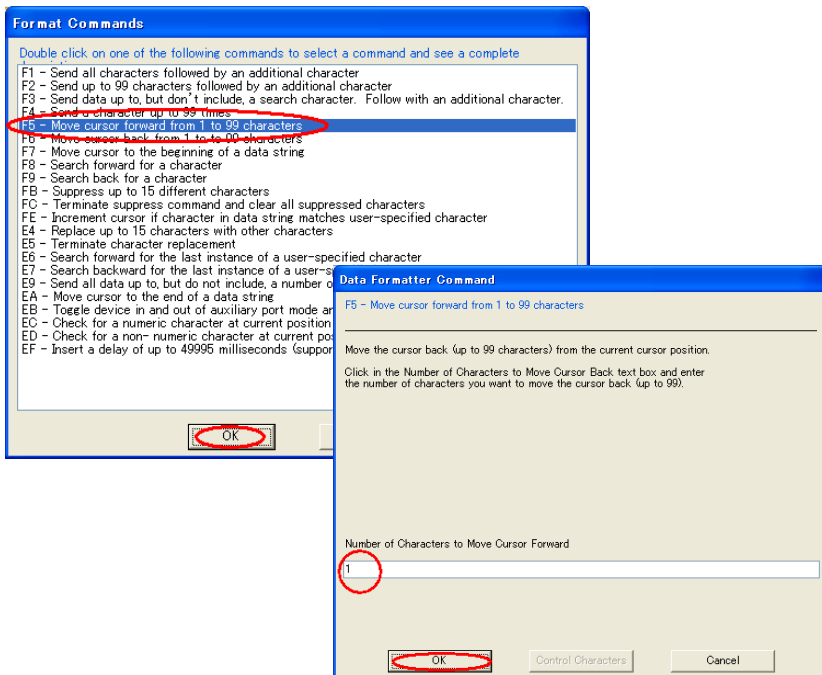
☐ Alternate 3

< Back Next > Cancel Help

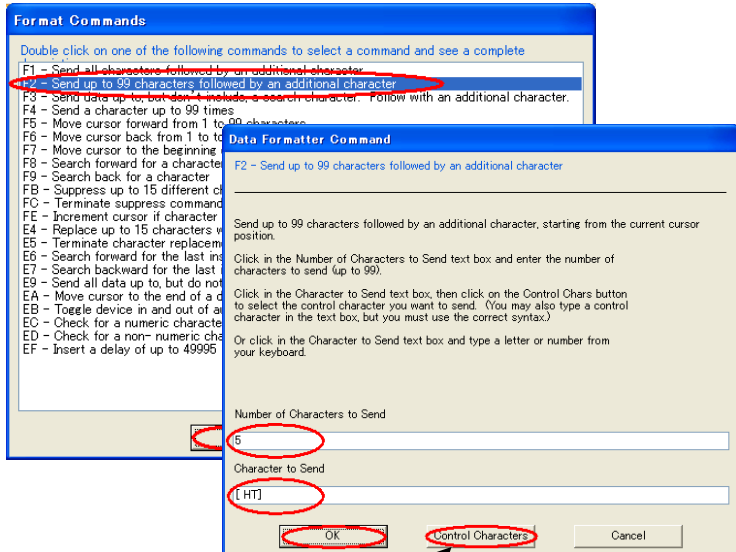
7. 「Select Command」をクリックして、データ編集コマンドの選択に移ります。



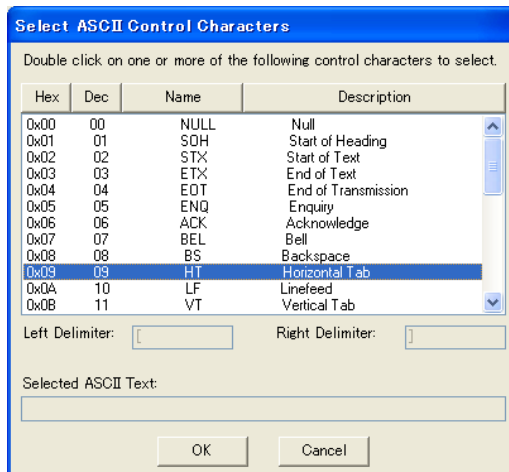
8. カーソルを2桁目へ移動させるため、F5コマンドを選択して「OK」をクリックします。続いて、移動させる桁数として、1を入力して、「OK」をクリックします。



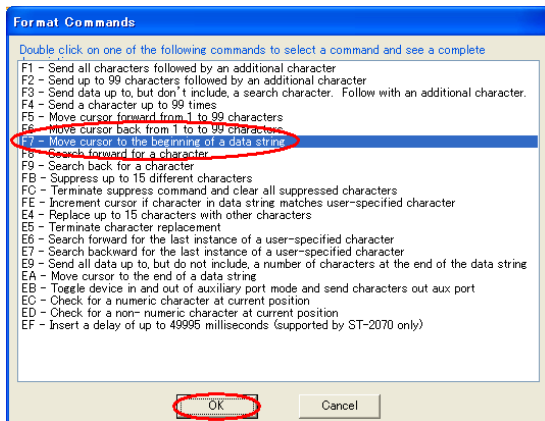
9. 続けて、「Select Command」をクリックして、現在のカーソル位置から 5 桁のデータを TAB(0x09)を付加して送信するので、F2 コマンドを選択し、桁数を 5、付加送信キャラクタを TAB に設定します。



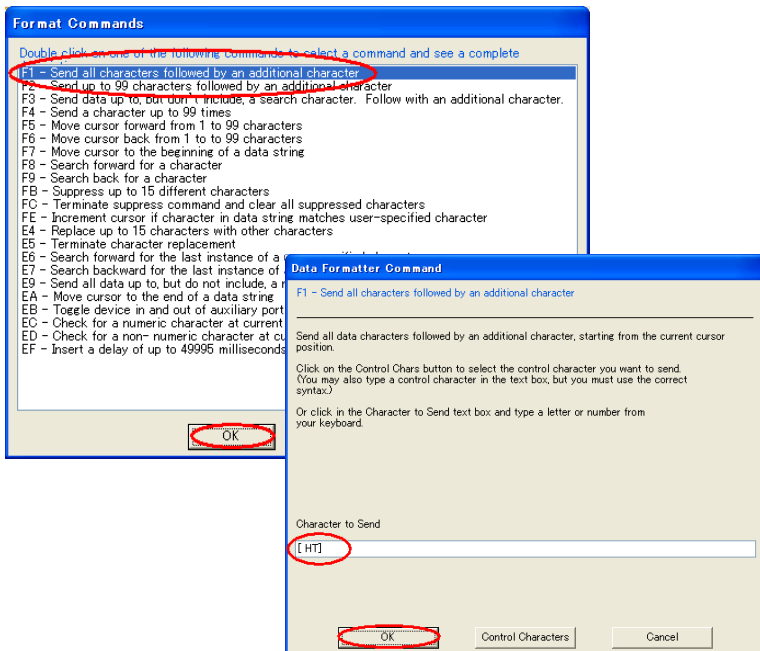
制御キャラクタを入力する場合は、「Control Characters」をクリックし、選択が「HT」を表示します。制御キャラクタ以外は、そのままキーボードでキャラクタを打ち込んでください。



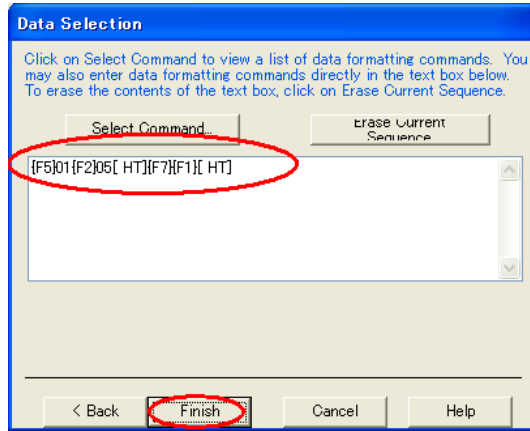
10. 「Select Command」をクリックして、現在のカリ位置を先頭に帰するため、F7 コマンド を選択します。



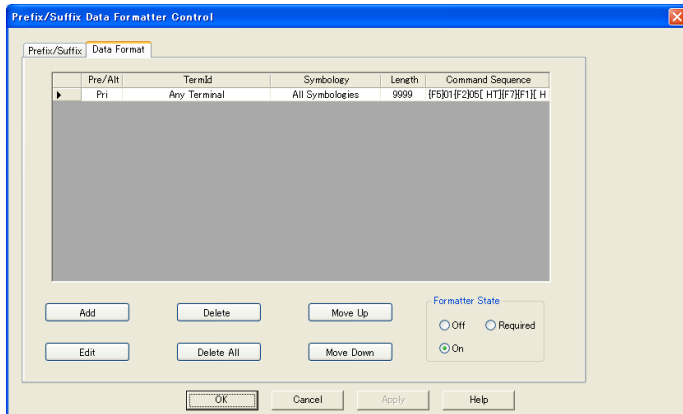
11. 「Select Command」をクリックして、現在のカリ位置以降の全読取データを TAB(0x09)を付加して送信するので、F1 コマンド を選択し、付加送信キャラクタを TAB に設定します。



12. 組み立てられた編集コマンドが下記のようになっていれば成功です。
「Finish」をクリックして、最初の画面に戻ります。



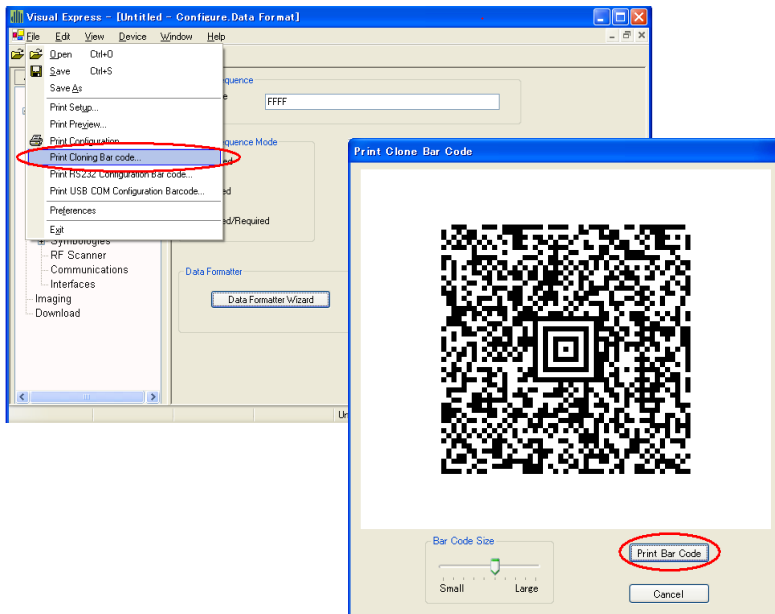
13. この一連を作業を繰り返すことで、複数のデータ編集フォーマットを登録することが可能です。



プリフィックス/サフィックスが設定されている場合、データ編集フォーマットされた送信データにもそれが適用されます。必要に応じて、設定を変更してください。

14. 生成されるコマンドマトリクスコードには、Visual Xpress で設定できる全パラメータがエントリされるため、インターフェイスや読取シリアルなど必要に応じて、他の全ての設定変更を行います。最後にコマンドマトリクスコードの生成に移ります。

15. 「File」 ... 「Print Clone Barcode」をクリックしてください。画面上に生成されたマトリクスコードが表示されます。印刷して、ワイヤレスイメージャで読み取ると、全ての設定内容がワイヤレスイメージャに反映されます。



最後に下記のサンプルコードを読み取って、設定変更が正しくできたかを確認してください。

サンプルバーコード



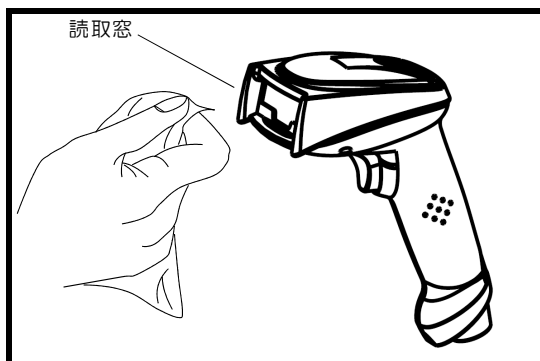
何れも「1234567890」の10桁のデータがエンコードされています。

現バージョンの Visual Xpress は、日本語 USB キーボードインターフェイスなど一部のインターフェイス設定をサポートしていません。ワイヤレスイメージャで生成したマトリクスコードを読み取った後、必要に応じて、別途インターフェイスの初期化を行ってください。

A.6 メンテナンス

読取窓のクリーニング

ワイヤレスイメージャの読取窓が汚れていると、コードの読み取りに時間がかかったり、読めなくなる場合があります。定期的にアルコールなどを湿らせた柔らかい布で拭くようにしてください。



A.7 トラブルシューティング

電源が入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
- AC アダプタ (RS232C タイプ) は正しく接続されていますか？
- PC の電源 (キーボード / USB タイプ) は入っていますか？

コード (バーコード・二次元コード・OCR フォント) を読み取らない

- 対象のコードの品質は悪くないですか？ 汚れたコード、劣化したプリンターで印刷したコード、複写したコードなど、品質の悪いコードは読取不良や誤読の原因となりますので避けてください。
- 対象のコード種を読み取れるように設定していますか？
- チェックディジットが付加されていないコードに対して、チェックディジット有りとして設定していませんか？
- 読取窓は汚れていませんか？

コード (バーコード・二次元コード・OCR フォント) を読み取りづらい

- 対象のコードの品質は悪くないですか？ 品質の悪いコードは読取不良や誤読の原因となります。
- 読取窓は汚れていませんか？

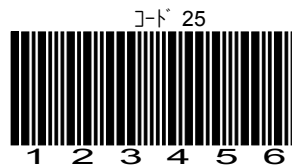
PC にデータが入らない

- ケーブルは正しく接続されていますか？
「2. ワイヤレスイメージャと PC と接続する」を参照ください。
- ワイヤレスイメージャとホストステーションのリンクは正しく確立されていますか？
「2. ワイヤレスイメージャと PC と接続する」を参照ください。
- Bluetooth ドングルと正しく SPP 接続を確立できていますか？
「4.6.4 SPP 接続の設定」と、ご使用の Bluetooth ドングルの取扱説明書を参考に SPP 接続を正しく確立してください。
- ワイヤレスイメージャの設定は間違っていないですか？
本書「4.2 ワイヤレスイメージャの簡単セットアップ」を参考にワイヤレスイメージャの再初期化を行った後、PC の電源を再立ち上げしてください。

症状に変化がない場合は、弊社又はお近くの販売店までご連絡ください。

A.8 サンプルコード

サンプルコード / 二次元コード / 郵便コード / OCR フォント



サフ°ルバ°-コード / 二次元コード / 郵便コード / OCR フォント

PDF417



マイク PDF



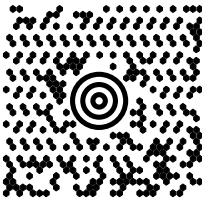
QR



Aztec



マキコード



データマトリクス



日本郵便コード (カスタマ°-コード°)



OCR-B フォント

ISBN4-8169-1489-7

OCR-B フォント

55836540

修理依頼書

修理を依頼される場合は、下記の用紙に必要事項を記入し、修理品と一緒に販売店へご返送ください。尚、修理は全てセトバック方式で行います。現地での出張修理などは一切行いません。

修理依頼書			
依頼日			
会社名			
部署名			
担当者			
メールアドレス			
電話番号		FAX番号	
ご住所			
販売店名		ご購入日	
製品型番 (名称)			
製造番号 (S/N)			
付属品	ケーブル[]・ACアダプタ		
トラブルの症状を詳しく記入してください。 また、症状を確認するために必要なバーコードラベルや磁気カード等があれば、修理品に添付してお送りください。 症状発生頻度 : ☐ 常に起こる ☐ 1日に [] 回程度 インターフェイス : ☐ キーボード ☐ RS232C ☐ USB ☐ その他 [] 接続ホスト : メーカー [] 型番 [] その他、使用状況を記入ください。			
返送先			
見積・請求先			
スポットサービス時は、修理見積後に修理をキャンセルされた場合に限り、見積料として弊社所定の料金を申し受けます。ご了承いただける場合は、押印の上、修理品に添付してご返送ください。			ご確認印

拡大コピーしてお使いください